

名古屋芸術大学収容定員関係学則変更届出書

令和2年12月25日

文部科学大臣 殿

学校法人名古屋自由学院

理事長 川村 大介



このたび、名古屋芸術大学の収容定員に係る学則を変更することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	カゴウホクジツン ナゴヤジユウガクイン 学校法人 名古屋自由学院									
フリガナ大学の名称	ナゴヤゲイジュツダいがク 名古屋芸術大学 (Nagoya University of the Arts)									
大学本部の位置	愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地									
大学の目的	本学は教育基本法・学校教育法に則り、芸術に関する専門の学術技芸、また、人間発達に関する専門的知識を教授研究し、さらに、広範な展望の下、歴史・社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化ならびに人間発達の創造発展に寄与しうる人を養成することを目的とする。									
新設学部等の目的	各学科の志願状況、入学者数等に鑑み、受験生の高い進学ニーズに応えることと、社会の要請に応え優秀な人材をより多く輩出すること、そして適正な定員管理を実現させることを目的に、収容定員を変更する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	芸術学部 〔School of Arts〕 芸術学科 〔Department of Art〕	4年	485 (445)	35 (35)	2010 (1850)	学士（芸術） 【Bachelor of Arts degree】	令和3年4月 1年次	愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 愛知県北名古屋市徳重西沼66番地		
	人間発達学部 〔School of Human Development〕 子ども発達学科 〔Department of Child〕	4年	100 (140)	10 (10)	420 (580)	学士（教育） 【Bachelor of Education degree】	令和3年4月 1年次	愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地		
	計	-	-	-	-	-	-	-		
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
		科目	科目	科目	科目	単位				
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	芸術学部 芸術学科		37人 (36)	34人 (33)	17人 (17)	0人 (0)	88人 (86)	0人 (0)	419人 (417)
		人間発達学部 子ども発達学科		8 (8)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	97 (94)
		計		45 (44)	45 (44)	17 (17)	0 (0)	107 (105)	0 (0)	- (-)
	既設分	該当なし		-	-	-	-	-	-	-
計		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
計		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
合計			45 (44)	45 (44)	17 (17)	0 (0)	107 (105)	0 (0)	- (-)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		47 人 (47)	49 人 (49)	96 人 (96)					
	技 術 職 員		7 (7)	0 (0)	7 (7)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	1 (1)	2 (2)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	計		55 (55)	50 (50)	125 (125)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	53,923.20 m ²	0 m ²	0 m ²	53,923.20 m ²					
	運 動 場 用 地	7,286.24 m ²	0 m ²	0 m ²	7,286.24 m ²					
	小 計	61,209.44 m ²	0 m ²	0 m ²	61,209.44 m ²					
	そ の 他	14,758.96 m ²	0 m ²	0 m ²	14,758.96 m ²					
	合 計	75,968.40 m ²	0 m ²	0 m ²	75,968.40 m ²					
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計						
	65,809.81 m ² (65,809.81 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	65,809.81 m ² (65,809.81 m ²)						
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)					
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
		()	()	()	()	()	()			
	計	()	()	()	()	()	()			
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数						
	m ²									
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	m ²									
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等		30千円	30千円	30千円	30千円	-	-	
		共同研究費等		5,950千円	5,950千円	5,950千円	5,950千円	-	-	
		図書購入費	10,500千円	10,500千円	10,500千円	10,500千円	10,500千円	-	-	
	設備購入費	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	-	-		
	学生1人当り納付金	芸術学部	学 部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※芸術学部の学生納付金は、選択した専門別履修モデルによって異なる。
			1,965千円	1,765千円	1,765千円	1,765千円	-千円	-千円		
			1,865千円	1,665千円	1,665千円	1,665千円	-千円	-千円		
			1,700千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	-千円	-千円		
			1,640千円	1,440千円	1,440千円	1,440千円	-千円	-千円		
1,440千円			1,240千円	1,240千円	1,240千円	-千円	-千円			
人間発達学部	1,310千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資金運用収入、雑収入、等							

既設大学等の状況	大学の名称	名古屋芸術大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	芸術学部 芸術学科	年	人	年次 3年次	人		倍		
		4	445	35	1850	学士(芸術)	1.03	平成29年度	愛知県北名古屋市 熊之庄古井281番地
	人間発達学部 子ども発達学科	4	140	10	580	学士(教育)	0.44	平成19年度	愛知県北名古屋市 熊之庄古井281番地
	大学の名称	名古屋芸術大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	音楽研究科	年	人	年次 人	人		倍		
	声楽専攻	2	5	-	10	修士(芸術)	0.30	平成9年度	愛知県北名古屋市 熊之庄古井281番地
	器楽専攻	2	6	-	12	修士(芸術)	1.08	平成9年度	
音楽専攻	2	8	-	16	修士(芸術)	0.00	平成16年度		
美術研究科									
美術専攻	2	10	-	20	修士(芸術)	0.45	平成7年度	愛知県北名古屋市 徳重西沼66番地	
デザイン研究科									
デザイン専攻	2	10	-	20	修士(芸術)	1.35	平成18年度	愛知県北名古屋市 徳重西沼66番地	
人間発達学研究科									
子ども発達学専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	0.05	平成23年度	愛知県北名古屋市 熊之庄古井281番地	
附属施設の概要	なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人名古屋自由学院 設置認可等に関わる組織の移行表

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
-------	----------	-----------	----------	-------	----------	-----------	----------	-------

名古屋芸術大学				3年次				
芸術学部								
芸術学科	445	35	1850					
人間発達学部				3年次				
子ども発達学科	140	10	580					
計				585	45	2430		
名古屋芸術大学大学院								
音楽研究科								
声楽専攻	5	-	10					
器楽専攻	6	-	12					
音楽専攻	8	-	16					
美術研究科								
美術専攻	10	-	20					
デザイン研究科								
デザイン専攻	10	-	20					
人間発達学研究科								
子ども発達学専攻	10	-	20					
計				49	-	98		

名古屋芸術大学				3年次				
芸術学部								
芸術学科	<u>485</u>	35	<u>2010</u>	定員変更(40)				
人間発達学部				3年次				
子ども発達学科	<u>100</u>	10	<u>420</u>	定員変更(△40)				
計				585	45	2430		
名古屋芸術大学大学院								
音楽研究科								
声楽専攻	5	-	10					
器楽専攻	6	-	12					
音楽専攻	8	-	16					
美術研究科								
美術専攻	10	-	20					
デザイン研究科								
デザイン専攻	10	-	20					
人間発達学研究科								
子ども発達学専攻	10	-	20					
計				49	-	98		

本学の位置

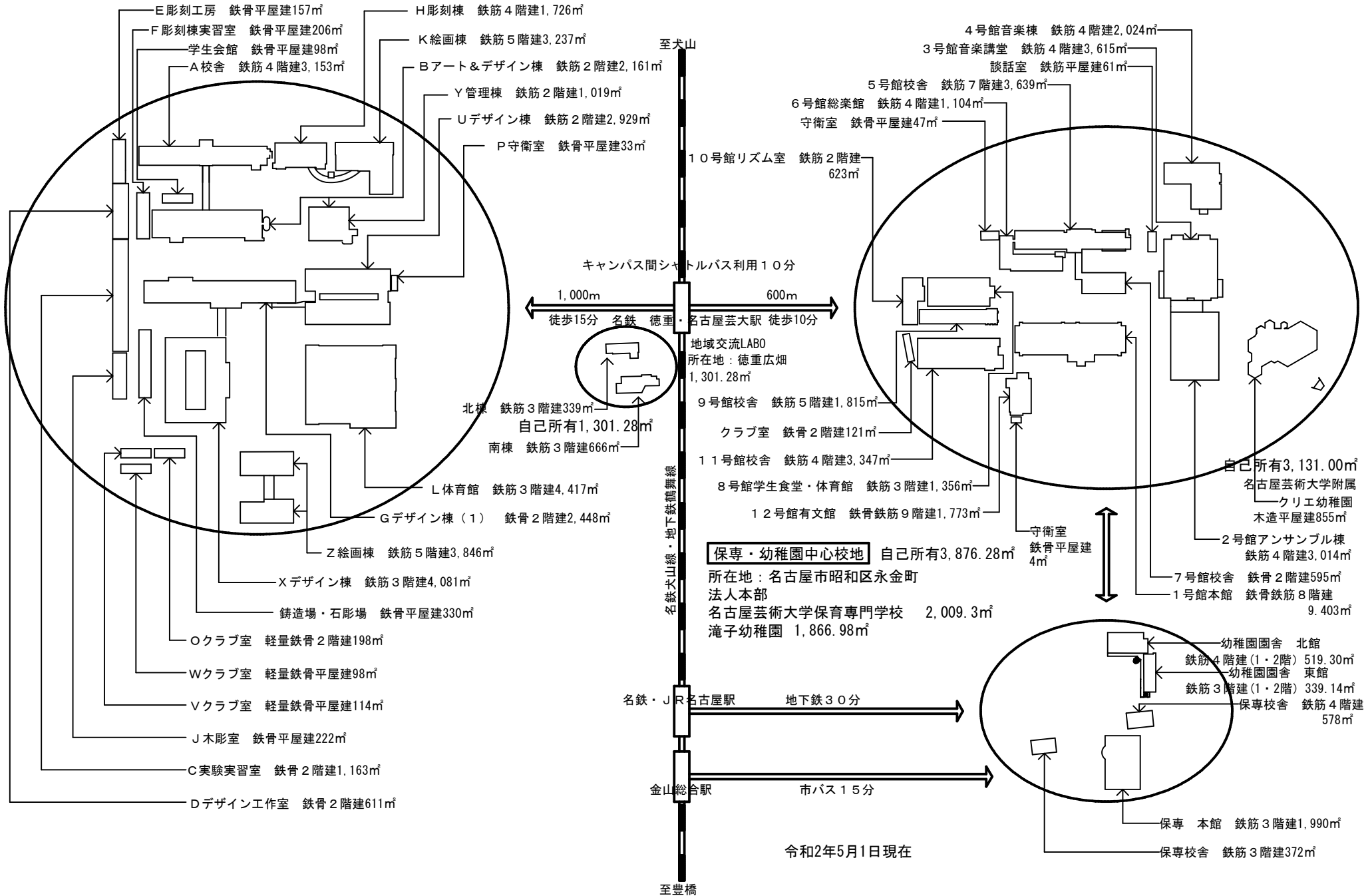


芸大（芸術学部）中心校地 42,501.44㎡ 所有36,994.44㎡ 借地5,507㎡

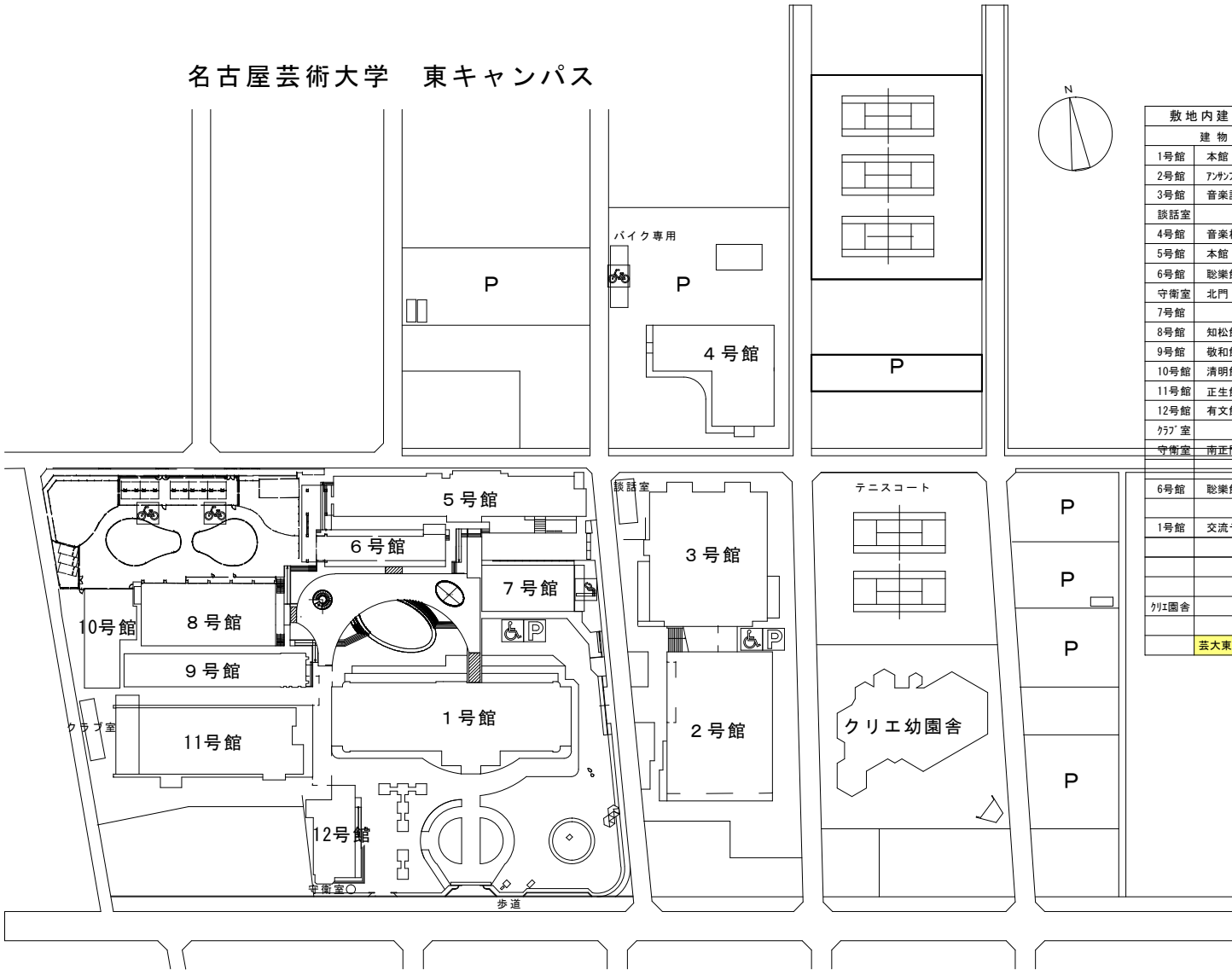
所在地：愛知県北名古屋市徳重

芸大（芸術学部・人間発達学部）中心校地 32,165.68㎡ 所有29,132.68㎡ 借地3,033㎡

所在地：愛知県北名古屋市熊之庄



名古屋芸術大学 東キャンパス



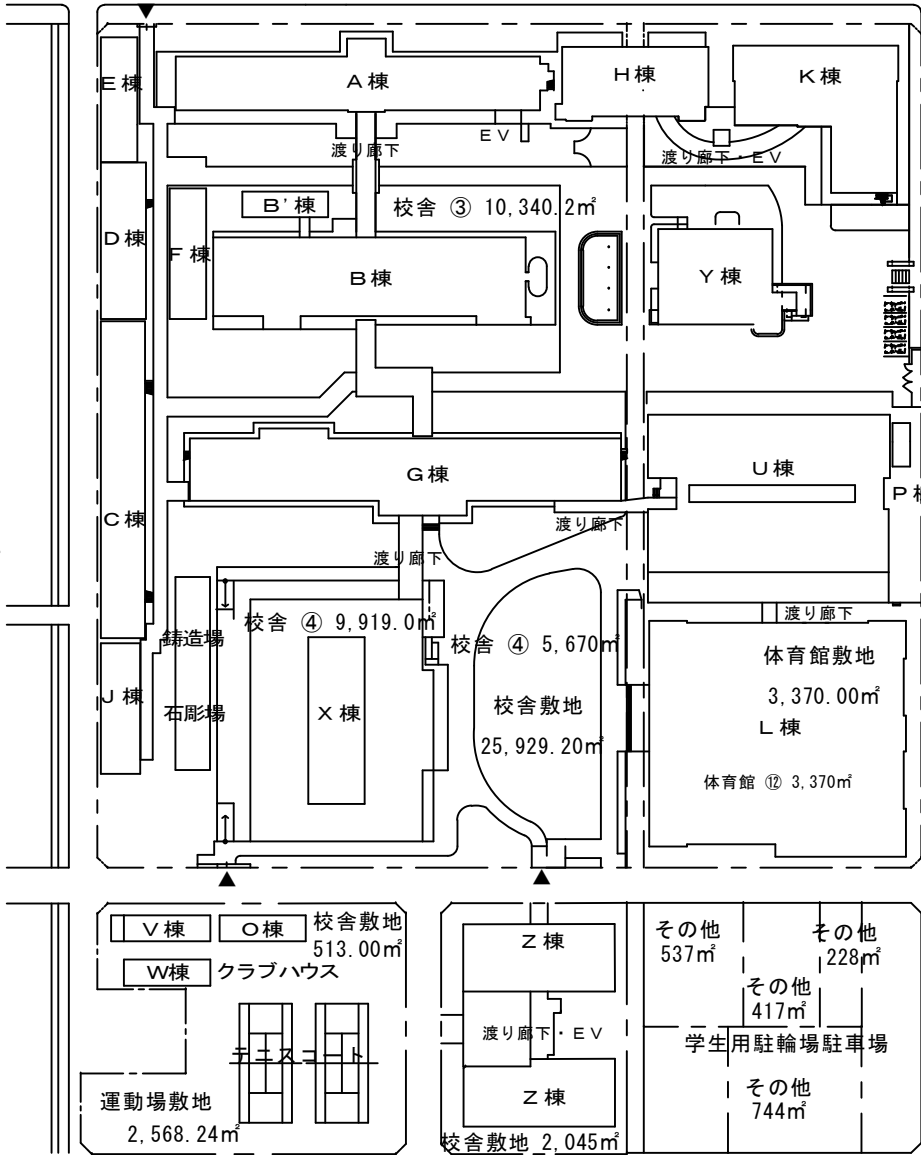
敷地内建物一覧表						
建物名称	構造	延床面積 (㎡)	新築取得年月日	備考	耐震補強工事施工	
1号館 本館	B1FSRC-8F	9,403.26	平成2年11月7日	図書室		
2号館 アンテナ棟	RC-4	3,014.96	平成13年3月15日			
3号館 音楽講堂	B1FRC-4	3,615.08	昭和56年10月2日	講堂	H16診断OK	
談話室	RC-1	61.20	昭和56年10月2日			
4号館 音楽棟	RC-4	2,024.82	昭和60年6月26日			
5号館 本館	RC-7	3,639.78	昭和45年2月25日		H18完了	
6号館 聴楽館	RC-4	1,104.09	昭和50年8月20日		H17完了	
守衛室 北門	S-1	46.80	平成23年8月5日			
7号館	S-2	595.41	平成5年3月30日			
8号館 知松館	RC-3	1,356.22	昭和48年7月24日	学生食堂・体育館	H19完了	
9号館 敬和館	RC-5	1,815.17	昭和51年4月9日		H18完了	
10号館 清明館	RC-2	623.64	昭和56年6月5日		H26診断OK	
11号館 正生館	RC-4	3,347.55	昭和42年9月1日	講堂	H22完了	
12号館 有文館	SRC-9	1,773.49	昭和53年6月30日		H19完了	
クラブ室	S-2	121.36	昭和51年6月18日	クラブ室 8室		
守衛室 南正門	S-1	4.90	平成20年9月30日			
6号館 聴楽館	RC-4	492.91	令和2年3月31日	R2.4.1用途変更 6号館2階1階一部	基本調査施設調査票: 構造 東RC造 31,779.26㎡ 芸大計RC造 59,357.72㎡ 東S造 768.47㎡ 芸大計S造 6,452.09㎡ 東合計 32,547.73㎡ 芸大合計 65,809.81㎡	
1号館 交流テラス渡り廊下	S-1	0.0	令和2年10月31日	1号館・6号館・8号館		
図書室	W-1	854.61	平成12年8月24日			
芸大東キャンパス校舎合計		16棟	32,547.73	図書室含まず	R2.7.1実態調査届出	

0 25 50 100m

配置図 S=1/1000

令和 2年 5月 1日現在

名古屋芸術大学 西キャンパス 校舎配置図



敷地内建物一覧表					
建物名称	構造	延床面積(m²)	新築取得年月日	備考	耐震補強工事施工
A棟 本館	RC-4	3,153.10	昭和45年3月31日		H18完了
B棟 アートデザインセンター	RC-2	2,161.96	昭和48年10月12日	ギャラリー・図書館・学生食堂	H23完了
B'棟 学生会館	S-1	98.26	平成13年3月27日		
C棟 セラミック・彫刻工房	S-2	1,163.60	昭和49年7月31日	デザイン実験実習室	H22診断OK
D棟 木工房	S-2	611.86	昭和48年6月8日	デザイン工作室	H22診断OK
E棟 ガラス工房	S-1	157.90	昭和47年10月5日		H22診断OK
F棟 彫刻アトリエ	S-1	206.11	昭和48年6月8日	彫刻実習室	H22診断OK
G棟 共通棟	S-2	2,448.23	昭和51年9月1日		H23完了
H棟 彫刻/造形棟	RC-4	1,726.20	昭和53年7月17日		H17完了
J棟 木彫室	S-1	222.49	昭和57年5月6日		
K棟 日本画・版画棟	RC-5	3,237.74	昭和57年10月6日	絵画棟 I	H17完了
L棟 体育館	RC-3	4,417.10	昭和58年9月28日		
O棟 クラブハウス I	S-2	197.92	平成12年4月27日	クラブ室 8室	
P棟 守衛室	S-1	33.30	昭和51年9月1日		
U棟 デザイン棟 I	SRC-2	2,929.54	昭和63年5月25日	平成21.3増築	
V棟 クラブハウス II	S-1	114.93	平成9年5月19日	クラブ室 4室	
W棟 クラブハウス III	S-1	98.96	平成12年4月27日	クラブ室 4室	
X棟 デザイン棟 II	RC-3	4,081.80	平成13年2月15日		
Y棟 管理棟	RC-2	1,019.64	平成14年2月22日		
Z棟 絵画棟 II (北)	RC-5	2,010.96	平成9年12月1日	洋画棟	
Z棟 絵画棟 II (南)	RC-5	1,835.71	平成9年12月1日	洋画棟	
				鑄造場・石彫場	H25.6 校舎変更届
北棟 校舎(S61.9新築)	RC-3	338.87	平成26年5月29日		
南棟 校舎(H4新築)	RC-3	665.84	平成26年5月29日		
芸大西キャンパス校舎合計		24棟	33,262.08		R2.7.1実態調査届出

配置図 S=1/1000

令和 2年 5月 1日現在

名古屋芸術大学学則（案）

第1章 総 則

（名 称）

第1条 本学は、名古屋芸術大学（以下「本学」という。）と称する。

（目 的）

第2条 本学は、教育基本法（平成18年12月22日法律第120号）及び学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号。以下「法」という。）の趣旨に則り、芸術に関する専門の学術技芸及び人間発達に関する専門的知識を教授研究し、並びに広範な展望の下、歴史及び社会に位置づけるべき総合的教養を受け、もってわが国の芸術文化及び人間発達の創造発展に寄与しうる人材を養成することを目的とする。

2 本学に置く学部及び学科の目的は、別表0に定めるところによるものとする。

（自己点検及び自己評価）

第2条の2 本学は、前条第1項の教育研究水準の向上を図り、その目的及び使命を達成するため、本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価（以下「自己点検等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の自己点検等に関する事項は、別に定める。

（学部及び学科）

第3条 本学に、芸術学部及び人間発達学部を置く。

2 芸術学部には芸術学科を、人間発達学部には子ども発達学科を置く。

（留学生別科）

第3条の2 本学に、留学生別科を置く。

2 留学生別科については、第4条、第9条、第9条の2、第12条から第16条、第20条、第20条の2、第21条第2項、第5章各条、第27条から第29条、第31条、第32条、第33条第5項、第36条、並びに第38条から第44条までの各条の規定を除き、この学則の条項を適用する。

3 留学生別科に関して、この条及び第5条並びに別表第2の4及び別表5を除くほか、この学則（第2項の規定により適用されないものを除く。）と異なる規程がある場合は、当該規程を適用するものとする。

4 留学生別科に関し必要な事項は、規程で定めることができる。

（修業年限）

第4条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、在学期間は、原則として通算して8年を超えることができない。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学生が、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

（定 員）

第5条 各学部、学科及び留学生別科の学生の入学、編入学及び収容の定員は、次の表に定めるところによる。

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄	第5欄
学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
芸 術 学 部	芸 術 学 科	485名	35名	2,010名
人 間 発 達 学 部	子ども発達学科	100名	10名	420名
合 計		585名	45名	2,430名
留 学 生 別 科	1 年 課 程	20名		20名
	2 年 課 程	20名		40名
合 計		40名		60名

第2章 学年、学期及び休業日

（学年の始期及び終期）

第6条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

（学期及び授業期間）

第7条 学年を前期及び後期の2学期に分ける。

2 各学期の期間は、次の各号に掲げる学期の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

(1) 前期 4月1日から9月15日まで

(2) 後期 9月16日から翌年3月31日まで

3 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

（休業日）

第8条 休業日及び休業期間は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年 7 月 20 日法律第 178 号）に規定する休日
 - (3) 開学記念日 （5 月 1 日）
 - (4) 学院創立記念日 （11 月 22 日）
 - (5) 春季休業
 - (6) 夏季休業
 - (7) 冬季休業
- 2 前項第 5 号から第 7 号までに掲げる休業の期間は、学長が別に定める。
 - 3 学長が必要と認めるときは、休業日であっても授業を行うことができる。

第 3 章 教育課程

（教育課程の授業科目）

第 9 条 教育課程の授業科目は、全学総合共通科目及び専門科目とする。

- 2 全学総合共通科目は、一般科目群及び横断科目群に分ける。
- 3 専門科目を専門共通、領域共通及び領域展開の科目区分に分ける。

第 9 条の 2 横断科目群を次に掲げる科目に分ける。

- (1) 音楽領域科目
- (2) 舞台芸術領域科目
- (3) 美術領域科目
- (4) デザイン領域科目
- (5) 芸術教養領域科目
- (6) 人間発達教育科目
- (7) PBL 科目

（教育課程の編成方法）

第 10 条 教育課程は、授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 各授業科目の科目の区分、名称、単位数、必修科目又は選択科目の別は、別表 1・2 に定めるところによる。

第 11 条 （削除）

（教育職員免許状及び保育士資格）

第 12 条 芸術学部の学生が教育職員免許法（昭和 24 年 5 月 31 日法律第 147 号。以下「免許法」という。）に定める教育職員免許状（以下「免許状」という。）の授与に係る所要資格を得るために修得しなければならない単位は、次の各号に掲げる教育職員免許法施行規則（昭和 29 年 10 月 27 日文科省令第 26 号。以下「免許法施行規則」という。）に定める科目の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 教育の基礎的理解に関する科目等 別表 3-1-1 に定める単位
 - (2) 免許教科「音楽」の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目 別表 3-2-6 に定める単位
 - (3) 免許教科「美術」の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目 別表 3-2-7 に定める単位
 - (4) 免許教科「工芸」の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目 別表 3-2-8 に定める単位
 - (5) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 別表 3-3 に定める単位
- 2 人間発達学部の学生が免許法に定める免許状の授与に係る所要資格を得るために修得しなければならない単位は、次の各号に掲げる免許法施行規則に定める科目の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。
 - (1) 教育の基礎的理解に関する科目等 別表 3-1-2（小学校免許）及び別表 3-1-3（幼稚園免許）に定める単位
 - (2) 小学校免許の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目 別表 3-2-4 に定める単位
 - (3) 幼稚園免許の領域及び保育内容の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目 別表 3-2-5 に定める単位
 - (4) 免許法施行規則第 66 条の 6 に規定する科目 別表 3-3 の表に定める単位
 - 3 人間発達学部の学生が児童福祉法施行規則（昭和 23 年 3 月 31 日厚生省令第 11 号）に定める保育士資格を得るために修得しなければならない単位は、次の各号に掲げる科目の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 必修科目 別表3-4-1の表に定める単位
 (2) 選択科目 別表3-4-2の表に定める単位
 (3) 独自科目 別表3-4-3の表に定める単位
- 4 本学の学部において免許状の授与の所要資格を得ることができる免許状の種類及び免許状に係る免許教科の種類は、次の表に定めるところによる。

第1欄	第2欄	第3欄
学 部	教育職員免許状の種類	教育職員免許状に係る教科の種類
芸 術 学 部	中学校教諭一種免許状	音楽及び美術
	高等学校教諭一種免許状	音楽、美術及び工芸
人 間 発 達 学 部	小学校教諭一種免許状	
	幼稚園教諭一種免許状	

第4章 履修、単位計算及び単位修得の認定

(修得単位数)

第13条 学生が、第4条に定める修業年限内に修得すべき授業科目区分ごとの最低単位数及びその総計は、芸術学部の学生にあってはニの表、人間発達学部の学生にあっては、ホの表に定めるところによる。

ニ

(第13条関係) 芸術学部の卒業要件単位数

授業科目区分		必要単位数	
全学総合共通科目	一般科目群	16単位	
	横断科目群	音楽領域科目	8単位
		舞台芸術領域科目	
		美術領域科目	
		デザイン領域科目	
		芸術教養領域科目	
		人間発達教育科目	
PBL科目			
専門科目	専門共通	80単位	
	領域共通		
	領域展開		
自由選択科目		20単位	
備考			
1 専門科目の内、20単位を上限として、他学部、領域で開設する開放ユニットを履修することができる。			
2 全学総合共通科目、専門科目の卒業要件単位数を超えて修得した単位については、合計20単位を上限として、卒業要件単位(自由選択科目)に加えることができる。			
卒業要件単位 124単位			

ホ

(第13条関係) 人間発達学部の卒業要件単位数

授業科目区分		必要単位数	
全学総合共通科目	一般科目群	28単位以上	
	横断科目群	音楽領域科目	8単位以上
		舞台芸術領域科目	
		美術領域科目	
		デザイン領域科目	
		芸術教養領域科目	
		人間発達教育科目	
PBL科目			
専門科目		82単位以上	
備考			
1 横断科目群の項に掲げる科目については、人間発達教育科目以外の科目に属する授業科目の単位を6単位以上修得することを必要とする。			
卒業要件単位 126単位			

(委任規程)

第 14 条 全学総合共通科目及び専門科目その他本学の教育課程（教職課程を含む。）の履修に関する事項は、別に定める。

(教育職員免許状取得に関する単位)

第 15 条 第 12 条第 4 項に規定する免許状を得ようとする者は、第 13 条に定める修得単位数のほか、免許法及び免許法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

(その他の資格等に関する単位)

第 16 条 学芸員の資格を得ようとする者は、第 13 条に規定する単位のほか、博物館法（昭和 26 年 12 月 1 日法律第 285 号）及び博物館法施行規則（昭和 30 年 10 月 4 日文部省令第 24 号）に定めるところにより、別表 4-1 に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 レクリエーションインストラクターの資格を得ようとする者は、別表 4-2 に定める科目及び単位を修得しなければならない。

3 社会福祉主事の資格を得ようとする者は、社会福祉法（昭和 26 年 3 月 29 日法律第 45 号）第 19 条第 1 項第 1 号の規定により、別表 4-3 に定める科目のうち少なくとも 3 科目について、同表に定める単位を修得しなければならない。

4 児童指導員の資格を得ようとする者は、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和 23 年 12 月 29 日厚生省令第 63 号）第 43 条各号のいずれかに該当する者でなければならない。

5 二級建築士及び木造建築士の受験資格の実務経験を短縮しようとする者は、建築士法（昭和 25 年 5 月 24 日法律第 202 号）第 15 条の規定により、別表 4-4 に定める科目及び単位を修得しなければならない。

(履修方法に関する規格外事項)

第 17 条 前 3 条に定めるもののほか、履修の方法に関する事項は、別に規程で定める。

(履修科目の届出)

第 18 条 学生は、毎学期の初めに、履修する授業科目（以下「履修科目」という。）を選択し、及び学長に対し、これを届け出て、その承認を受けなければならない。

2 前項の規定は、学生が履修科目を変更する場合について準用する。

(単位の計算)

第 19 条 単位は、1 単位の履修時間を次の基準により計算する。

(1) 講義および演習については、毎週 1 時間 15 週の講義、演習をもって 1 単位とする。

(2) 実習および実技については、毎週 2 時間 15 週の実習、実技をもって 1 単位とする。ただし、卒業制作を除く。

(3) 個人実技については、150 分の実技時間をもって 1 単位とする。ただし、卒業演奏を除く。

(単位の授与等)

第 20 条 単位の授与は、成績に基づいて、担当教員の評価及び教授会の意見を聴いて学長が行う。

2 本学は、一の授業科目を履修した学生に対して原則として試験を行うものとし、当該試験に合格した学生には、所定の単位を与える。

3 試験は、原則として、毎学期末又は毎学年末に行う。

4 成績の判定は、試験のほか、必要に応じて行う臨時試験並びに論文、レポート及び、作品に基づいて行うものとする。

5 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（外国の学校等を含む。以下「大学等」という。）を卒業又は中途退学し、新たに本学に入学した学生が大学等において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目を履修したことにより修得したものとみなすことができる。

6 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学への入学後に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、前項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

7 卒業試験に関する事項は、別に定める。

8 卒業研究等については、学修の成果を評価して単位を授与する。

(他学部開講科目の履修)

第 20 条の 2 学生は、その所属に係る学部（以下「所属学部」という。）以外の学部（以下「他学部」という。）の授業を履修することができる。

2 他学部開講科目の履修については別に定める。

(学業成績判定)

第 21 条 学業成績判定の評価は、秀、優、良、可又は不可とし、秀、優、良及び可を合格、不可を不合格とする。

2 卒業論文の評価については、合格又は不合格とする。

第5章 卒業及び学位

(学位記)

第22条 本学に通算して4年以上在学し、第13条に定める授業科目を履修し、及び試験に合格して所定の単位を修得した者に、学位記を授与する。

(卒業の認定)

第23条 卒業の認定は、学長が行う。

- 2 学長は、前項の認定について決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かなければならない。
- 3 第1項の認定は、学年の終りに行う。ただし、単位未修得のために卒業の認定を受けることができなかつた者に関する事項は、別に定める。

(学位の授与)

第24条 本学は、芸術学部を卒業した者に対し、学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号。以下本条において「学位規則」という。）に定める学士（芸術）の学位を授与する。

- 2 本学は、人間発達学部を卒業した者に対し、学位規則に定める学士（教育学）の学位を授与する。
- 3 学位の授与は、学長が決定する。
- 4 学長は、前項の決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かなければならない。

第6章 入学、転学部、転科、転コース、進級、休学、復学、退学、 除籍、再入学、転学及び編入学

(入学の時期)

第25条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、第26条第1項第3号、第6号及び第9号に該当する者については、教育上支障がないときは、後期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第26条 本学に入学することができる者は、法第90条及び学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令第11号）第150条の規定により、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年1月31日文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(出願手続)

第27条 入学志願者は、出願の期日までに、次に掲げる書類を学長に提出し、及び入学検定料を納付しなければならない。

- (1) 入学志願票
- (2) 卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3) 出身校の調査書
- 2 入学検定料の額は、別表6に定めるところによる。
- 3 出願の期日は、毎年、学長が別に定める。

(選抜試験及び入学許可)

第 27 条の 2 学長は、前条の規定により入学出願手続を行った者に対して選抜試験を行い、これに合格し、所定の入学手続を行った者に対して、入学を許可する。

2 学長は、前項の許可について決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かなければならない。

(入学手続)

第 28 条 前条の規定により入学を許可された者は、入学手続の期日までに次に掲げる書類（以下「入学手続書類」という。）を学長に対して提出し、及び第 40 条第 1 項に定める入学金その他の納付金を納入しなければならない。

- (1) 誓約書
- (2) 個人情報保護に関する承諾書
- (3) 住民票記載事項証明書
- (4) 前 3 号のほか、学長が定めるもの

2 学長は、第 1 項の手続きを所定の期日までに行わない者に対して、入学の許可を取消することができる。

(誓約書)

第 29 条 前条第 1 項第 1 号に掲げる誓約書を提出する者（以下本条において「本人」という。）による署名及びその保証人 1 人による連署を必要とする。

2 前項の保証人は、独立の生計を営む成年者であり、かつ本人が未成年者の場合にあつてはその法定代理人若しくは本人が成年者の場合にあつてはその父母（以下「保護者」という。）又は親族でなければならない。ただし、本人に保護者及び親族がない場合には、この限りではない。

3 保証人は、本人が本学に在学している期間、本人に関する一切のことについて、責任を負う。

4 本人は、保証人が死亡し、又はその他の事由により保証人としての責任を果たす能力を失ったときは、新たに保証人を定め、遅滞なく学長に対して誓約書を提出しなければならない。

(入学許可書及び学生証)

第 30 条 学長は、入学手続きを完了した者に対して、入学許可書を交付する。

2 学長は、本学に入学した学生に対して、その入学と同時に学生証を交付する。

3 学生証に関する事項は、別に定める。

(転学部、転科及び転コース)

第 31 条 学生は、転学部又は転コースをしようとするときは、別に定める手続きを経なければならない。

(進級要件)

第 32 条 進級は所定の単位を修得しなければならない。

2 進級要件は別に定める。

(休学)

第 33 条 疾病その他のやむを得ない事由（以下「休学事由」という。）により休学しようとする学生は、学長に対し、休学願を提出しなければならない。

2 前項の休学願には、保証人の連署を必要とする。

3 休学は、1 年を超えてすることができない。

4 前項の規定にかかわらず、学長は、特別の理由によりやむを得ないと認めるときは、学生の願により、休学の期間（以下「休学期間」という。）を更に 1 年延長することを認めることができる。ただし、休学期間は通算して 4 年を超えることができない。

5 休学期間は、第 4 条に規定する在学年数に算入しない。

(復学)

第 34 条 学生は、休学期間の満了又は休学事由の消滅により復学しようとするときは、学長に対して復学願を提出し、その許可を得なければならない。

2 前条第 2 項の規定は、前項の復学願について準用する。

3 第 1 項の場合において、休学事由が疾病であったときは、前項の復学願には、医師の作成した当該疾病が治癒したことを証する書類を添付しなければならない。

(退学)

第 35 条 学生は、やむを得ない事由により退学しようとするときは、学長に対し、退学願を提出しなければならない。

2 第 33 条第 2 項の規定は、前項の退学願について準用する。

(除籍)

第 36 条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者を除籍することができる。

- (1) 第 4 条第 1 項の規定による在学期間を経過してなお卒業することができない者で、同条第 2 項の規定により該当する者以外の者
- (2) 第 33 条第 4 項の規定による休学期間を経過してなお復学することができない者
- (3) 正当な事由なく授業料その他の納付金を滞納し、督促してもこれを納入しない者

(4) 死亡した者

2 前項第3号に該当する者に対する除籍は、その事由となった未納金に係る学期の始期の前日にされたものとみなす。

(再入学)

第37条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者が、その退学又は除籍のときから2年以内に本学への再入学を願い出たときは、教授会の意見を聴いて、その者の再入学を許可することができる。

(1) 第35条の規定により退学した者

(2) 第36条第1項第2号又は第3号に該当し、同条の規定により除籍された者

(3) 第61条の規定により退学の懲戒処分を受けた者で、その懲戒事由が消滅した者

2 前項の許可を受けようとする者は、学長に対し、再入学願を提出し、及び再入学料を納付しなければならない。

3 第33条第2項の規定は、前項の再入学願について準用する。

4 第1項の許可を受けた者（以下「再入学者」という。）の再入学の時期は学期の始めとし、再入学者の再入学時における年次は退学時又は除籍時の年次とする。ただし、退学又は除籍の時点において進級のための要件を満たしていたときは、再入学時における年次は、進級後の年次とする。

5 再入学前の在学年数および休学期間は、再入学後の在学年数および休学期間に加算するものとする。

6 再入学料に関する事項は、別に定める。

(転学)

第38条 学生は、本学から他の大学に転学しようとするときは、学長に対して理由書を添えて転学願を提出しなければならない。

(編入学)

第39条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者が、本学の第3年次に編入学を希望するときは、選考の上、入学を許可することができる。

(1) 短期大学を卒業した者

(2) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者

(3) 外国の学校教育における14年間の課程を修了した者

(4) 高等専門学校を卒業した者

(5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（法第90条第1項に規定する者に限る。）

(6) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者（但し、法第90条に規定する入学資格を有する者に限る）

2 前項の許可を受けた者の編入学の時期は、学年の始めとする。

3 編入学した者の在学年数および既修得単位の認定に関する事項は、別に定める。

第7章 入学金、授業料及びその他の納付金

(納付金)

第40条 本学への入学を許可された者は、別表5に定める入学金並びに授業料、教育充実費及び実習費を納入しなければならない。

2 本学に在籍する者は、授業料、教育充実費及び実習費を納入しなければならない。

3 第1項の規定にかかわらず、学校法人名古屋自由学院が設置する本学大学院、学部若しくは短期大学部又は名古屋芸術大学保育専門学校（以下「関連大学等」という。）のいずれかに在籍したことのある者（科目等履修生、研究生又は研修生として在籍した者を除く。）が本学に入学する場合にあっては、その者に対して入学金の納入を全額免除する。

(納入期日)

第41条 納付金は、学長が定める納入期日までに納入しなければならない。

2 学長は、納入期日までに授業料、教育充実費及び実習費を納入しなかった者（以下「滞納者」）があるときは、その滞納者が納付金を納入するまでの期間、当該滞納者に対し諸証明の発行を停止し、並びに授業及び試験への出席及び図書館の利用を禁止することができる。

(納付金の返還)

第42条 納入された納付金は、原則として返還しない。ただし、入学手続きを完了した者が本学の定める期日までに学長に対して入学辞退届を提出したときは、既に納付された授業料、教育充実費及び実習費を返還するものとする。

2 入学辞退届の提出期日は、合格者に対して合格通知とともに通知するものとする。

(休学生の納付金)

第 43 条 第 33 条の規定により休学している学生（以下「休学生」という。）の休学期間が学期の全期間にわたるときは、当該休学生に対して授業料、教育充実費及び実習費の納入を全額免除する。

2 前項の場合において、授業料、教育充実費及び実習費の一部又は全部が既に納入されていた場合であっても、前条第 1 項本文の規定により、これらの納付金は返還しないものとする。

3 学生が学期の途中で休学する場合は、当該学期にかかる納付金を納入しなければならない。

4 休学者が学期の途中で復学する場合は、当該学期にかかる納付金を納入しなければならない。

5 第 1 項の規定により納付金を免除された休学生は、別表 7 に定める在籍料を納付しなければならない。

（復学、再入学又は留年時の納付金）

第 44 条 学生は、復学し、再入学し、又は留年したときは、その入学年度にかかわらず、当該学生が復学し、若しくは再入学し、又は留年した学年度にかかる納付金を納めなければならない。ただし、卒業年度に留年した学生の納付金については、別に定める。

2 第 3 年次に編入学した者は、当該学年度の第 1 年次に入学した者と同じ入学金及び当該年度の第 3 年次の学生と同じ授業料、教育充実費及び実習費を納めなければならない。ただし、関連大学等のいずれかに在籍したことのある者（科目等履修生、研究生又は研修生として在籍した者を除く。）が本学に入学する場合にあっては、その者に対して入学金の納入を全額免除する。

第 8 章 職員組織

（学 長）

第 45 条 本学に、学長を置く。

2 学長は、本学を代表するとともに、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

（副学長及び学長補佐）

第 45 条の 2 本学に、副学長及び学長補佐を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどり、学長に事故のあるとき又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 学長補佐は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

（図書館長）

第 45 条の 3 本学に、図書館長を置く。

2 図書館長は、本学附属図書館に関する業務を統括し、教育研究の発展に尽力するものとする。

（学部長）

第 46 条 各学部に、学部長を置く。

2 学部長は、その学部に関する校務をつかさどり、学部を統轄する。

（学科長）

第 47 条 各学科に、学科長を置く。

2 学科長は、その学科に関する校務をつかさどる。

（その他の役職者）

第 47 条の 2 第 45 条から前条までに規定するもののほか、本学には、必要な役職者を置くことができる。

（委任規定）

第 47 条の 3 本章に規定するもののほか、本学に置く役職者に関する事項は、別に定める。

（教 員）

第 48 条 本学に、教育職員（以下「教員」という。）として教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。ただし、教育研究上の組織編制として適切と認められる場合には、准教授、助教又は助手を置かないことができる。

2 第 1 項本文の規定にかかわらず、本学には講師を置かないことができる。

3 教授及び准教授は、学生を教授し、その研究を指導し、及び研究に従事する。

4 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

5 助教は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

6 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

（教員組織）

第 48 条の 2 本学は、その教育研究上の目的を達成するため、本学の教育研究組織の規模並びに授与する学位の種類及び分野に応じ、必要な教員を置く。

2 本学は、教育研究の実施に当たり、教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編成する。

3 第 1 項から前項までに規定するもののほか、教員組織に関する事項は、別に定める。

(事務職員及び技術職員)

第 48 条の 3 本学に、事務職員を置く。

- 2 本学に、技術職員を置くことができる。
- 3 第 1 項から前項までに規定するもののほか、事務職員及び技術職員に関する事項は、別に定める。

(事務組織)

第 48 条の 4 本学は、事務を処理するため、専任の職員を置く適当な事務組織を設ける。

- 2 事務組織に関する事項は、別に定める。

第 9 章 学長室会議、全学運営会議及び教授会

(学長室会議、全学運営会議及び教授会)

第 49 条 本学に、学長室会議、全学運営会議及び学部教授会その他の法第 93 条第 1 項に規定する教授会を置く。

- 2 学長室会議、全学運営会議及び学部教授会その他の教授会に関する事項は、名古屋芸術大学組織規程で定める。

第 10 章 附属図書館

(附属図書館)

第 50 条 本学に、附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関する事項は、別に定める。

第 11 章 委託生、単位互換履修生（特別聴講学生）、 科目等履修生及び外国人留学生

(委託生)

第 51 条 学長は、国若しくは地方公共団体その他の行政機関又は外国政府から教育を委託された者を委託生として教授会の意見を聴いて、受け入れることを許可することができる。

(単位互換履修生、科目等履修生)

第 52 条 学長は、本学の開講科目について履修を志望する者があるときは、その者に対して単位互換履修生（特別聴講学生）又は科目等履修生として当該科目を履修することを許可することができる。

- 2 学長は、前項の決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かなければならない。
- 3 単位互換履修生（特別聴講学生）及び科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第 53 条 学長は、外国人留学生で、本学の開講科目のうち 1 又は複数の科目について履修を志望する者があるときは、これを許可することができる。

- 2 学長は、前項の決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かなければならない。
- 3 外国人留学生に関する事項は、別に定める。

(準用規定)

第 54 条 委託生及び科目等履修生については、第 4 条、第 5 条、第 12 条から第 15 条までの各条、第 16 条第 3 項、第 20 条第 5 項及び第 6 項、第 21 条第 2 項、第 5 章各条、第 31 条から第 34 条、並びに第 37 条から第 44 条までの各条の規定を除き、この学則の条項を準用する。

第 12 章 研 究 生

(研究生)

第 55 条 学長は、学部において高度な専門技術および理論について研究しようとする者に対して、教授会の意見を聴いて、研究生として入学することを許可することができる。

- 2 研究生の入学は学年又は後期の始めとし、その修業年限は 1 年間又は 6 ヶ月間とする。ただし、学長は、その在学期間を通算 3 年まで延長することができる。
- 3 研究生の定員及び入学資格その他研究生に関する事項は、別に定める。
- 4 研究生として本学に入学しようとする者は、学長に対し、願書を提出し、及び入学検定料を納入しなければならない。
- 5 研究生として入学の許可を受けた者は、入学金並びに年間授業料及び実習費を納入しなければならない。ただし、

本学の学部を卒業した者に対しては、入学金の納入を免除する。

6 前各号に定めるもののほか、研究生に関する事項は、別に定める。

第13章 厚生保健施設

(保健室)

第56条 本学に、保健室を設ける。

- 2 保健室は、次に掲げる事務をつかさどる。
 - (1) 学生及び職員の健康相談に応ずること。
 - (2) 疾病を予防するために必要な措置を講じること。
 - (3) 必要に応じて救急処置を行うこと。

(健康診断)

第57条 本学は、学生及び職員の健康保持のため、毎年、これらの者に対して健康診断（レントゲン検査を含む。）を行う。

(厚生施設)

第58条 本学に、厚生施設を設ける。

- 2 厚生施設に関する事項は、別に定める。

第14章 表彰及び懲戒

(表彰)

第59条 学長は、学生として表彰に値すると認める行為があったときは、これを表彰する。

- 2 学長は、前項の決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かななければならない。
- 3 前項の表彰に関する事項は、別に定める。

(懲戒)

第60条 学長は、教育上必要があると認めるときは、学生を懲戒することができる。

- 2 学長は、前項の決定を行うに当たり、教授会の意見を聴かななければならない。
- 3 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

(懲戒事由)

第61条 退学の処分は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく、出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第15章 補 則

(補 則)

第62条 この学則の施行に関し必要な事項は、学長が定める。

(学則の改廃)

第63条 この学則の改正は、全学運営会議の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この学則は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和46年4月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学する学生の既に修得した科目はなお従前の学則において、それぞれ修得したものとみなす。

附 則

この改正学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 48 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 49 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 昭和 49 年 3 月 31 日以前に入学した者の授業料は、従前納入されていた額とする。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 昭和 50 年 3 月 31 日以前に入学した者の授業料は、従前納入されていた額とする。
- 3 この改正学則施行の際、現に在学する学生の既に修得した科目はなお従前の学則において、それぞれ修得したものとみなす。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 昭和 51 年 3 月 31 日以前に入学した者の授業料は、従前納入されていた額とする。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 昭和 53 年 3 月 31 日以前に入学した者の授業料は、従前納入されていた額とする。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 昭和 54 年 3 月 31 日以前に入学した者の納付金は、従前納入されていた額とする。ただし、改正納付金は、昭和 54 年 4 月 1 日以降に入学した者に適用する。
- 3 この学則改正の際、音楽学部専門教育科目中、楽式論については、現に在学する音楽学部学生に適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学する学生の既に修得した科目は、なお従前の学則において、それぞれ修得したものとみなす。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学する学生の既に修得した科目は、なお従前の学則において、それぞれ修得したものとみなす。

附 則

- 1 この改正学則は昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。この学則の適用は昭和 57 年度入学者からとする。
- 2 この改正学則施行の際現に在学する学生は従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 58 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則は、音楽学部授業科目のうち指揮法演習、オルガン奏法特論および器楽特殊研究の三授業科目を除き、昭和 58 年度入学者より適用する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学する学生には附則 1 の三授業科目を除き、従前の学則を適用する。
- 3 改正学則第 41 条に定める納付金は、昭和 58 年 4 月 1 日以降に入学した者に適用し、昭和 58 年 3 月 31 日以前に入学した者には適用しない。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は昭和 59 年度入学者からとする。
- 2 この学則改正施行の際、現に在学する学生は従前の学則を適用する。

- 3 改正学則第 41 条に定める納付金は、昭和 59 年 4 月 1 日以降に入学した者に適用し、昭和 59 年 3 月 31 日以前に入学した者には適用しない。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は昭和 60 年度入学者からとする。
- 2 この学則改正施行の際、現に在学する学生には第 15 条を除き従前の学則を適用する。

附 則

この改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。この学則の適用は昭和 61 年度入学者からとする。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。この学則の適用は昭和 62 年度入学者からとする。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学する学生については、教授会が別に定める場合を除いては従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は昭和 63 年度入学者からとする。
- 2 この学則改正施行の際、現に在学する学生については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は平成元年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成元年度入学者からとする。
- 2 この学則改正施行の際、現に在学する学生については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は平成 2 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成 2 年度入学者からとする。
- 2 平成元年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成 3 年度入学者からとする。ただし、平成 2 年度以前の入学者については第 37 条 2 および第 38 条は平成 3 年 4 月 1 日から適用し、第 44 条項に限り、平成 4 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 2 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則の適用は平成 4 年度入学者からとする。ただし、第 5 条の規定にかかわらず平成 4 年度から平成 8 年度までの入学定員は次のとおりとする。

音楽学部	器楽科	75 名
美術学部	絵画科	80 名
	彫刻科	25 名
	デザイン科	115 名

- 3 第 24 条については、平成 3 年 9 月 14 日から適用する。
- 4 平成 3 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成 5 年度入学者からとする。
- 2 平成 4 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成 6 年度入学者からとする。
- 2 平成 5 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成 7 年度入学者からとする。
- 2 平成 6 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。この改正学則の適用は平成 8 年度入学者からとする。
- 2 平成 7 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則の適用は平成 9 年度入学者からとする。ただし、第 5 条の規定にかかわらず平成 9 年度から平成 11 年度までの入学定員は次のとおりとする。

音楽学部	器楽科	75 名
美術学部	絵画科	80 名
	彫刻科	25 名
	デザイン科	115 名
- 3 平成 8 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 9 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 10 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 11 年 4 月 24 日から施行し、平成 11 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 10 年度以前の入学者については、教授会が別に定める場合を除いて従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 11 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、この改正学則を適用することができる。

附 則

この改正学則は、平成 12 年 10 月 28 日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 12 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。
- 3 彫刻科は改正学則第 3 条の規定にかかわらず、平成 13 年 3 月 31 日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 13 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 14 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。
- 3 第 40 条第 2 項および第 44 条第 2 項については、平成 15 年度入学生から適用する。
- 4 第 43 条第 1 項については、平成 14 年度入学生についても適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 15 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 16 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。
- 3 第 40 条第 2 項については、平成 17 年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 17 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 18 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。
- 3 第 16 条第 3 項に定めるレクリエーションインストラクターの資格取得については、平成 19 年 4 月 1 日に在籍する学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 19 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 20 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 24 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 25 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、評議会の議を経てこの改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 27 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、全学運営会議の審議を経て、この改正学則を適用することを学長が決する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、教授会が認めた場合は、全学運営会議の審議を経て、この改正学則を適用することを学長が決する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 45 条の 4 第 1 項、第 2 項及び第 55 条第 2 項については、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 29 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、全学運営会議の審議を経、学長室会議の承認を得て、この改正学則を適用することを学長が決する。

附 則

この改正学則は、平成 30 年 12 月 15 日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、全学運営会議の審議を経て、学長室会議の承認を得て、この改正学則を適用することを学長が決する。

附 則

- 1 この改正学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、学長室会議及び全学運営会議の議を経て、この改正学則を適用することができる。

附 則

- 1 この改正学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年度以前の入学者については、従前の学則を適用する。ただし、学長室会議及び全学運営会議の議を経て、この改正学則を適用することができる。

別表 0

(第 2 条関係) 学部の目的

第 1 欄	第 2 欄
学部	目的
芸術学部	音楽領域、舞台芸術領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する。
人間発達学部	保育・初等教育にかかわる理論ならびに技術の教授を通して、豊かな感性を備え、真に子どもの成長・発達を支えることのできる保育者・教育者を養成する。

別表 1-4

人間発達学部専門科目（子ども発達学科）

学部	学科	区分	学 科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	選択 必修 単位	備 考	
人間 発達学部	子ども 発達学科	科基専 目礎門	専門基礎科目	子ども学総論	2	2				
				発達心理学	2	2				
		専 門 基 幹 科 目	初等教育学 (幼児教育)	保育者論	2		2			
				教育原論	2		2			
				教育方法論	2		2			
				教育相談	2		2			
				特別支援の理解	2		2			
				幼児理解	2		2			
				保育指導法	2		2			
				保育課程論	2		2			
				保育内容総論	2		2			
				保育内容演習 健康	2		2			
				保育内容演習 人間関係	2		2			
				保育内容演習 環境	2		2			
				保育内容演習 言葉	2		2			
				保育内容演習 表現	2		2			
				(小学校教育)	教職論	2		2		
			教育制度論		2		2			
			教育課程論		2		2			
			道德教育指導論		2		2			
			総合的な学習の時間の指導法		2		2			
			特別活動論		2		2			
			生徒・進路指導論		2		2			
			国語科指導法		2		2			
			社会科指導法		2		2			
			算数科指導法		2		2			
			理科指導法		2		2			
			生活科指導法		2		2			
			音楽科指導法		2		2			
			図画工作科指導法		2		2			
			家庭科指導法		2		2			
			体育科指導法	2		2				
			外国語科指導法（英語）	2		2				
			地域活動・地域貢献	地域活動	2		2			
			保育学	保育原理	2	2				
				子ども家庭福祉	2	2				
				社会福祉	2		2			
		社会的養護Ⅰ		2		2				
		社会的養護Ⅱ		1		1				
		子育て支援		1		1				
		子どもの保健		2		2				
		子どもの食と栄養		2		2				
		子ども家庭支援論		2		2				
		乳児保育Ⅰ		2		2				
		障害児保育		2		2				
		保育の心理学		2		2				
		子ども家庭支援の心理学		2		2				
子どもの理解と援助	1			1						
子どもの健康と安全	1			1						

学部	学科	区分	学 科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	選択 必修 単位	備 考	
人間 発達 学部	子ども 発達 学科	専門 基幹 科目	教科・保育表現技術	国語（書写を含む）	2		2			
				社会	2		2			
				算数	2		2			
				理科	2		2			
				生活	2	2				
				音楽	2	2				
				図画工作	2	2				
				家庭	2		2			
				体育	2		2			
				外国語（英語）	2		2			
				実習	教育実習（小学校）	4		4		
			教育実習指導（小学校）		1		1			
			教育実習（幼稚園基礎実習・実習指導）		1		1			
			教育実習（幼稚園応用実習）		3		3			
			教育実習指導（幼稚園応用実習）		2		2			
			保育所実習Ⅰ		2		2			
			保育所実習指導Ⅰ		1		1			
			施設実習Ⅰ		2		2			
			施設実習指導Ⅰ		1		1			
			保育所実習Ⅱ		2		2			
			保育所実習指導Ⅱ		1		1			
		施設実習Ⅱ	2			2				
		施設実習指導Ⅱ	1			1				
		介護等体験	1			1				
		専門 展開 科目	教育・保育		保育内容と方法	2		2		
				乳児保育Ⅱ	1		1			
			心理・臨床	乳幼児心理学	2		2			
				生涯発達心理学	2		2			
			文化・芸術・スポーツ	子ども文化創造論	2		2			
				ピアノ実習Ⅰ	1		1			
				ピアノ実習Ⅱ	1		1			
				子どものうたとピアノⅠ	1		1			
				子どものうたとピアノⅡ	1		1			
				声楽表現	1		1			
				器楽表現	1		1			
				子どもの造形	1		1			
				子どもの絵画	1		1			
				子どものデザイン	1		1			
				子どもの身体表現	1		1			
				子どもの運動あそび	1		1			
				子どもと絵本Ⅰ	2		2			
				子どもと絵本Ⅱ	2		2			
				ゼミ ナール	ゼミナール	子ども学演習	2	2		
						基礎演習	4	4		
						専門演習	4	4		
		卒業研究・卒業制作	4			4				
教職実践演習（小）	2		2							
保育・教職実践演習（幼）	2		2							

別表 1-5

(第10条関係) 芸術学部専門科目

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
専門共通	芸術鑑賞	2		2	
	エンターテインメントディレクション特殊研究	2		2	
	芸術文化論	2		2	
	シナリオ研究	2		2	
	副科実技A-1	1		1	
	副科実技A-2	1		1	
	副科実技B-1	1		1	
	副科実技B-2	1		1	
	副科実技C-1	1		1	
	副科実技C-2	1		1	
	副科実技D-1	1		1	
	副科実技D-2	1		1	
	法令 (安全管理)	2		2	
	著作権	2		2	
	アウトリーチ論	2		2	
	ストーリーミングデザイン	2		2	
	舞台芸術作品研究 I	2		2	
	舞台芸術作品研究 II-1	2		2	
	舞台芸術作品研究 II-2	2		2	
	舞台芸術作品研究 II-3	2		2	
	芸術学	2		2	
	近現代芸術論	2		2	
	彫刻論	2		2	
	日本美術史	2		2	
	東洋美術史	2		2	
	西洋美術史	2		2	
	近代美術史	2		2	
	アートと宗教	2		2	
	美術研修	2		2	
	陶芸技法1	2		2	
	陶芸技法2	2		2	
	ガラス技法1	2		2	
	ガラス技法2	2		2	
	絵画	2		2	
	彫刻	2		2	
	アートと文化1	2		2	
	アートと文化2	2		2	
	芸術療法	2		2	
	美術解剖学	2		2	
	近現代彫刻論	2		2	
	版画技法1	2		2	
版画技法2	2		2		
彫刻技法1	2		2		
彫刻技法2	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
専門共通	鑄造技法	2		2	
	クリエイター演習1 (現代文化)	2		2	
	クリエイター演習2 (伝統工芸)	2		2	
	工芸教育演習	4		4	
	現代美術演習	2		2	
	芸術計画演習	2		2	
	デザイン史	2		2	
	デザインと文化1	2		2	
	図学1	2		2	
	図学2	2		2	
	建築史	2		2	
	工芸史	2		2	
	色彩学	2		2	
	エコロジーとバリアフリー	2		2	
	立体造形	2		2	
	デザインと文化2	2		2	
	現代デザイン論	2		2	
	写真論	2		2	
	映像論	2		2	
	建築論	2		2	
	工芸理論	2		2	
	マンガ原作	2		2	
	写真演習	2		2	
	映像とメディア (絵画)	1		1	
	映像とメディア (デザイン)	1		1	
	人類生存のための教養	2		2	
	社会調査	2		2	
	海外研修	2		2	
	地域文化論	2		2	
	文化政策	2		2	
	メディア論	2		2	
	論理的思考	2		2	
サブカルチャー論	2		2		
英語リテラシー1	2		2		
英語リテラシー2	2		2		
領域共通	音楽芸術基礎研究	2		2	
	西洋音楽史概論	2		2	
	音楽ケアデザイン各論1	2		2	
	音楽ケアデザイン各論2	2		2	
	音楽ケアデザイン各論3	2		2	
	臨床医学1	2		2	
	臨床医学2	2		2	
	邦楽 (歌唱)	1		1	
	邦楽 (和楽器)	1		1	
	和声学 I-1	2		2	
	和声学 I-2	2		2	

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域共通	音楽ケアデザインワークショップ1	4		4	
	音楽ケアデザインワークショップ2	4		4	
	音楽ケアデザインワークショップ3	4		4	
	録音デザイン研究1	2		2	
	録音デザイン研究2	2		2	
	音響デザイン研究1	2		2	
	音響デザイン研究2	2		2	
	サウンドメディア基礎演習	4		4	
	ノートリーディングⅠ	2		2	
	ノートリーディングⅡ	2		2	
	ミュージックエンターテインメントⅠ	8		8	
	ソルフェージュ実習Ⅰ-1	1		1	
	ソルフェージュ実習Ⅰ-2	1		1	
	ピアノⅠ-1	1		1	
	ピアノⅠ-2	1		1	
	声楽実習Ⅰ-1	1		1	
	声楽実習Ⅰ-2	1		1	
	合唱1-1	1		1	
	合唱1-2	1		1	
	室内楽Ⅰ-1	1		1	
	室内楽Ⅰ-2	1		1	
	マーチング実習1	1		1	
	マーチング実習2	1		1	
	管楽器リペア実習1	1		1	
	合奏Ⅰ-1	1		1	
	合奏Ⅰ-2	1		1	
	セッションⅠ-1	1		1	
	セッションⅠ-2	1		1	
	演奏実習Ⅰ-1	1		1	
	演奏実習Ⅰ-2	1		1	
	舞踊表現・バレエ1	1		1	
	舞踊表現・バレエ2	1		1	
	ダンス実技Ⅰ-1	1		1	
	ダンス実技Ⅰ-2	1		1	
	舞台パフォーマンスⅠ-1	1		1	
	舞台パフォーマンスⅠ-2	1		1	
	音楽表現実技Ⅰ	8		8	
	総合音楽実技1	8		8	
	民族音楽研究	2		2	
	日本音楽研究	2		2	
	音楽と教育	2		2	
社会福祉概論	2		2		
障害児教育	2		2		
音楽心理学	2		2		
発達心理学	2		2		
臨床心理1	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域共通	臨床心理2	2		2	
	ショービジネス研究	2		2	
	和声学Ⅱ-1	2		2	
	和声学Ⅱ-2	2		2	
	音楽情報処理入門	2		2	
	スコアリーディング	2		2	
	スコアリーディング演習	2		2	
	音楽制作基礎演習1	2		2	
	音楽制作基礎演習2	2		2	
	ポップス・ロック論1	2		2	
	ポップス・ロック論2	2		2	
	ライブプロデュース演習1	2		2	
	サウンドメディア応用演習Ⅰ	4		4	
	ミュージックエンターテインメントⅡ	8		8	
	ソルフェージュ実習Ⅱ-1	1		1	
	ソルフェージュ実習Ⅱ-2	1		1	
	ピアノⅡ-1	1		1	
	ピアノⅡ-2	1		1	
	初見奏法1	1		1	
	初見奏法2	1		1	
	伴奏法Ⅰ-1	1		1	
	伴奏法Ⅰ-2	1		1	
	ピアノ重奏法1	1		1	
	ピアノ重奏法2	1		1	
	声楽実習Ⅱ-1	1		1	
	声楽実習Ⅱ-2	1		1	
	合唱2-1	1		1	
	合唱2-2	1		1	
	器楽合奏Ⅰ	1		1	
	器楽合奏Ⅱ	1		1	
	器楽基礎研究1	1		1	
	器楽基礎研究2	1		1	
	室内楽Ⅱ-1	1		1	
	室内楽Ⅱ-2	1		1	
	管楽器リペア実習2	1		1	
	合奏Ⅱ-1	1		1	
	合奏Ⅱ-2	1		1	
	セッションⅡ-1	1		1	
	セッションⅡ-2	1		1	
	演奏実習Ⅱ-1	1		1	
	演奏実習Ⅱ-2	1		1	
	録音デザイン実習Ⅰ-1	1		1	
	録音デザイン実習Ⅰ-2	1		1	
音響デザイン実習Ⅰ-1	1		1		
音響デザイン実習Ⅰ-2	1		1		
デジタルアート1	1		1		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域共通	ステージマネジメントⅠ-1	1		1	
	ステージマネジメントⅠ-2	1		1	
	アクティングⅠ-1	1		1	
	アクティングⅠ-2	1		1	
	ダンス実技Ⅱ-1	1		1	
	ダンス実技Ⅱ-2	1		1	
	舞台パフォーマンスⅡ-1	1		1	
	舞台パフォーマンスⅡ-2	1		1	
	音楽表現実技Ⅱ	8		8	
	総合音楽実技2	8		8	
	アートマネジメント概論	2		2	
	エンターテインメントコンテンツ論	2		2	
	舞台芸術キャリア研究1	2		2	
	舞台芸術キャリア研究2	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-1	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-2	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-3	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-4	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-5	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-6	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-7	2		2	
	舞台芸術演習Ⅰ-8	2		2	
	図面演習Ⅰ	2		2	
	プロジェクトワーク1	2		2	
	プロジェクトワーク2	2		2	
	文化と経営	2		2	
	文化と経済	2		2	
	広報論	2		2	
	舞台芸術演習Ⅱ-1	2		2	
	舞台芸術演習Ⅱ-2	2		2	
	舞台芸術演習Ⅱ-3	2		2	
	舞台芸術演習Ⅱ-4	2		2	
	図面演習Ⅱ	2		2	
	図面演習Ⅲ	2		2	
	プロジェクトワーク3	2		2	
	プロジェクトワーク4	2		2	
	施設実習1	2		2	
	施設実習2	2		2	
	アート概論	2		2	
	近現代工芸論	2		2	
	クロッキー	2		2	
美術演習Ⅰ-1	2		2		
美術演習Ⅰ-2	2		2		
美術実技Ⅰ-1 (アート・ファンデーション)	4		4		
美術実技Ⅰ-2 (アート・ファンデーション)	4		4		
美術実技Ⅰ-3 (アイディアとドローイング)	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域共通	美術実技Ⅰ-4 (オブジェ)	2		2	
	美術実技Ⅰ-5 (彫塑/マケット)	2		2	
	美術実技Ⅰ-6 (陶芸)	2		2	
	美術実技Ⅰ-7 (ガラス)	2		2	
	美術実技Ⅰ-8 (フィギュア)	2		2	
	日本画実技Ⅰ-1	2		2	
	日本画実技Ⅰ-2	2		2	
	日本画実技Ⅰ-3	2		2	
	日本画実技Ⅰ-4	2		2	
	洋画実技Ⅰ-1	2		2	
	洋画実技Ⅰ-2	2		2	
	洋画実技Ⅰ-3	2		2	
	洋画実技Ⅰ-4	2		2	
	絵画技法材料論	2		2	
	版画史	2		2	
	メディア表現	2		2	
	プロジェクト演習	2		2	
	学外演習1	2		2	
	美術演習Ⅱ-1	2		2	
	美術演習Ⅱ-2	2		2	
	美術実技Ⅱ-1	2		2	
	美術実技Ⅱ-2	2		2	
	美術実技Ⅱ-3	2		2	
	美術実技Ⅱ-4	2		2	
	美術実技Ⅱ-5	2		2	
	美術実技Ⅱ-6	2		2	
	美術実技Ⅱ-7	2		2	
	美術実技Ⅱ-8	2		2	
	日本画実技Ⅱ-1	4		4	
	日本画実技Ⅱ-2	2		2	
	日本画実技Ⅱ-3	2		2	
	日本画実技Ⅱ-4	4		4	
	日本画実技Ⅱ-5	2		2	
	日本画実技Ⅱ-6	2		2	
	洋画実技Ⅱ-1	4		4	
	洋画実技Ⅱ-2	2		2	
	洋画実技Ⅱ-3	2		2	
	洋画実技Ⅱ-4	4		4	
	洋画実技Ⅱ-5	2		2	
	洋画実技Ⅱ-6	2		2	
	工芸複合素材実習	2		2	
	デザイン概論	2		2	
デザイン理論	2		2		
文芸基礎	2		2		
デジタルサウンド1	2		2		
編集総合演習	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域共通	デザイン基礎演習A	2		2	
	デザイン基礎演習B	2		2	
	デザイン基礎演習C	2		2	
	デザイン基礎演習D	2		2	
	デザイン基礎演習E	2		2	
	デザイン基礎演習F	2		2	
	デザイン基礎演習G	2		2	
	レビュー I	2		2	
	デザイン実技 I-1	2		2	
	デザイン実技 I-2	2		2	
	デザイン実技 I-3	2		2	
	デザイン実技 I-4	2		2	
	先端基礎実技1	2		2	
	先端基礎実技2	2		2	
	文芸実技 I-1	2		2	
	文芸実技 I-2	2		2	
	文芸実技 I-3	2		2	
	文芸実技 I-4	2		2	
	文芸実技 I-5	2		2	
	文芸実技 I-6	2		2	
	コンピュータ表現基礎	2		2	
	工芸制作	2		2	
	情報デザイン論	2		2	
	印刷論	2		2	
	製品企画論	2		2	
	エルゴノミクス論	2		2	
	材料学	2		2	
	建築企画論1-a (法規)	1		1	
	建築企画論1-b (生産)	1		1	
	インテリア設計論	2		2	
	観察学・考現学	2		2	
	映像演習	2		2	
	デジタルサウンド2	2		2	
	照明演習	2		2	
	金属技法材料	2		2	
	染織技法材料	2		2	
	デザインワークショップ	2		2	
	デザインインターンシップ	2		2	
	デザイン演習 I	2		2	
	文芸演習 I-1	2		2	
	文芸演習 I-2	2		2	
	レビュー II	2		2	
	デザイン実技 II-1	2		2	
デザイン実技 II-2	2		2		
デザイン実技 II-3	2		2		
デザイン実技 II-4	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域共通	文芸実技Ⅱ-1	2		2	
	文芸実技Ⅱ-2	2		2	
	文芸実技Ⅱ-3	2		2	
	文芸実技Ⅱ-4	2		2	
	版画実技	2		2	
	視覚文化	2		2	
	サウンド文化	2		2	
	日本語リテラシー1	2		2	
	異文化体験	2		2	
	教養と文化1	2		2	
	芸術教養レビュー1	2		2	
	ビジュアルリテラシー1	2		2	
	ビジュアルリテラシー2	2		2	
	サウンドリテラシー1	2		2	
	サウンドリテラシー2	2		2	
	情報文化	2		2	
	テキスト文化	2		2	
	国際文化	2		2	
	日本語リテラシー2	2		2	
	情報リテラシー1	2		2	
	情報リテラシー2	2		2	
	教養と文化2	2		2	
	芸術教養レビュー2	2		2	
	プロジェクト1	2		2	
	プロジェクト2	2		2	
	ムービー制作	2		2	
	インターメディア表現	2		2	
	身体と言葉の表現	2		2	
領域展開	和声学Ⅲ-1	2		2	
	和声学Ⅲ-2	2		2	
	20世紀音楽と電子メディア	2		2	
	ジャズ・ポップス論	2		2	
	医学概論	2		2	
	介護概論	2		2	
	対位法	2		2	
	編曲法演習	2		2	
	声楽歌唱法	2		2	
	指揮法演習	2		2	
	オペラ研究Ⅰ-1	2		2	
	オペラ研究Ⅰ-2	2		2	
	オーケストレーション演習1	2		2	
	オーケストレーション演習2	2		2	
	コンポジション1	2		2	
	コンポジション2	2		2	
	音楽療法1	2		2	
	音楽療法2	4		4	

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域展開	劇場と舞台	2		2	
	パフォーマンス論1	2		2	
	パフォーマンス論2	2		2	
	ライブプロデュース演習2	2		2	
	サウンドメディア応用演習Ⅱ	4		4	
	ミュージックエンターテインメントⅢ	8		8	
	ソルフェージュ実習Ⅲ-1	1		1	
	ソルフェージュ実習Ⅲ-2	1		1	
	ピアノ応用実習Ⅰ	1		1	
	ピアノ応用実習Ⅱ（伴奏法を含む）	1		1	
	伴奏法Ⅱ-1	1		1	
	伴奏法Ⅱ-2	1		1	
	ピアノ演奏解釈1	1		1	
	ピアノ演奏解釈2	1		1	
	作曲法実習Ⅰ	1		1	
	作曲法実習Ⅱ	1		1	
	器楽応用研究1	1		1	
	室内楽Ⅲ-1	1		1	
	室内楽Ⅲ-2	1		1	
	マーチング実習3	1		1	
	合奏Ⅲ-1	1		1	
	合奏Ⅲ-2	1		1	
	セッションⅢ-1	1		1	
	セッションⅢ-2	1		1	
	演奏実習Ⅲ-1	1		1	
	演奏実習Ⅲ-2	1		1	
	音楽制作実習Ⅰ-1	1		1	
	音楽制作実習Ⅰ-2	1		1	
	録音デザイン実習Ⅱ-1	1		1	
	録音デザイン実習Ⅱ-2	1		1	
	音響デザイン実習Ⅱ-1	1		1	
	音響デザイン実習Ⅱ-2	1		1	
	デジタルアート2	1		1	
	ブラクティス1	2		2	
	ブラクティス2	2		2	
	ステージマネジメントⅡ-1	1		1	
	ステージマネジメントⅡ-2	1		1	
	声優技術基礎実習1	1		1	
	声優技術基礎実習2	1		1	
	アクティングⅡ-1	1		1	
	アクティングⅡ-2	1		1	
ダンス実技Ⅲ-1	1		1		
ダンス実技Ⅲ-2	1		1		
舞台パフォーマンスⅢ-1	1		1		
舞台パフォーマンスⅢ-2	1		1		
声優アクティング表現実技Ⅰ	8		8		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域展開	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅰ	8		8	
	音楽表現実技Ⅲ	8		8	
	総合音楽実技3	8		8	
	コンポジション3	2		2	
	コンポジション4	2		2	
	音楽療法3	4		4	
	サウンドメディアプロジェクト	4		4	
	ミュージックエンターテインメントⅣ	4		4	
	キーボードハーモニー	1		1	
	オペラ研究Ⅱ-1	2		2	
	オペラ研究Ⅱ-2	2		2	
	器楽応用研究2	1		1	
	室内楽Ⅳ-1	1		1	
	室内楽Ⅳ-2	1		1	
	マーチング実習4	1		1	
	合奏Ⅳ-1	1		1	
	合奏Ⅳ-2	1		1	
	セッションⅣ-1	1		1	
	セッションⅣ-2	1		1	
	演奏実習Ⅳ-1	1		1	
	演奏実習Ⅳ-2	1		1	
	音楽制作実習Ⅱ-1	1		1	
	音楽制作実習Ⅱ-2	1		1	
	録音デザイン実習Ⅲ-1	1		1	
	録音デザイン実習Ⅲ-2	1		1	
	音響デザイン実習Ⅲ-1	1		1	
	音響デザイン実習Ⅲ-2	1		1	
	ブラクティス3	2		2	
	ブラクティス4	2		2	
	アクティングⅢ-1	1		1	
	アクティングⅢ-2	1		1	
	ダンス実技Ⅳ-1	1		1	
	ダンス実技Ⅳ-2	1		1	
	舞台パフォーマンスⅣ-1	1		1	
	舞台パフォーマンスⅣ-2	1		1	
	声優アクティング表現実技Ⅱ	8		8	
	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅱ	8		8	
	音楽表現実技Ⅳ	8		8	
	総合音楽実技4	8		8	
	劇場運営論	2		2	
	プロダクションマネジメント論	2		2	
芸術祭研究	2		2		
舞台芸術演習Ⅲ-1	2		2		
舞台芸術演習Ⅲ-2	2		2		
舞台芸術演習Ⅲ-3	2		2		
舞台芸術演習Ⅲ-4	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域展開	プロジェクトワーク5	2		2	
	プロジェクトワーク6	2		2	
	施設実習3	2		2	
	施設実習4	2		2	
	舞台芸術演習Ⅳ-1	2		2	
	舞台芸術演習Ⅳ-2	2		2	
	アートプロデュース演習1	2		2	
	アートプロデュース演習2	2		2	
	ポートフォリオ演習	2		2	
	学外演習2	2		2	
	美術実技Ⅲ-1	2		2	
	美術実技Ⅲ-2	2		2	
	美術実技Ⅲ-3	2		2	
	美術実技Ⅲ-4	2		2	
	美術実技Ⅲ-5	2		2	
	美術実技Ⅲ-6	2		2	
	美術実技Ⅲ-7	2		2	
	美術実技Ⅲ-8	2		2	
	日本画実技Ⅲ-1	4		4	
	日本画実技Ⅲ-2	2		2	
	日本画実技Ⅲ-3	2		2	
	日本画実技Ⅲ-4	4		4	
	日本画実技Ⅲ-5	2		2	
	日本画実技Ⅲ-6	2		2	
	洋画実技Ⅲ-1	4		4	
	洋画実技Ⅲ-2	2		2	
	洋画実技Ⅲ-3	2		2	
	洋画実技Ⅲ-4	4		4	
	洋画実技Ⅲ-5	2		2	
	洋画実技Ⅲ-6	2		2	
	美術実技Ⅳ-1	4		4	
	美術実技Ⅳ-2	4		4	
	日本画実技Ⅳ-1	4		4	
	日本画実技Ⅳ-2	4		4	
	洋画実技Ⅳ-1	4		4	
	洋画実技Ⅳ-2	4		4	
	視覚デザイン論	2		2	
	広告表現論	2		2	
	建築企画論2	2		2	
	環境設計論	2		2	
	建築構造学	2		2	
	デザイン演習Ⅱ-1	2		2	
デザイン演習Ⅱ-2	2		2		
文芸演習Ⅱ-1	2		2		
文芸演習Ⅱ-2	2		2		
レビューⅢ	2		2		

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
領域 展開	デザイン実技Ⅲ-1	2		2	
	デザイン実技Ⅲ-2	2		2	
	デザイン実技Ⅲ-3	2		2	
	デザイン実技Ⅲ-4	2		2	
	文芸実技Ⅲ-1	2		2	
	文芸実技Ⅲ-2	2		2	
	文芸実技Ⅲ-3	2		2	
	文芸実技Ⅲ-4	2		2	
	工芸・クラフトプロジェクト	2		2	
	デザイン実技Ⅳ	4		4	
	文芸実技Ⅳ	4		4	
	芸術教養演習1	2		2	
	芸術教養演習2	2		2	
	芸術教養レビュー3	2		2	
	ビジュアルプログラミング	2		2	
	教養と文化3	2		2	
	英語ディスカッション	2		2	
	プロジェクト3	2		2	
	芸術教養演習3	2		2	
	教養と文化4	2		2	
	卒業研究（音楽）	4		4	
	卒業研究（舞台芸術）	4		4	
	卒業制作（美術・デザイン）	8		8	
卒業研究（芸術教養）	4		4		

別表 2-3

(第10条関係) 全学総合共通科目

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
一般科目群	大学生になる	1	1		
	日本語表現	1	1		
	英語1	1	1		
	英語2	1	1		
	英語3	1		1	
	コミュニケーション英語1	1	1		
	コミュニケーション英語2	1	1		
	コミュニケーション英語3	1		1	
	フランス語Ⅰ	1		1	
	フランス語Ⅱ	1		1	
	ドイツ語Ⅰ	1		1	
	ドイツ語Ⅱ	1		1	
	イタリア語Ⅰ	1		1	
	イタリア語Ⅱ	1		1	
	中国語Ⅰ	1		1	
	中国語Ⅱ	1		1	
	情報メディア演習	2	2		
	数理学	2		2	
	基礎数学	2		2	
	AIと数理	2		2	
	生物学	2		2	
	美学	2		2	
	倫理学	2		2	
	歴史学	2		2	
	社会学	2		2	
	日本国憲法	2		2	
	心理学	2		2	
	人類学	2		2	
	考古学	2		2	
	考古学演習	2		2	
	健康と体力	2		2	
	健康スポーツ	2		2	
	スタディ・アブロード	2		2	
	ボランティア	2		2	
	インターンシップ	2		2	
	経済学	2		2	
	民法	2		2	
	労務論	2		2	
	簿記	2		2	
	行政法	2		2	
	組織論	2		2	
	起業論	2		2	
	キャリア1	2	2		
	キャリア2	2		2	
キャリア3	2		2		
キャリア4	2		2		
起業演習	2		2		

科目区分		授業科目	単位数	必修	選択	備考
横断科目群	領域音楽科目	音楽の世界	2		2	
		西洋音楽史各論	2		2	
		ポップス・ジャズミュージックシーン	2		2	
	領域舞台芸術科目	舞台芸術概論	2		2	
		劇場史	2		2	
		アートマーケティング	2		2	
	領域美術科目	絵画基礎	2		2	
		デッサン	2		2	
		書道アート	2		2	
	領域デザイン科目	認知科学	2		2	
		アニメーション特論	2		2	
		ソーシャルデザイン論	2		2	
	領域芸術科目	現代芸術と文化	2		2	
		芸術と科学	2		2	
		文化とマーケティング	2		2	
	教人育間発目達	児童文学論	2		2	
		教育の思想と歴史	2		2	
		子どもの発達と芸術	2		2	
	PBL科目	アートプロジェクト1	2		2	
		アートプロジェクト2	2		2	
アートプロジェクト3		2		2		
アートプロジェクト4		2		2		

別表 2-4

(第10条関係) 留学生別科 1年課程科目

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
基礎科目	日本語基礎演習3-1(文法)	8	8		
	日本語基礎演習3-2(読解/聴解)	2	2		
	日本語基礎演習3-3(文字・語彙)	2	2		
	日本語基礎演習3-4(作文/会話)	2	2		
	日本語基礎演習4-1(文法)	8	8		
	日本語基礎演習4-2(読解/聴解)	2	2		
	日本語基礎演習4-3(文字・語彙)	2	2		
	日本語基礎演習4-4(作文/会話)	2	2		
応用科目	日本語応用演習3-1(JLPT指導)	2	2		
	日本語応用演習4-1(JLPT指導)	2	2		
	日本語応用演習3-2(EJU指導)	2		2	
	日本語応用演習4-2(EJU指導)	2		2	
	日本事情3	2	2		
	日本事情4	2	2		
	芸術2	2	2		
	小論文1	2		2	
	小論文2	2		2	
	英語1	2		2	
	英語2	2		2	
	数学1	2		2	
	数学2	2		2	
	理科1	2		2	
	理科2	2		2	
	情報科学	2		2	
	大学で使う日本語	2		2	

別表 2-5

(第10条関係) 留学生別科 2年課程科目

科目区分	授業科目	単位数	必修	選択	備考
基礎科目	日本語基礎演習1-1(文法)	8	8		
	日本語基礎演習1-2(読解/聴解)	2	2		
	日本語基礎演習1-3(文字・語彙)	2	2		
	日本語基礎演習1-4(作文/会話)	2	2		
	日本語基礎演習2-1(文法)	8	8		
	日本語基礎演習2-2(読解/聴解)	2	2		
	日本語基礎演習2-3(文字・語彙)	2	2		
	日本語基礎演習2-4(作文/会話)	2	2		
	日本語基礎演習3-1(文法)	8	8		
	日本語基礎演習3-2(読解/聴解)	2	2		
	日本語基礎演習3-3(文字・語彙)	2	2		
	日本語基礎演習3-4(作文/会話)	2	2		
	日本語基礎演習4-1(文法)	8	8		
	日本語基礎演習4-2(読解/聴解)	2	2		
	日本語基礎演習4-3(文字・語彙)	2	2		
	日本語基礎演習4-4(作文/会話)	2	2		
応用科目	日本語応用演習1-1(JLPT指導)	2	2		
	日本語応用演習2-1(JLPT指導)	2	2		
	日本語応用演習3-1(JLPT指導)	2	2		
	日本語応用演習4-1(JLPT指導)	2	2		
	日本語応用演習1-2(EJU指導)	2		2	
	日本語応用演習2-2(EJU指導)	2		2	
	日本語応用演習3-2(EJU指導)	2		2	
	日本語応用演習4-2(EJU指導)	2		2	
	日本事情1	2	2		
	日本事情2	2	2		
	日本事情3	2	2		
	日本事情4	2	2		
	芸術1	2	2		
	芸術2	2	2		
	小論文 1	2		2	
	小論文 2	2		2	
	英語 1	2		2	
	英語 2	2		2	
	数学1	2		2	
	数学2	2		2	
	理科1	2		2	
	理科2	2		2	
	情報科学	2		2	
	大学で使う日本語	2		2	

別表3-1-1

(第12条関係) 教育の基礎的理解に関する科目等 (中学校免許・高等学校免許)

科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	2		
	教職論	2	2		
	教育制度論	2	2		
	学習心理学	2	2		
	特別支援の理解	2	2		
	教育課程論	2	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育指導論	2	2		※中一種免のみ
	総合的な学習の時間の指導法	2	2		
	特別活動論	2	2		
	教育方法論	2	2		
	生徒・進路指導論	2	2		
	教育相談	2	2		
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	1	1		※事前事後指導
	教育実習Ⅱ	2	2		
	教育実習Ⅲ	2		2	※中一種免必修
	教職実践演習(中・高)	2	2		

別表3-1-2

(第12条関係) 教育の基礎的理解に関する科目等 (小学校免許)

科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	2		
	教職論	2	2		
	教育制度論	2	2		
	発達心理学	2	2		
	特別支援の理解	2	2		
	教育課程論	2	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育指導論	2	2		
	総合的な学習の時間の指導法	2	2		
	特別活動論	2	2		
	教育方法論	2	2		
	生徒・進路指導論	2	2		
	教育相談	2	2		
教育実践に関する科目	教育実習(小学校)	4		4	小・幼の両方の免許を取得する場合は、小学校又は幼稚園のどちらかの教育実習及び教育実習指導を選択必修(小免のみ取得の場合は、小学校での教育実習及び教育実習指導を履修すること)
	教育実習指導(小学校)	1		1	
	教育実習(幼稚園基礎実習・実習指導)	1		1	
	教育実習(幼稚園応用実習)	3		3	
	教育実習指導(幼稚園応用実習)	2		2	
	教職実践演習(小)	2	2		

別表 3-1-3

(第12条関係) 教育の基礎的理解に関する科目等 (幼稚園免許)

科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	2		
	保育者論	2	2		
	教育制度論	2	2		
	発達心理学	2	2		
	特別支援の理解	2	2		
	教育課程論	2	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論	2	2		
	幼児理解	2	2		
	教育相談	2	2		
教育実践に関する科目	教育実習 (幼稚園基礎実習・実習指導)	1		1	幼・小の両方の免許を取得する場合は、幼稚園又は小学校のどちらかの教育実習及び教育実習指導を選択必修 (幼免のみ取得の場合は、幼稚園での教育実習及び教育実習指導を履修すること)
	教育実習 (幼稚園応用実習)	3		3	
	教育実習指導 (幼稚園応用実習)	2		2	
	教育実習 (小学校)	4		4	
	教育実習指導 (小学校)	1		1	
	保育・教職実践演習 (幼)	2	2		

別表 3-2-4

(第12条関係) 小学校免許の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目

科 目		授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	国語(書写を含む)	2		2	選択科目から4単位選択必修
	社会	社会	2		2	
	算数	算数	2		2	
	理科	理科	2		2	
	生活	生活	2	2		
	音楽	音楽	2	2		
	図画工作	図画工作	2	2		
	体育	体育	2		2	
	家庭	家庭	2		2	
	外国語	外国語(英語)	2		2	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		国語科指導法	2	2		
		社会科指導法	2	2		
		算数科指導法	2	2		
		理科指導法	2	2		
		生活科指導法	2	2		
		音楽科指導法	2	2		
		図画工作科指導法	2	2		
		体育科指導法	2	2		
		家庭科指導法	2	2		
		外国語科指導法(英語)	2	2		
大学が独自に設定する科目		子ども文化創造論	2		2	
		子ども学総論	2	2		
		介護等体験	1		1	
		地域活動	2		2	

「大学が独自に設定する科目」の修得しなければならない単位数については、①「大学が独自に設定する科目」、②30単位を超えて修得した「教科又は教科の指導法に関する科目」、③27単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」、①②③を合わせて2単位以上修得する。

別表 3-2-5

(第12条関係) 幼稚園免許の領域及び保育内容の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目

科 目		授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
領域に 関する 専門的 事項	国語	国語(書写を含む)	2		2	
	算数	算数	2		2	
	生活	生活	2	2		
	音楽	音楽	2	2		
	図画工作	図画工作	2	2		
	体育	体育	2		2	
保育内容の指導法(情報機 器及び教材の活用を含 む。)		保育指導法	2	2		
		保育課程論	2	2		
		保育内容総論	2	2		
		保育内容演習 健 康	2	2		
		保育内容演習 人間関係	2	2		
		保育内容演習 環 境	2	2		
		保育内容演習 言 葉	2	2		
		保育内容演習 表 現	2	2		
大学が独自に設定する科目		子ども文化創造論	2		2	
		子ども学総論	2	2		
		保育内容と方法	2		2	
		地域活動	2		2	

「大学が独自に設定する科目」の修得しなければならない単位数については、①「大学が独自に設定する科目」、②16単位を超えて修得した「領域又は保育内容の指導法に関する科目」、③21単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」、①②③を合わせて14単位以上修得する。

別表 3-2-6

(第12条関係)免許教科「音楽」の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目

科 目		授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考	
教科に関する 専門的 事項	ソルフェージュ	ソルフェージュ実習Ⅰ-1	1	1			
		ソルフェージュ実習Ⅰ-2	1	1			
		ソルフェージュ実習Ⅱ-1	1	1			
		ソルフェージュ実習Ⅱ-2	1	1			
	声楽(合唱及び日本の 伝統的な歌唄を含む。)	声楽歌唱法	2	2			
		合唱1-1	1	1			
		合唱1-2	1	1			
		合唱2-1	1		1		
		合唱2-2	1		1		
		邦楽(歌唱)	1	1			
	器楽(合奏及び伴奏並 びに和楽器を含む。)	ピアノ応用実習Ⅰ	1	1			
		ピアノ応用実習Ⅱ(伴奏法を含む)	1	1			
		器楽合奏Ⅰ	1	1			
		器楽合奏Ⅱ	1		1		
		邦楽(和楽器)	1	1			
	指揮法	指揮法演習	2	2			
	音楽理論・作曲法(編 曲法を含む。) ・音楽史(日本の伝統音楽及 び諸民族の音楽を含む。)	和声学Ⅱ-2	2	2			
		作曲法実習Ⅱ	1	1			
		編曲法演習	2	2			
		西洋音楽史概論	2	2			
		民族音楽研究	2	2			
日本音楽研究		2	2				
各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)	音楽科指導法1	2		2	高一種免は2単位 選択必修	中一種免は8単位必修	
	音楽科指導法2	2		2			
	音楽科指導法3	2		2			
	音楽科指導法4	2		2			
大学が独自に設定する科目	20世紀音楽と電子メディア	2		2	※高一種免のみ		
	道徳教育指導論	2		2			

「大学が独自に設定する科目」の修得しなければならない単位数については、①「大学が独自に設定する科目」、②中学は28単位、高校は24単位を超えて修得した「教科又は教科の指導法に関する科目」、③中学は27単位、高校は23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」、①②③を合わせて中学4単位、高校12単位以上修得する。

別表 3-2-7

(第12条関係)免許教科「美術」の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目

科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考		
教科に関する専門的事項	絵画(映像メディア表現を含む。)	映像とメディア(絵画)	1	1		①または②を選択必修	
		絵画	2	2			
	彫刻	彫刻	2		2		① ②
		美術実技 I-5 (彫塑/マケット)	2		2		
		立体造形	2		2		
		彫刻論	2	2			
	デザイン(映像メディア表現を含む。)	染織技法材料	2	2			
		映像とメディア(デザイン)	1	1			
		デザイン基礎演習A	2	2			
	デザイン理論	デザイン理論	2	2			
		工芸	工芸教育演習	4	4		
	美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	工芸理論	2	2			※中一種免のみ
		日本美術史	2	2			
		東洋美術史	2	2			
		西洋美術史	2	2			
		近代美術史	2	2			
		近現代芸術論	2	2			
色彩学		2	2				
芸術学	2	2					
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	美術科指導法 1	2	2				
	美術科指導法 2	2	2				
	美術科・工芸科指導法 1	2	2		※中一種免のみ		
	美術科・工芸科指導法 2	2	2		※中一種免のみ		
大学が独自に設定する科目	現代デザイン論	2		2			
	デザイン史	2		2			
	道徳教育指導論	2		2	※高一種免のみ		

「大学が独自に設定する科目」の修得しなければならない単位数については、①「大学が独自に設定する科目」、②中学は28単位、高校は24単位を超えて修得した「教科又は教科の指導法に関する科目」、③中学は27単位、高校は23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」、①②③を合わせて中学4単位、高校12単位以上修得する。

別表 3-2-8

(第12条関係)免許教科「工芸」の教科及び教科の指導法に関する科目・大学が独自に設定する科目

科 目		授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
教科に関する 専門的 事項	図法・製図	図学 1	2	2		
		図学 2	2	2		
	デザイン	染織技法材料	2	2		
	工芸制作(プロダクト制作を含む。)	工芸教育演習	4	4		
		鑄造技法	2	2		
		美術実技 I-6 (陶芸)	2	2		
		美術実技 I-7 (ガラス)	2	2		
	工芸理論・デザイン理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	デザイン理論	2	2		
		デザイン史	2		2	
		工芸理論	2	2		
		美術研修	2		2	
		日本美術史	2	2		
		東洋美術史	2	2		
		西洋美術史	2	2		
	近代美術史	2	2			
	版画史	2		2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	美術科・工芸科指導法 1	2	2			
	美術科・工芸科指導法 2	2	2			
大学が独自に設定する科目	道徳教育指導論	2		2		

「大学が独自に設定する科目」の修得しなければならない単位数については、①「大学が独自に設定する科目」、②24単位を超えて修得した「教科又は教科の指導法に関する科目」、③23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」、①②③を合わせて12単位以上修得する。

別表 3-3

(第12条関係) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定される科目

免許法施行規則に定める科目 及び単位数		左記に対応する開設授業科目				備 考
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	
情報機器の操作	2	情報メディア演習	2	2		
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2		
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	1		
		コミュニケーション英語1	1	1		
体育	2	健康と体力	2	2		
		健康スポーツ	2	2		

別表 3-4-1

(第12条関係) 保育士資格に関する必修科目

系 列	科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
保育の本質・目的に 関する科目	保育原理	保育原理	2	2		5 7 単位必修
	教育原理	教育原論	2	2		
	子ども家庭福祉	子ども家庭福祉	2	2		
	社会福祉	社会福祉	2	2		
	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	2	2		
	社会的養護 I	社会的養護 I	2	2		
	保育者論	保育者論	2	2		
保育の対象の理解に 関する科目	保育の心理学	保育の心理学	2	2		
	子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	2	2		
	子どもの理解と援助	子どもの理解と援助	1	1		
	子どもの保健	子どもの保健	2	2		
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	2	2		
保育の内容・方法に 関する科目	保育の計画と評価	保育課程論	2	2		
	保育内容総論	保育内容総論	2	2		
	保育内容演習	保育内容演習 健康		2	2	
		保育内容演習 人間関係		2	2	
		保育内容演習 環境		2	2	
		保育内容演習 言葉		2	2	
		保育内容演習 表現		2	2	
	保育内容の理解と方法	保育指導法		2	2	
		保育内容と方法		2	2	
	乳児保育 I	乳児保育 I	2	2		
	乳児保育 II	乳児保育 II	1	1		
	子どもの健康と安全	子どもの健康と安全	1	1		
	障害児保育	障害児保育	2	2		
	社会的養護 II	社会的養護 II	1	1		
	子育て支援	子育て支援	1	1		
保育実習	保育実習 I	保育所実習 I	2	2		
		施設実習 I	2	2		
	保育実習指導 I	保育所実習指導 1	1	1		
		施設実習指導 1	1	1		
総合演習	保育実践演習	保育教職実践演習 (幼)	2	2		

別表 3-4-2

(第12条関係) 保育士資格に関する選択科目

系列	科目	授業科目	単位数	必修 単位	選択 単位	備考
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	子ども学総論	2	2		6 単位以上必修
		子ども文化創造論	2		2	
保育の対象の理解に関する科目		乳幼児心理学	2		2	
		生涯発達心理学	2		2	
保育の内容・方法に関する科目		幼児理解	2		2	
		ピアノ実習 1	1		1	
		ピアノ実習 2	1		1	
		声楽表現	1		1	
		器楽表現	1		1	
		子どもの造形	1		1	
		子どもの絵画	1		1	
		子どもの運動あそび	1		1	
保育実習	保育実習Ⅱ	保育所実習Ⅱ	2		2	3 単位以上必修
	保育実習指導Ⅱ	保育所実習指指導 2	1		1	
	保育実習Ⅲ	施設実習Ⅱ	2		2	
	保育実習指導Ⅲ	施設実習指導 2	1		1	

別表 3-4-3

(第12条関係) 保育士資格に関する大学独自科目

系列	授業科目	単位数	必修 単位	選択 単位	備考
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目	子どものうたとピアノ1	1		1	
	子どものうたとピアノ2	1		1	
	子どものデザイン	1		1	
	子どもの身体表現	1		1	

別表4-1

(第16条関係) 学芸員に関する科目

法令上の科目		授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	選択 必修 単位	備 考
科 目 名	必 要 単位数						
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	2		2	
博物館概論	2	博物館概論	2	2			
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2			
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2			
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2			
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2			
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2			
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2			
博物館実習	3	博物館実習Ⅰ	2	2			
		博物館実習Ⅱ	1	1			
任意科目	—	現代美術演習	2		2		
		芸術計画演習	2		2		
		考古学演習	2		2		

別表4-2

(第16条関係) レクリエーションインストラクター資格に関する科目

科 目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
文化・芸術・スポーツ	レクリエーション論	2	2		5単位必修
	レクリエーション実技	2	2		
	レクリエーション現場実習	1	1		

別表4-3

(第16条関係) 社会福祉主事資格に関する科目

大学等における厚生労働大臣の 指定する社会福祉に関する科目	授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
社会福祉概論	社会福祉	2		2	3科目以上必修
	社会福祉概論	2		2	
社会福祉調査論	社会調査	2		2	
児童福祉論	子ども家庭福祉	2		2	
保育理論	保育原理	2		2	
民法	民法	2		2	
行政法	行政法	2		2	
経済学	経済学	2		2	
心理学	心理学	2		2	
社会学	社会学	2		2	
教育	教育原論	2		2	
倫理学	倫理学	2		2	
医学一般	医学概論	2		2	
介護概論	介護概論	2		2	

別表4-4

(第16条関係) 建築士試験指定科目に関する科目

指定科目の分類 (単位数)		授 業 科 目	単位数	必修 単位	選択 単位	備 考
二級・木造	必要 単位数					
建築設計製図	5単位以上	デザイン実技Ⅲ-1	2	2		
		デザイン実技Ⅲ-4	2	2		
		デザイン実技Ⅳ	4	4		
建築計画、 建築環境工 学又は建築設備	7単位以上	建築史	2	2		
		建築論	2	2		
		インテリア設計論	2	2		
		環境設計論	2	2		
構造力学、 建築一般構 造又は建築材料	6単位以上	建築構造学	2	2		
		建築企画論2	2	2		
		材料学	2	2		
建築生産	1単位以上	建築企画論1-b(生産)	1	1		
建築法規	1単位以上	建築企画論1-a(法規)	1	1		
その他	適宜	図学1	2		2	二級・木造建築士試験の実務経験を 0年に短縮するためには合計40単位、 1年に短縮するためには合計30単位、 2年に短縮するためには合計20単位 必要
		図学2	2		2	
		照明演習	2		2	
		デザイン演習Ⅰ	2		2	
		デザイン実技Ⅱ-2	2		2	
		デザイン実技Ⅱ-3	2		2	
		デザイン実技Ⅱ-4	2		2	
		デザイン演習Ⅱ-2	2		2	

別表 5

(第40条関係) 授業料・教育充実費・実習費及び入学金の金額

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄	第5欄	第6欄	第7欄	
学部学科	領域	コース	授業料(年額)	教育充実費(年額)	実習費(年額)	入学金(年額)	
芸術学部 芸術学科	音楽領域	声楽コース、鍵盤楽器(ピアノ・電子オルガン)コース、弦管打コース、サウンドメディア・コンポジションコース、ミュージカルコース、ポップス・ロック&パフォーマンスコース、音楽総合コース及びワールドミュージック・カルチャーコース	1,325,000円	400,000円	140,000円	200,000円	
		ミュージックエンターテイメント・ディレクションコース、声優アクティングコース、ダンスパフォーマンスコース	800,000円	400,000円	140,000円	200,000円	
		音楽ケアデザインコース	1,225,000円	400,000円	140,000円	200,000円	
		ウインドアカデミーコース	1,060,000円	400,000円	140,000円	200,000円	
	舞台芸術領域	すべてのコース	850,000円	550,000円	140,000円	200,000円	
	美術領域	すべてのコース	850,000円	550,000円	140,000円	200,000円	
	デザイン領域	先端メディア表現コース、ヴィジュアルデザインコース、イラストレーションコース、メディアコミュニケーションデザインコース、ライフスタイルデザインコース、インダストリアル&セラミックデザインコース、カーデザインコース、スペースデザインコース、メタル&ジュエリーデザインコース、テキスタイルデザインコース	850,000円	550,000円	140,000円	200,000円	
		文芸ライティングコース	700,000円	500,000円	100,000円	200,000円	
		芸術教養領域	すべてのコース	700,000円	500,000円	100,000円	200,000円
	人間発達学部 子ども発達学科			600,000円	500,000円	110,000円	200,000円

<注記> 1. 第3年次編入生は、在籍する年次の納入金と同額とする。

別表 6

(第27条関係) 入学検定料の金額

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄	第5欄
学部 学科	領域	入学検定料	3年編入学 入学検定料	大学入学共通テスト 利用入試の場合
芸術学部 芸術学科	音楽領域	15,000円	15,000円	3,000円
	舞台芸術領域	15,000円	15,000円	3,000円
	美術領域	15,000円	15,000円	3,000円
	デザイン領域	15,000円	15,000円	3,000円
	芸術教養領域	15,000円	15,000円	3,000円
人間発達学部 子ども発達学科		15,000円	15,000円	3,000円

別表 7

(第43条関係) 在籍料

第1欄	第2欄
学部 学科	在籍料(年間)
芸術学部 芸術学科	40,000円
人間発達学部 子ども発達学科	40,000円

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	1
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	1
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
	（ア）教育課程	2
	（イ）教育方法および履修指導方法	3
	（ウ）教員組織	4
	（エ）大学全体の施設設備	4
エ	2以上の校地において教育研究を行う具体的計画	5

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和 3 年度入学生から、名古屋芸術大学学則第 5 条に定める、芸術学部芸術学科、人間発達学部子ども発達学科の入学定員及び収容定員を以下のとおり変更する。

学 部	学 科	現 行			変 更 度			差	
		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
芸術学部	芸術学科	445 人	35 人	1850 人	485 人	35 人	2010 人	40 人	160 人
人間発達 学部	子ども発達 学科	140 人	10 人	580 人	100 人	10 人	420 人	▲40 人	▲160 人
合 計		585 人	45 人	2430 人	585 人	45 人	2430 人	0 人	0 人

イ 学則変更（収容定員変更）の 必要性

名古屋芸術大学（以下「本学」という。）は、建学の精神である「至誠奉仕」のもと、「人間教育を原点として芸術の探求を目指し、芸術文化の創造発展に寄与することができる人材の育成」をその教育理念として掲げ、昭和 4 5 年 4 月、音楽学部及び美術学部を擁する総合芸術大学として、愛知県西春日井郡（現在の北名古屋市）において開学した。

その後、平成 7 年に大学院美術研究科を、平成 9 年に大学院音楽研究科を、平成 1 4 年にデザイン学部デザイン学科を、平成 1 6 年に大学院デザイン研究科を、平成 1 9 年に人間発達学部子ども発達学科及び平成 2 3 年に大学院人間発達学研究科をそれぞれ開設し、平成 29 年には、音楽学部、美術学部、デザイン学部を統合した芸術学部芸術学科を設置して、優れた人材の輩出という社会的使命に応えるべく教育活動を行ってきた。

音楽、美術及びデザインという 3 つの異なる芸術分野に関する研究領域をひとつの学部統合するということは、我が国の芸術系大学においては、前例のないケースであるが、複数の専門領域をボーダレスに学ぶことができるという新しい考え方が社会に浸透し、受験生に受け入れられた結果、芸術学部芸術学科の志願者数は、平成 29 年度（開設年度）504 人（志願倍率 1.13 倍）、30 年度 605 人（志願倍率 1.36 倍）、31 年度 811 人（志願倍率 1.82 倍）、令和 2 年度 901 人（志願倍率 2.02 倍）と堅調に推移している。

入学定員充足率については、平成 29 年度 0.81 倍、平成 30 年度 1.00 倍、平成 31 年度 1.14 倍、令和 2 年度 1.19 倍となり、平成 30 年度以降、1.00 倍を超える結果となっている。このように連続して定員充足率が 1.0 0 倍を超えることは好ましくないことも認識しており、大学の社会的使命として、受験生からの受け入れ要請に応えつつ教育の質を保証していくためには入学定員を遵守したうえで、質の高い人材を数多く輩出していくことが重要である。

一方、入学定員を減ずる人間発達学部子ども発達学科については、入学定員充足率が平成29年度0.55倍、平成30年度0.44倍、平成31年度0.46倍、令和2年度0.34倍となっている。このようなことを総合的に考慮して、人間発達学部子ども発達学科の入学定員40名を芸術学部芸術学科の入学定員に振り替え、収容定員の変更を行うこととした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う 教育課程等の変更内容

（ア）教育課程

芸術学部芸術学科は、音楽領域、美術領域、デザイン領域、芸術教養領域の4領域で構成されている。音楽領域の履修コース「サウンドメディア」「エンターテインメントディレクション&アートマネジメント」には、舞台における音響、照明、演出、プロデュースについての学びがあり、美術領域の履修コース「アートクリエイターコース」、デザイン領域の履修コース「イラストレーションコース」「メディアデザインコース」「テキスタイルデザインコース」「文芸・ライティングコース」には、舞台に必要な物作り、舞台美術、舞台衣装、シナリオライティング、演出についての学びがあり、舞台芸術について、総合的に学ぶ環境が整っている。

芸術学部芸術学科は、領域を横断するボーダレスな学びが可能である。例えば、音楽領域に所属する学生がデザイン領域の科目を履修し衣装について学ぶことが可能であるが、舞台芸術について総合的に学ぶことができることをより明確にするため、各領域の舞台芸術に関する科目及び新規に開設する科目を加えて体系的な学びを分かりやすく表現した舞台芸術領域を設定することとした。

なお、芸術学部の目的、教育理念と目標、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーは以下のとおりであり、変更しない。

芸術学部の目的

芸術における専門的技能と幅広い知識を修得し、その構想力と実践力をもって、芸術文化の創造発展に寄与する人を育成する。

芸術学部の教育理念と目標

芸術に関する専門の学術技芸を教授し、歴史的・社会的視点にたった芸術教育を施すことにより、地域・社会に貢献しうる人格の形成を目標とする。

芸術学部カリキュラムポリシー

芸術文化の発展と地域・社会に貢献するため、各領域の専門教育を充実させ、広く学問を学ぶことができる領域横断的カリキュラムを編成している。

芸術学部ディプロマポリシー

専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。

以上が、学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容であり、既存の授業科目に新たに開設する授業科目を加えて、舞台芸術領域を新たに設定するが、既存の音楽領域、美術領域、デザイン領域、芸術教養領域の学生も新たに設定する舞台芸術領域の授業科目を履修し学ぶことが可能であるため、収容定員変更後も同等以上の内容が担保されると言える。

（イ）教育方法及び履修指導方法

（1）教育方法

教育方法については、1年次において目的意識をしっかりと持たせることが重要であるため、個々の学生に目的を明確化させた上で、それぞれの学生がその目的や興味に応じてさまざまな分野に関する専門的な授業科目を横断的に学修することができる教育環境を整備している。各学生が自らの卒業後の進路について考えるためのキャリア教育科目を1年次から4年次まで配置することで、希望する進路が実現できるように授業科目の履修を含めて相談、指導を行っている。充実した教育環境の整備と、きめ細かいキャリア支援が相互作用することで、学生のニーズに答えている。

本学は、芸術系大学であることから、実技系の授業科目を中心に少人数教育を長年にわたって実施してきた。これは当然今後も継承していくこととなるが、「ただ少人数であれば良い。」ということではなく、教育の質が担保されなければならない。このため、芸術学部においては、ティーチングアシスタント制度を導入し、比較的学生と近い年齢ティーチングアシスタントが、学生の履修相談に対応している。また、教育方法という趣旨からはやや逸脱するが、学生との面談の実施頻度を増やし、ポートフォリオを用いての学生の学修の成果を個別に確認している。

（2）履修指導方法

入学時にガイダンスを実施し、「学生便覧」と「履修ガイド」を配布、説明することで、スムーズに大学生活をスタートさせることができるようにしている。

履修指導に関する教員体制としては、各コースに1名から2名の専任教員を置き、学生に対する履修指導を的確に管理することができる体制を整えている。これは、音楽、美術、デザイン、芸術教養の4つの領域に舞台芸術領域を加えた5つの領域を融合させた芸術学部の教育のスタートに当たって「領域横断的に学びたいと思うがどうしたら

よいか。」「どのような割合で履修すればよいか。」「卒業後の志望に対してどのように科目をとったらよいか。」といった学生の履修に関する疑問に対して、適切な助言及び指導を行えるよう、教務・学生支援課が中心となり、さらには各領域から選出された教員とこれらの事務組織とが一体となって対応する。また指導する側にも、領域横断的な学修に対する理解が必要不可欠であるため教職員間において、そのメリットや学修の方法等についての情報を共有し、すべての学生が横断的に学ぶメリットを最大限に活かすことができるよう、履修の方法についての的確な助言及び指導をすることができる体制を整備している。

以上が、芸術学部芸術学科の教育方法及び履修指導方法である。

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う教育方法及び履修指導方法の変更は行わないが、舞台芸術領域に関連する専任教員 4 名を採用する予定であるため、収容定員変更後も同等以上の内容が担保されるといえる。

(ウ) 教員組織

平成 29 年 4 月の芸術学部芸術学科の開設年次における教員数は 73 名、完成年度である令和 2 年度の教員数は 86 名（教授 40 名、准教授 30 名、講師 16 名）である。収容定員変更後の教員数は舞台芸術関係の教員 4 名（教授 1 名、准教授 2 名、講師 1 名）を加えて 88 名（教授 37 名、准教授 34 名、講師 17 名）の教員組織を予定している。大学設置基準における収容定員変更後の必要最低教員数は 58 名であり、芸術学部芸術学科の教員組織は、学生が 4 年間を通じて学ぶことができる体制を整えている。

また、専任教員の年齢構成については、芸術学部芸術学科開設年次においては、平均年齢 58.9 歳で比較的高齢であったが、令和 3 年度においては、53.4 歳となる予定である。今後も専門性、年齢などのバランスに配慮した教員組織の編成に努めていく。

(エ) 大学全体の施設・設備

今回の収容定員の変更については、人間発達学部子ども発達学科の入学定員 40 人を芸術学部芸術学科に振り替えるため、大学全体の収容定員の増減はない。また、あらたの設定する舞台芸術領域については、既存の領域で使用している「ナレーションスタジオ」「エンターテインメントディレクション演習室」「ミュージカルスタジオ」「ホール」「木工房」等の施設を使用するため、大規模な施設・設備の整備は行わない。

大学全体としての施設・設備については、少人数教育、アクティブラーニングへの対応として、令和 2 年度に東キャンパス 1 号館に 2 教室、6 号館に 1 教室、西キャンパス A 棟 2 階に 1 教室にアクティブラーニング教室を整備した。また、東キャンパス 6 号館 1 階を改築し、学生の作品を展示するギャラリーを整備した。

これらの整備を踏まえ、今回の学則変更（収容定員変更）には十分対応できる環境が

あるが、今後も教育環境のより一層の充実のため、計画的な施設整備を行うこととしている。

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学は東キャンパス（収容定員 1,310 人）、西キャンパス（収容定員 1,120 人）の 2 キャンパスで構成されており、最寄り駅の「徳重・名古屋芸大駅」を起点として東西に東キャンパスが約 600m（徒歩 10 分）、「徳重・名古屋芸大駅」から西キャンパスが約 1000m（徒歩 15 分）の位置にある。キャンパス間の移動については、東西キャンパスをそれぞれ結ぶ無料シャトルバス（10 分）を、授業期間中を中心に年間約 150 日、1 日当たり 31 便運行し学生、教員のキャンパス間移動の便宜を図っている。施設設備については、両キャンパスそれぞれに図書館、体育館、ギャラリーが整備されており、必要な教育体制を備えている。授業時間割については、原則として午前中に講義、演習を配置、午後の実技科目を配置する等で東西キャンパス間の学生の履修に配慮している。また、東キャンパスでの授業をインターネット回線を利用して西キャンパスで受講することも可能であり、その場合は、西キャンパスの教室に専任助手を配置して、出席確認、学生からの質問への対応を行っている。

専任教員の配置については、主として東キャンパスの授業を担当する教員 36 人、主として西キャンパスで授業を担当する教員 37 人、両方のキャンパスで授業を担当する教員 13 人としており、教育に必要な体制を整えている。

教育課程等の概要															
(芸術学部芸術学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学総合 共通科目	一般科目群	大学生になる	1前	1				○			3	3			兼9
		日本語表現	1後	1				○			1	3			兼11
		英語1	1前	1				○				2			兼3
		英語2	1後	1				○				2			兼3
		英語3	1前・後		1			○				1			
		コミュニケーション英語1	1前	1				○			1				兼4
		コミュニケーション英語2	1後	1				○			1				兼4
		コミュニケーション英語3	1前・後		1			○				1			
		フランス語Ⅰ	1前・後		1			○				1			
		フランス語Ⅱ	1前・後		1			○				1			
		ドイツ語Ⅰ	1前・後		1			○			1				
		ドイツ語Ⅱ	1後		1			○			1				
		イタリア語Ⅰ	1前・後		1			○							兼1
		イタリア語Ⅱ	1前・後		1			○							兼1
		中国語Ⅰ	1前		1			○							兼1
		中国語Ⅱ	1後		1			○							兼1
		情報メディア演習	1前・後	2				○					1		兼3
		数理科学	1前・後		2			○							兼1
		基礎数学	1後		2			○				1			兼1 オムニバス
		AIと数理	2前		2			○							兼1
		生物学	1前・後		2			○				1			
		美学	1後		2			○							兼1
		倫理学	1前・後		2			○							兼2
		歴史学	1後		2			○							兼1
		社会学	1前・後		2			○							兼1
		日本国憲法	1前・後		2			○							兼2
		心理学	1前・後		2			○							兼1
		人類学	1前・後		2			○				1			
		考古学	2後		2			○							兼1
		考古学演習	2後		2				○						兼1
		健康と体力	1前・後		2			○							兼1
		健康スポーツ	1前・後		2				○						兼4
		スタディ・アブロード	1前・後		2			○				1			
		ボランティア	1前		2				○						兼1
		インターンシップ	2後		2				○						兼1
		経済学	1前・後		2			○							兼1
		民法	3前・後		2			○							兼1
		労務論	3前・後		2			○							兼1
		簿記	3前・後		2			○							兼1
		行政法	2前・後		2			○							兼1
	組織論	2前・後		2			○							兼1	
	起業論	2前・後		2			○							兼1	
	キャリア1	1前・後	2					○						兼2	
	キャリア2	2前・後		2				○		1				兼2	
	キャリア3	3前		2				○						兼1	
	キャリア4	3前		2				○		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学総合共通科目	一般 起業演習	3前・後		2				○								兼1	
	横断科目群 音楽の世界	1前		2			○			7	4	1				兼1 オムニバス	
	西洋音楽史各論	1後		2			○									兼1	
	ポップス・ジャズミュージックシーン	2前		2			○									兼1	
	舞台芸術概論	1前・後		2			○				1	1					
	劇場史	1前		2			○				1						
	アートマーケティング	1後		2			○					1					
	絵画基礎	1前		2					○								兼1
	デッサン	1後		2					○		1						兼2 共同
	書道アート	1前		2					○								兼1
	認知科学	1前		2			○										兼1
	アニメーション特論	1前		2			○										兼1
	ソーシャルデザイン論	2後		2			○				1						兼1
	現代芸術と文化	1前		2			○			1		1					共同
	芸術と科学	2前		2			○										兼1
	文化とマーケティング	2後		2			○										兼1
	児童文学論	1後		2			○										兼2
	教育の思想と歴史	1前		2			○										兼1
	子どもの発達と芸術	1後		2			○										兼3 オムニバス
	アートプロジェクト1	1後		2					○			1					兼2 共同
アートプロジェクト2	1前・後		2					○			1						
アートプロジェクト3	1前・後		2					○		1	2					共同	
アートプロジェクト4	1後		2					○		1							
	小計 (69科目)	—	10	112	0			—		9	13	4	0	0	兼62	兼62	
専門科目	専門共通 芸術鑑賞	2通		2				○		1							
	エンターテインメントディレクション特殊研究	1前		2			○				1					兼1	
	芸術文化論	2前		2			○									兼1	
	シナリオ研究	2後		2			○									兼1	
	副科実技A-1	1前		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技A-2	1後		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技B-1	2前		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技B-2	2後		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技C-1	3前		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技C-2	3後		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技D-1	4前		1					○	10	2	2				兼65	
	副科実技D-2	4後		1					○	10	2	2				兼65	
	法令 (安全管理)	1後		2				○								兼1	
	著作権	1後		2				○								兼1	
	アウトリーチ論	1前		2				○								兼1	
	ストーリーミングデザイン	1後		2				○								兼1	
	舞台芸術作品研究 I	1前		2				○			1	1					
	舞台芸術作品研究 II-1	1後		2				○									
	舞台芸術作品研究 II-2	2前		2				○		1							
	舞台芸術作品研究 II-3	2後		2				○		1							
芸術学	1後		2				○									兼1	
近現代芸術論	1後		2				○									兼1	
彫刻論	1後		2				○									兼1	
日本美術史	1前・後		2				○									兼1	
東洋美術史	1前・後		2				○									兼1	
西洋美術史	1前・後		2				○									兼1	
近代美術史	1前		2				○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 共通	アートと宗教	1前		2		○			1						
	美術研修	1後		2			○		1						
	陶芸技法1	1前		2			○							兼1	
	陶芸技法2	1後		2			○							兼1	
	ガラス技法1	1前		2			○							兼1	
	ガラス技法2	1後		2			○							兼1	
	絵画	1前・後		2					○					兼1	
	彫刻	1前		2					○					兼2	
	アートと文化1	2前		2		○				1					
	アートと文化2	2後		2		○				1					
	芸術療法	2後		2		○								兼1	
	美術解剖学	2後		2		○								兼1	
	近現代彫刻論	2前		2		○								兼1	
	版画技法1	2前		2			○							兼1	
	版画技法2	2後		2			○							兼1	
	彫刻技法1	2前		2			○							兼1	
	彫刻技法2	2後		2			○			1					
	鋳造技法	2後		2			○							兼1	
	クリエイター演習1 (現代文化)	2後		2			○				1				
	クリエイター演習2 (伝統工芸)	2後		2			○				1				
	工芸教育演習	2前・後		4			○							兼1	
	現代美術演習	3前		2			○							兼1	
	芸術計画演習	3後		2			○				1				
	デザイン史	1前・後		2			○			1					
	デザインと文化1	1後		2			○				2				共同
	図学1	1前		2			○							兼1	
	図学2	1後		2			○							兼1	
	建築史	1後		2			○							兼1	
	工芸史	1前		2			○							兼1	
	色彩学	1前・後		2			○							兼1	
	エコロジーとバリアフリー	1後		2			○							兼1	
	立体造形	1前・後		2					○					兼1	
	デザインと文化2	2前		2			○			1	1				共同
	現代デザイン論	2前		2			○							兼1	
	写真論	2前		2			○							兼1	
	映像論	2後		2			○				1				
	建築論	2後		2			○				1				
	工芸理論	2後		2			○							兼1	
	マンガ原作	2前		2			○							兼1	
	写真演習	2前・後		2				○		1				兼5	
映像とメディア (絵画)	2前		1				○								
映像とメディア (デザイン)	2後		1				○			1					
人類生存のための教養	1前		2			○				1	1				
社会調査	1前		2			○							兼1		
海外研修	1前		2					○		1				隔年	
地域文化論	2後		2			○							兼1		
文化政策	2前		2			○							兼1		
メディア論	2後		2			○				1					
論理的思考	2後		2			○							兼1		
サブカルチャー論	2後		2			○							兼1		
英語リテラシー1	2前		2					○		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	英語リテラシー2	2後		2			○		1						
	音楽芸術基礎研究	1前・後		2		○			10	4	3			兼2	
	西洋音楽史概論	1前・後		2		○								兼1	
	音楽ケアデザイン各論1	1後		2		○				1				兼1	
	音楽ケアデザイン各論2	1前		2		○				1					
	音楽ケアデザイン各論3	1前		2		○				1					
	臨床医学1	1後		2		○				1					
	臨床医学2	1後		2		○				1					
	邦楽（歌唱）	1前・後		1		○								兼1	
	邦楽（和楽器）	1前・後		1		○								兼1	
	和声学Ⅰ-1	1前		2			○		1	1	1			兼5	
	和声学Ⅰ-2	1後		2			○		2		1			兼5	
	音楽ケアデザインワークショップ1	1通		4			○			1					
	音楽ケアデザインワークショップ2	1通		4			○			1					
	音楽ケアデザインワークショップ3	1通		4			○			1					
	録音デザイン研究1	1前		2			○		1	1					
	録音デザイン研究2	1後		2			○		1	1					
	音響デザイン研究1	1前		2			○							兼1	
	音響デザイン研究2	1後		2			○							兼1	
	サウンドメディア基礎演習	1通		4			○		1					兼4	
	ノートルディングⅠ	1前		2			○			2					
	ノートルディングⅡ	1後		2			○			2					
	ミュージックエンターテインメントⅠ	1通		8			○		2		1			兼3	
	ソルフェージュ実習Ⅰ-1	1前		1				○		1				兼7	
	ソルフェージュ実習Ⅰ-2	1後		1				○		1				兼7	
	ピアノⅠ-1	1前		1				○	2	1	2			兼11	
	ピアノⅠ-2	1後		1				○	2	1	2			兼11	
	声楽実習Ⅰ-1	1前		1				○	2					兼8	
	声楽実習Ⅰ-2	1後		1				○	2					兼8	
	合唱1-1	1前		1				○						兼1	
	合唱1-2	1後		1				○						兼1	
	室内楽Ⅰ-1	1前		1				○	5	1				兼4 共同	
	室内楽Ⅰ-2	1後		1				○	5	1				兼4 共同	
	マーチング実習1	1前		1				○						兼1	
	マーチング実習2	1前		1				○						兼1	
	管楽器リペア実習1	1後		1				○						兼1	
	合奏Ⅰ-1	1前		1				○	4	1				兼3 共同	
	合奏Ⅰ-2	1後		1				○	4	1				兼3 共同	
	セッションⅠ-1	1前		1				○	1		1			兼4 共同	
	セッションⅠ-2	1後		1				○	1		1			兼4 共同	
	演奏実習Ⅰ-1	1前		1				○	10	2	2			兼67 共同	
	演奏実習Ⅰ-2	1後		1				○	10	2	2			兼67 共同	
	舞踊表現・バレエ1	1前		1				○						兼1	
	舞踊表現・バレエ2	1後		1				○						兼1	
	ダンス実技Ⅰ-1	1前		1				○						兼3	
	ダンス実技Ⅰ-2	1後		1				○						兼3	
	舞台パフォーマンスⅠ-1	1前		1				○						兼1	
舞台パフォーマンスⅠ-2	1後		1				○						兼1		
音楽表現実技Ⅰ	1通		8				○	12	4	4			兼74 共同		
総合音楽実技1	1通		8				○	10	2	2			兼65		
民族音楽研究	2前・後		2			○							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	領域共通	2前・後		2		○									兼1
	音楽と教育	2前		2		○									兼1
	社会福祉概論	2前		2		○									兼1
	障害児教育	2後		2		○									兼1
	音楽心理学	2後		2		○				1					兼1
	発達心理学	2後		2		○									兼1
	臨床心理1	2前		2		○									兼1
	臨床心理2	2後		2		○									兼1
	ショービジネス研究	2後		2		○				1					
	和声学Ⅱ-1	2前		2			○			1	1	1			兼5
	和声学Ⅱ-2	2後		2			○			1	1	1			兼5
	音楽情報処理入門	2前・後		2			○								兼3
	スコアリーディング	2後		2			○								兼1
	スコアリーディング演習	2前		2			○			1					
	音楽制作基礎演習1	2前		2			○			1		1			兼1
	音楽制作基礎演習2	2後		2			○			1		1			兼1
	ポップス・ロック論1	2前		2			○			1					
	ポップス・ロック論2	2後		2			○			1					
	ライブプロデュース演習1	2後		2			○			1					
	サウンドメディア応用演習Ⅰ	2通		4			○			1		1			兼2
	ミュージックエンターテインメントⅡ	2通		8			○			1	1	1			兼4
	ソルフェージュ実習Ⅱ-1	2前		1				○			1				兼5
	ソルフェージュ実習Ⅱ-2	2後		1				○			1				兼5
	ピアノⅡ-1	2前		1				○		2	1	2			兼11
	ピアノⅡ-2	2後		1				○		2	1	2			兼11
	初見奏法1	2前		1				○			1				
	初見奏法2	2後		1				○			1				
	伴奏法Ⅰ-1	2前		1				○							兼1
	伴奏法Ⅰ-2	2後		1				○							兼1
	ピアノ重奏法1	2前		1				○			1				
	ピアノ重奏法2	2後		1				○			1				
	声楽実習Ⅱ-1	2前		1				○		2					兼8
	声楽実習Ⅱ-2	2後		1				○		2					兼8
	合唱2-1	2前		1				○		1					
	合唱2-2	2後		1				○		1					
	器楽合奏Ⅰ	2前		1				○		1					
	器楽合奏Ⅱ	2後		1				○		1					
	器楽基礎研究1	2前		1				○		1					兼3
	器楽基礎研究2	2後		1				○		1					兼3
	室内楽Ⅱ-1	2前		1				○		4	1	1			兼4 共同
室内楽Ⅱ-2	2後		1				○		4	1	1			兼4 共同	
管楽器リペア実習2	2後		1				○							兼1 兼1	
合奏Ⅱ-1	2前		1				○		4	1				兼3 共同	
合奏Ⅱ-2	2後		1				○		4	1				兼3 共同	
セッションⅡ-1	2前		1				○		1		1			兼4 共同	
セッションⅡ-2	2後		1				○		1		1			兼4 共同	
演奏実習Ⅱ-1	2前		1				○		10	2	2			兼67 共同	
演奏実習Ⅱ-2	2後		1				○		10	2	2			兼67 共同	
録音デザイン実習Ⅰ-1	2前		1				○			1					
録音デザイン実習Ⅰ-2	2後		1				○			1					
音響デザイン実習Ⅰ-1	2前		1				○							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 領域共通	音響デザイン実習 I-2	2後		1				○							兼2
	デジタルアート1	2前・後		1				○							兼2
	ステージマネジメント I-1	2前		1				○	1						オムニバス
	ステージマネジメント I-2	2後		1				○	1						
	アクティング I-1	2前		1				○							兼2
	アクティング I-2	2後		1				○							兼2
	ダンス実技 II-1	2前		1				○		1					兼1
	ダンス実技 II-2	2後		1				○		1					兼1
	舞台パフォーマンス II-1	2前		1				○							兼1
	舞台パフォーマンス II-2	2後		1				○							兼1
	音楽表現実技 II	2通		8				○		11	4	2			兼71
	総合音楽実技2	2通		8				○		10	2	2			兼66
	アートマネジメント概論	1前		2			○			1					
	エンタテインメントコンテンツ論	1後		2			○					1			
	舞台芸術キャリア研究1	1前		2			○			1					
	舞台芸術キャリア研究2	1後		2			○			1					
	舞台芸術演習 I-1	1前		2				○							兼1
	舞台芸術演習 I-2	1前		2				○							兼1
	舞台芸術演習 I-3	1前		2				○							兼1
	舞台芸術演習 I-4	1前		2				○				1			
	舞台芸術演習 I-5	1後		2				○							兼1
	舞台芸術演習 I-6	1後		2				○							兼1
	舞台芸術演習 I-7	1後		2				○							兼1
	舞台芸術演習 I-8	1後		2				○		1					
	図面演習 I	1後		2				○							兼1
	プロジェクトワーク1	1前		2					○			1			
	プロジェクトワーク2	1後		2					○			1			
	文化と経営	2前		2			○								兼1
	文化と経済	2後		2			○								兼1
	広報論	2後		2			○								兼1
	舞台芸術演習 II-1	2前		2				○							兼1
	舞台芸術演習 II-2	2後		2				○							兼1
	舞台芸術演習 II-3	2前		2				○							兼1
	舞台芸術演習 II-4	2後		2				○				1			
	図面演習 II	2前		2				○							兼1
	図面演習 III	2後		2				○							兼1
	プロジェクトワーク3	2前		2					○			1			
	プロジェクトワーク4	2後		2					○			1			
	施設実習1	2前		2					○	1					
	施設実習2	2後		2					○	1					
アート概論	1前		2			○				1					
近現代工芸論	1前		2			○								兼1	
クロッキー	1前		2				○		2						
美術演習 I-1	1前		2				○		2	3					
美術演習 I-2	1後		2				○		2	3					
美術実技 I-1 (アート・ファンデーション)	1前		4					○	2	2				兼2	
美術実技 I-2 (アート・ファンデーション)	1後		4					○	2	2				兼2	
美術実技 I-3 (アイデアとドローイング)	1前		2					○		1					
美術実技 I-4 (オブジェ)	1前		2					○						兼1	
美術実技 I-5 (彫塑/マケット)	1後		2					○	1						
美術実技 I-6 (陶芸)	1前・後		2					○		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 領域共通	美術実技 I-7 (ガラス)	1前・後		2				○							兼1
	美術実技 I-8 (フィギュア)	1後		2				○							兼1
	日本画実技 I-1	1前		2				○			1				
	日本画実技 I-2	1前		2				○			1				
	日本画実技 I-3	1後		2				○			1				
	日本画実技 I-4	1後		2				○			1				
	洋画実技 I-1	1前		2				○	1						兼1
	洋画実技 I-2	1前		2				○							兼2
	洋画実技 I-3	1後		2				○	1						兼1
	洋画実技 I-4	1後		2				○							兼2
	絵画技法材料論	2前		2			○		1						
	版画史	2前		2			○								兼1
	メディア表現	2前		2				○							兼1
	プロジェクト演習	2後		2				○							兼1
	学外演習1	2後		2				○			1				
	美術演習 II-1	2前		2				○	2	3					
	美術演習 II-2	2後		2				○	2	3					
	美術実技 II-1	2前		2											兼2
	美術実技 II-2	2前		2											兼2
	美術実技 II-3	2前		2					1						兼1
	美術実技 II-4	2前		2											兼2
	美術実技 II-5	2後		2						1					兼1
	美術実技 II-6	2後		2											兼2
	美術実技 II-7	2後		2											兼2
	美術実技 II-8	2後		2											兼2
	日本画実技 II-1	2前		4											兼1
	日本画実技 II-2	2前		2											兼1
	日本画実技 II-3	2前		2											兼1
	日本画実技 II-4	2後		4											兼1
	日本画実技 II-5	2後		2											兼1
	日本画実技 II-6	2後		2											兼1
	洋画実技 II-1	2前		4											兼4 オムニバス
	洋画実技 II-2	2前		2					1						兼1
	洋画実技 II-3	2前		2						2					
	洋画実技 II-4	2後		4					1	1					兼1
	洋画実技 II-5	2後		2					1						兼1
	洋画実技 II-6	2後		2						2					
	工芸複合素材実習	2後		2											兼1
	デザイン概論	1前		2			○			1	1				
	デザイン理論	1前		2			○			1					
文芸基礎	1前		2			○								兼1	
デジタルサウンド1	1前		2				○							兼1	
編集総合演習	1後		2				○							兼1	
デザイン基礎演習A	1前・後		2				○	1		1					
デザイン基礎演習B	1前		2				○		1						
デザイン基礎演習C	1前		2				○	1							
デザイン基礎演習D	1前		2				○	1							
デザイン基礎演習E	1後		2				○		1						
デザイン基礎演習F	1後		2				○		1						
デザイン基礎演習G	1後		2				○	1							
レビュー I	1後		2				○	7	10	5					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	領域共通															
	デザイン実技 I-1	1前		2				○		3	1			兼5		
	デザイン実技 I-2	1前		2				○		3	4			兼3		
	デザイン実技 I-3	1後		2				○	2	3				兼3		
	デザイン実技 I-4	1後		2				○	1	2	2			兼4		
	先端基礎実技1	1前		2				○			1				兼1	
	先端基礎実技2	1後		2				○							兼1	
	文芸実技 I-1	1前		2				○		1					兼1	オムニバス
	文芸実技 I-2	1前		2				○		1					兼1	オムニバス
	文芸実技 I-3	1前		2				○		1					兼1	オムニバス
	文芸実技 I-4	1後		2				○							兼2	オムニバス
	文芸実技 I-5	1後		2				○		1					兼1	オムニバス
	文芸実技 I-6	1後		2				○							兼1	オムニバス
	コンピュータ表現基礎	1前・後		2				○			1				兼3	オムニバス
	工芸制作	1後		2				○							兼2	オムニバス
	情報デザイン論	2後		2			○								兼2	オムニバス
	印刷論	2前		2			○				1				兼2	オムニバス
	製品企画論	2後		2			○			3					兼2	オムニバス
	エルゴノミクス論	2前		2			○								兼1	オムニバス
	材料学	2後		2			○								兼1	オムニバス
	建築企画論1-a (法規)	2後		1			○								兼1	オムニバス
	建築企画論1-b (生産)	2後		1			○								兼1	オムニバス
	インテリア設計論	2後		2			○								兼1	オムニバス
	観察学・考現学	2前		2			○								兼1	オムニバス
	映像演習	2前・後		2				○			1				兼1	オムニバス
	デジタルサウンド2	2後		2				○							兼1	オムニバス
	照明演習	2		2				○							兼1	オムニバス
	金属技法材料	2		2				○			1				兼1	オムニバス
	染織技法材料	2前・後		2				○				1			兼1	オムニバス
	デザインワークショップ	2前		2				○			2				兼1	オムニバス
	デザインインターンシップ	2前・後		2				○		1					兼1	オムニバス
	デザイン演習 I	2後		2				○		3	3	2			兼2	オムニバス
	文芸演習 I-1	2前		2				○		1					兼1	オムニバス
	文芸演習 I-2	2後		2				○		1					兼1	オムニバス
	レビュー II	2後		2				○		7	10	5			兼1	オムニバス
	デザイン実技 II-1	2前		2				○		6	4	1			兼3	オムニバス
	デザイン実技 II-2	2前		2				○		1	2				兼8	オムニバス
	デザイン実技 II-3	2後		2				○		1	3	1			兼7	オムニバス
	デザイン実技 II-4	2後		2				○		1	2	2			兼7	オムニバス
	文芸実技 II-1	2前		2				○							兼1	オムニバス
文芸実技 II-2	2前		2				○			1				兼1	オムニバス	
文芸実技 II-3	2後		2				○							兼1	オムニバス	
文芸実技 II-4	2後		2				○							兼1	オムニバス	
版画実技	2前		2				○							兼2	オムニバス	
視覚文化	1後		2			○			1					兼1	オムニバス	
サウンド文化	1後		2			○								兼1	オムニバス	
日本語リテラシー1	1後		2				○							兼1	オムニバス	
異文化体験	1前		2				○			1	1			共同	オムニバス	
教養と文化1	1前		2				○		1		1			共同	オムニバス	
芸術教養レビュー1	1後		2				○			1	1			共同	オムニバス	
ビジュアルリテラシー1	1前		2				○							兼2	オムニバス	
ビジュアルリテラシー2	1後		2				○							兼2	オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	領域共通	サウンドリテラシー1	1前	2				○							兼2 共同
		サウンドリテラシー2	1後	2				○							兼1 共同
		情報文化	2前	2			○			1		1			兼1 オムニバス
		テキスト文化	2後	2			○			1					
		国際文化	2前	2			○								兼1
		日本語リテラシー2	2前	2				○		1					
		情報リテラシー1	2前	2				○							兼1
		情報リテラシー2	2後	2				○							兼1
		教養と文化2	2前	2				○		1					
		芸術教養レビュー2	2後	2				○			1	1			共同
		プロジェクト1	2前	2					○	2					兼1 オムニバス
		プロジェクト2	2後	2					○	1		1			兼1 オムニバス
		ムービー制作	2前	2					○		1				
		インターメディア表現	2後	2					○						兼2 オムニバス
		身体と言葉の表現	2後	2					○						兼1
領域展開		和声学Ⅲ-1	3前	2			○		1						
		和声学Ⅲ-2	3後	2			○		1						
		20世紀音楽と電子メディア	3後	2			○							兼1	
		ジャズ・ポップス論	3後	2			○				1				
		医学概論	3前	2			○				1				
		介護概論	3後	2			○				1				
		対位法	3前	2				○							兼1
		編曲法演習	3後	2				○		1					兼1
		声楽歌唱法	3前・後	2				○		1					
		指揮法演習	3前・後	2				○							兼1
		オペラ研究Ⅰ-1	3前	2				○		1					
		オペラ研究Ⅰ-2	3後	2				○		1					
		オーケストレーション演習1	3前	2				○							兼1
		オーケストレーション演習2	3後	2				○							兼1
		コンポジション1	3前	2				○		1	1				
		コンポジション2	3後	2				○		1	1				
		音楽療法1	3前	2				○			1				
		音楽療法2	3通	4				○			1				
		劇場と舞台	3前	2				○							兼1
		パフォーマンス論1	3前	2				○				1			
		パフォーマンス論2	3後	2				○				1			
		ライブプロデュース演習2	3後	2				○		1					
		サウンドメディア応用演習Ⅱ	3通	4				○		1					兼2
		ミュージックエンターテインメントⅢ	3通	8				○		2	1	2			兼3 オムニバス
		ソルフェージュ実習Ⅲ-1	3前	1					○						兼1
		ソルフェージュ実習Ⅲ-2	3後	1					○						兼1
		ピアノ応用実習Ⅰ	3後	1					○	1					兼3
		ピアノ応用実習Ⅱ (伴奏法を含む)	3前	1					○	1					兼3
		伴奏法Ⅱ-1	3前	1					○			1			
		伴奏法Ⅱ-2	3後	1					○			1			
ピアノ演奏解釈1	3前	1					○	2							
ピアノ演奏解釈2	3後	1					○	1							
作曲法実習Ⅰ	3前	1					○						兼2		
作曲法実習Ⅱ	3後	1					○						兼2		
器楽応用研究1	3後	1					○						兼2		
室内楽Ⅲ-1	3前	1					○	4	1				兼4 共同		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	領域展開	室内楽Ⅲ-2	3後	1				○	4	1				兼4	共同
		マーチング実習3	3前	1				○						兼1	兼1
		合奏Ⅲ-1	3前	1				○	4	1				兼3	共同
		合奏Ⅲ-2	3後	1				○	4	1				兼3	共同
		セッションⅢ-1	3前	1				○	1		1			兼4	共同
		セッションⅢ-2	3後	1				○	1		1			兼4	共同
		演奏実習Ⅲ-1	3前	1				○						兼2	
		演奏実習Ⅲ-2	3後	1				○						兼2	
		音楽制作実習Ⅰ-1	3前	1				○		1	1			兼2	
		音楽制作実習Ⅰ-2	3後	1				○		1				兼3	
		録音デザイン実習Ⅱ-1	3前	1				○		1					
		録音デザイン実習Ⅱ-2	3後	1				○						兼1	
		音響デザイン実習Ⅱ-1	3前	1				○	1						
		音響デザイン実習Ⅱ-2	3後	1				○	1						
		デジタルアート2	3前	1				○	1					兼1	オムニバス
		プラクティス1	3前	2				○		1	1			兼2	
		プラクティス2	3後	2				○		1	1			兼2	
		ステージマネジメントⅡ-1	3前	1				○	1						
		ステージマネジメントⅡ-2	3後	1				○	1						
		声優技術基礎実習1	3前	1				○						兼2	
		声優技術基礎実習2	3後	1				○						兼2	
		アクティングⅡ-1	3前	1				○						兼2	
		アクティングⅡ-2	3後	1				○						兼2	
		ダンス実技Ⅲ-1	3前	1				○						兼2	
		ダンス実技Ⅲ-2	3後	1				○						兼2	
		舞台パフォーマンスⅢ-1	3前	1				○						兼1	
		舞台パフォーマンスⅢ-2	3後	1				○						兼1	
		声優アクティング表現実技Ⅰ	3通	8				○		1					
		ダンスパフォーマンス表現実技Ⅰ	3通	8				○		1				兼3	オムニバス
		音楽表現実技Ⅲ	3通	8				○	11	5	3			兼67	共同
		総合音楽実技3	3通	8				○	10	2	2			兼66	
		コンポジション3	4前	2				○	1					兼1	
		コンポジション4	4後	2				○	1					兼1	
		音楽療法3	4通	4				○		2					
		サウンドメディアプロジェクト	4通	4				○	1	1	1			兼1	
		ミュージックエンターテインメントⅣ	4通	4				○	2		2			兼3	
		キーボードハーモニー	4前	1				○	2	1					オムニバス
		オペラ研究Ⅱ-1	4前	2				○							
		オペラ研究Ⅱ-2	4後	2				○		1				兼1	
		器楽応用研究2	4後	1				○						兼1	
	室内楽Ⅳ-1	4前	1				○	4	1				兼4	共同	
	室内楽Ⅳ-2	4後	1				○	4	1				兼4	共同	
	マーチング実習4	4前	1				○						兼1		
	合奏Ⅳ-1	4前	1				○	4	1				兼3	共同	
	合奏Ⅳ-2	4後	1				○	4	1				兼3	共同	
	セッションⅣ-1	4前	1				○	1		1			兼4	共同	
	セッションⅣ-2	4後	1				○	1		1			兼4	共同	
	演奏実習Ⅳ-1	4前	1				○		1				兼2		
	演奏実習Ⅳ-2	4後	1				○		1				兼2		
	音楽制作実習Ⅱ-1	4前	1				○						兼1		
	音楽制作実習Ⅱ-2	4後	1				○						兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	録音デザイン実習Ⅲ-1	4前		1				○							兼2
	録音デザイン実習Ⅲ-2	4後		1				○							兼2
	音響デザイン実習Ⅲ-1	4前		1				○	1						
	音響デザイン実習Ⅲ-2	4後		1				○	1						
	ブラクティス3	4前		2				○		2					
	ブラクティス4	4後		2				○		2					
	アクティングⅢ-1	4前		1				○				1			兼2
	アクティングⅢ-2	4後		1				○				1			兼2
	ダンス実技Ⅳ-1	4前		1				○							兼2
	ダンス実技Ⅳ-2	4後		1				○							兼2
	舞台パフォーマンスⅣ-1	4前		1				○							
	舞台パフォーマンスⅣ-2	4後		1				○							
	声優アクティング表現実技Ⅱ	4通		8				○				1			兼3
	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅱ	4通		8				○			1				兼3
	音楽表現実技Ⅳ	4通		8				○		11	5	3			兼67 共同
	総合音楽実技4	4通		8				○		10	2	2			兼66
	劇場運営論	3前		2			○				1				
	プロダクションマネジメント論	3後		2			○				1				
	芸術祭研究	3後		2			○			1					
	舞台芸術演習Ⅲ-1	3前		2				○			3				
	舞台芸術演習Ⅲ-2	3後		2				○			3				
	舞台芸術演習Ⅲ-3	3前		2				○			3				
	舞台芸術演習Ⅲ-4	3後		2				○			3				
	プロジェクトワーク5	3前		2					○			1			
	プロジェクトワーク6	3後		2					○			1			
	施設実習3	3前		2					○	1					
	施設実習4	3後		2					○	1					
	舞台芸術演習Ⅳ-1	4前		2				○			3				
	舞台芸術演習Ⅳ-2	4後		2				○			3				
	アートプロデュース演習1	3前		2				○			1				
	アートプロデュース演習2	3後		2				○			1				
	ポर्टフォリオ演習	3後		2				○							兼1
	学外演習2	3後		2				○			1				
	美術実技Ⅲ-1	3前		2					○						兼2
	美術実技Ⅲ-2	3前		2					○						兼2
	美術実技Ⅲ-3	3前		2					○						兼2
	美術実技Ⅲ-4	3前		2					○						兼4 オムニバス
	美術実技Ⅲ-5	3後		2					○						兼2
	美術実技Ⅲ-6	3後		2					○						兼3
	美術実技Ⅲ-7	3後		2					○						兼2
美術実技Ⅲ-8	3後		2					○		1				兼3 オムニバス	
日本画実技Ⅲ-1	3前		4					○	1						
日本画実技Ⅲ-2	3前		2					○						兼1	
日本画実技Ⅲ-3	3前		2					○	1						
日本画実技Ⅲ-4	3後		4					○	1						
日本画実技Ⅲ-5	3後		2					○						兼1	
日本画実技Ⅲ-6	3後		2					○	1						
洋画実技Ⅲ-1	3前		4					○	1	1				兼1 オムニバス	
洋画実技Ⅲ-2	3前		2					○		1				兼1	
洋画実技Ⅲ-3	3前		2					○	1					兼1	
洋画実技Ⅲ-4	3後		4					○	1	1				兼1 オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	領域展開	洋画実技Ⅲ-5	3後	2				○		1					兼1
	洋画実技Ⅲ-6	3後	2				○		1					兼1	
	美術実技Ⅳ-1	4前	4				○							兼4 オムニバス	
	美術実技Ⅳ-2	4前	4				○		3					兼1 オムニバス	
	日本画実技Ⅳ-1	4前	4				○		1					兼1 オムニバス	
	日本画実技Ⅳ-2	4前	4				○		1						
	洋画実技Ⅳ-1	4前	4				○			1				兼3 オムニバス	
	洋画実技Ⅳ-2	4前	4				○		1	1				兼1 オムニバス	
	視覚デザイン論	3前	2			○				1					
	広告表現論	3後	2			○									兼1
	建築企画論2	3前	2			○									兼1
	環境設計論	3前	2			○									兼1
	建築構造学	3後	2			○									兼1
	デザイン演習Ⅱ-1	3前	2				○			2	2				兼5
	デザイン演習Ⅱ-2	3後	2				○			4	3				兼2
	文芸演習Ⅱ-1	3前	2				○								兼1
	文芸演習Ⅱ-2	3後	2				○								兼1
	レビューⅢ	3後	2				○			7	10	5			
	デザイン実技Ⅲ-1	3前	2				○			2	5	2			兼2
	デザイン実技Ⅲ-2	3前	2				○			1	1	3			兼9
	デザイン実技Ⅲ-3	3後	2				○			2	4	2			兼2
	デザイン実技Ⅲ-4	3後	2				○			1	2	1			兼6
	文芸実技Ⅲ-1	3前	2				○								兼1
	文芸実技Ⅲ-2	3前	2				○				1				
	文芸実技Ⅲ-3	3後	2				○								兼1
	文芸実技Ⅲ-4	3後	2				○				2				兼2 オムニバス
	工芸・クラフトプロジェクト	3前	2				○			1					
	デザイン実技Ⅳ	4前	4				○			5	8	3			兼8
	文芸実技Ⅳ	4前	4				○				1				兼1 オムニバス
	芸術教養演習1	3前	2				○				1				
	芸術教養演習2	3後	2				○				1				
	芸術教養レビュー3	3後	2				○				1				
	ビジュアルプログラミング	3前	2				○								兼2 オムニバス
教養と文化3	3前	2				○				1					
英語ディスカッション	3前	2				○								兼1	
プロジェクト3	3前	2				○			1		1			兼1 オムニバス	
芸術教養演習3	4前	2				○					1				
教養と文化4	4前	2				○				1					
卒業研究(音楽)	4通	4				○			5	2	2			兼1 兼1	
卒業研究(舞台芸術)	4後	4				○			2	2	1				
卒業制作(美術・デザイン)	4後	8				○			10	15	5			兼22 オムニバス	
卒業研究(芸術教養)	4後	4				○				3	1			オムニバス	
小計(528科目)		—	0	1077	0			—	35	32	16	0	0	兼356	—
資格関連	教育原論	1前・後			2	○									兼1
	教職論	1前・後			2	○									兼1
	教育制度論	1前・後			2	○									兼1
	学習心理学	1前・後			2	○									兼1
	特別支援の理解	3前			2	○									兼3
	教育課程論	1前・後			2	○									兼1
	道徳教育指導論	1後			2	○									兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2		○								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
資格関連	特別活動論	1前・後			2	○										兼1
	教育方法論	1後			2	○										兼1
	生徒・進路指導論	1前・後			2	○				1						
	教育相談	1前・後			2	○										兼1
	教育実習Ⅰ	4通			1	○										兼2
	教育実習Ⅱ	4後			2			○								兼2
	教育実習Ⅲ	4後			2			○								兼2
	教職実践演習(中・高)	4後			2		○									兼2
	音楽科指導法1	2前			2	○				1						
	音楽科指導法2	2後			2	○				1						
	音楽科指導法3	2前・後			2	○				1						
	音楽科指導法4	2前・後			2	○				1						
	美術科指導法1	2前			2	○				1						
	美術科指導法2	2後			2	○				1						
	美術科・工芸科指導法1	2前			2	○				1						
	美術科・工芸科指導法2	2後			2	○				1						
学芸員に関する科目	生涯学習概論	1前			2	○										兼1
	博物館概論	1前			2	○					1					兼1
	博物館経営論	2後			2	○										兼1
	博物館資料論	2後			2	○										兼1
	博物館資料保存論	2後			2	○										兼1
	博物館展示論	2後			2	○										兼1
	博物館教育論	3前			2	○										兼1
	博物館情報・メディア論	3前			2	○										兼1
	博物館実習Ⅰ	3後			2	○										兼1
	博物館実習Ⅱ	4後			1			○		1						
小計(34科目)	—	0	0	66	—	—	—	—	1	1	1	0	0	兼15	—	
合計(631科目)	—	10	1189	66	—	—	—	—	37	34	17	0	0	兼419	—	
学位又は称号	学士(芸術)		学位又は学科の分野			音楽関係、美術関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
全学総合共通科目から必修10単位を含む24単位以上、専門科目の選択科目から80単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))						1学年の学期区分			2期							
						1学期の授業期間			15週							
						1時限の授業時間			90分							

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者

に授与する学位を併記すること。

- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(人間発達学部子ども発達学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学総合共通科目	一般科目群	大学生になる	1前	1				○		2	1				兼3
		日本語表現	1後	1				○			5				兼3
		英語1	1前	1				○							兼4
		英語2	1後	1				○							兼4
		英語3	1前・後		1			○							兼1
		コミュニケーション英語1	1前	1				○							兼4
		コミュニケーション英語2	1後	1				○							兼4
		コミュニケーション英語3	1前・後		1			○							兼1
		フランス語Ⅰ	1前・後		1			○							兼1
		フランス語Ⅱ	1後		1			○							兼1
		ドイツ語Ⅰ	1前・後		1			○							兼1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1			○							兼1
		イタリア語Ⅰ	1前・後		1			○							兼1
		イタリア語Ⅱ	1前		1			○							兼1
		中国語Ⅰ	1前		1			○							兼1
		中国語Ⅱ	1後		1			○							兼1
		情報メディア演習	1前・後	2					○	1					兼2
		数理科学	1後		2			○			1				
		基礎数学	2後		2			○			1				兼1
		AIと数理	2前		2			○		1					
		生物学	1前		2			○							兼1
		美学	1後		2			○							兼1
		倫理学	1前・後		2			○							兼1
		歴史学	1後		2			○							兼1
		社会学	1前・後		2			○							兼1
		日本国憲法	1前・後		2			○		1					兼1
		心理学	1前		2			○							兼1
		人類学	1後		2			○							兼1
		考古学	2前		2			○							兼1
		考古学演習	2後		2				○						兼1
		健康と体力	1前・後		2			○			1				
		健康スポーツ	1前・後		2				○						兼2
		スタディ・アブロード	1前		2			○							兼1
		ボランティア	1前		2				○						兼1
		インターンシップ	2後		2				○						兼1
		経済学	1後		2			○							兼1
		民法	3前		2			○							兼1
		労務論	3後		2			○							兼1
		簿記	3前		2			○							兼1
		行政法	2前		2			○							兼1
	組織論	2後		2			○							兼1	
	起業論	2前		2			○							兼1	
	キャリア1	1前・後	2					○	1					兼1	
	キャリア2	2後		2				○	1					兼1	
	キャリア3	3前		2				○	1						
	キャリア4	3前		2				○						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学総合共通科目	一般 起業演習	3後		2				○							兼1
	横断科目群 音楽の世界	1前		2		○									兼12 オムニバス
	西洋音楽史各論	1前・後		2		○									兼1
	ポップス・ジャズミュージックシーン	2前		2		○									兼1
	舞台芸術概論	1前・後		2		○									兼2
	劇場史	1前		2		○									兼1
	アートマーケティング	1後		2		○									兼1
	絵画基礎	1前		2				○							兼1
	デッサン	1後		2				○							兼1 共同
	書道アート	1前		2				○							兼1
	認知科学	1前		2		○									兼1
	アニメーション特論	1前		2		○									兼1
	ソーシャルデザイン論	2後		2		○									兼1
	現代芸術と文化	1前		2		○									兼2 共同
	芸術と科学	2前		2		○									兼1
	文化とマーケティング	2後		2		○									兼1
	児童文学論	1後		2		○									兼1
	教育の思想と歴史	1前		2		○					1				
	子どもの発達と芸術	1後		2		○				2	1				
	アートプロジェクト1	1後		2				○							兼2
アートプロジェクト2	1後		2				○							兼1	
アートプロジェクト3	1後		2				○							兼1	
アートプロジェクト4	1後		2				○							兼1	
	小計 (69科目)	—	10	112	0			—	6	7	0	0	0	兼66	兼66
専門科目	専門基礎 子ども学総論	1前	2			○			2	3					
	発達心理学	2後	2			○				1					
	専門基礎科目 保育者論	2前		2		○			1						
	教育原論	2後		2		○				1					
	教育方法論	3後		2		○				1					
	教育相談	3後		2		○			1						
	特別支援の理解	2前		2		○			1	1					兼1 オムニバス
	幼児理解	3前		2		○			1						
	保育指導法	2後		2				○							兼1
	保育課程論	3前		2		○				1					
	保育内容総論	1後		2				○			1				兼1
	保育内容演習 健康	1前		2				○							兼1
	保育内容演習 人間関係	1前		2				○			1				
	保育内容演習 環境	1後		2				○			1				
	保育内容演習 言葉	1前		2				○			1				
	保育内容演習 表現	1後		2				○							兼1
	教職論	2前		2		○				1					
	教育制度論	2後		2		○									兼1
	教育課程論	2後		2		○					1				
	道徳教育指導論	3前		2		○					1				
総合的な学習の時間の指導法	2後		2				○			1					
特別活動論	3前		2		○				1						
生徒・進路指導論	3前		2		○									兼1	
国語科指導法	2前		2				○			1					
社会科指導法	2前		2				○			1					
算数科指導法	2前		2				○		1						
理科指導法	3前		2				○			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 基幹 科目	生活科指導法	3前		2			○			1						
	音楽科指導法	2後		2			○		1							
	図画工作科指導法	3前		2			○			1						
	家庭科指導法	2前		2			○									兼1
	体育科指導法	2後		2			○									兼1
	外国語科指導法（英語）	3前		2			○									兼1
	地域活動	1後		2			○		1							
	保育原理	1後	2				○		1							
	子ども家庭福祉	3前	2				○		1							
	社会福祉	1前		2			○		1							
	社会的養護Ⅰ	3後		2			○			1						
	社会的養護Ⅱ	3後		1			○									兼1
	子育て支援	3前		1				○			1					
	子どもの保健	2前		2			○									兼1
	子どもの食と栄養	2前		2				○								兼1
	子ども家庭支援論	3後		2			○			1						
	乳児保育Ⅰ	2前		2				○								兼1
	障害児保育	2後		2				○		1						
	保育の心理学	1前		2			○			1						
	子ども家庭支援の心理学	2前		2			○			2						オムニバス
	子どもの理解と援助	2前		1				○			1					
	子どもの健康と安全	2前		1				○								兼1
	国語（書写を含む）	1後		2				○			1					
	社会	1前		2				○			1					
	算数	1後		2				○		1						
	理科	2後		2				○			1					
	生活	1前	2					○			1					
	音楽	1前	2					○		1						
	図画工作	1後	2					○								
	家庭	1後		2				○								兼1
	体育	1後		2				○			1					
	外国語（英語）	3後		2				○								兼1
	教育実習（小学校）	3通		4					○	1	2					
教育実習指導（小学校）	3通		4					○	1	2						
教育実習（幼稚園基礎実習・実習指導）	2通		1					○		1						
教育実習（幼稚園応用実習）	3通		3					○		2						
教育実習指導（幼稚園応用実習）	3通		3					○		2						
保育所実習Ⅰ	2通		2					○	1	1						
保育所実習指導1	2後		1				○		1	1						
施設実習Ⅰ	4通		2					○	1	1						
施設実習指導1	4後		1				○		1	1						
保育所実習Ⅱ	3通		2					○	1	2						
保育所実習指導2	3後		1				○		1	2					兼1	
施設実習Ⅱ	4後		2					○	1							
施設実習指導2	4後		1				○		1							
介護等体験	3前		1					○		1						
専門 展開 科目	保育内容与方法	2後		2				○		1						
	乳児保育Ⅱ	2後		1				○							兼1	
	乳幼児心理学	2前		2				○	1							
	生涯発達心理学	1後		2			○		1							
	子ども文化創造論	2後		2			○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 専門展開科目	ピアノ実習1	1前		1				○	1						兼5	
	ピアノ実習2	1後		1				○	1						兼5	
	子どものうたとピアノ1	2前・後		1				○	1						兼3	
	子どものうたとピアノ2	3前・後		1				○	1						兼2	
	声楽表現	2後		1				○							兼1	
	器楽表現	2前		1				○	1							
	子どもの造形	1後		1				○							兼1	
	子どもの絵画	2後		1				○		1						
	子どものデザイン	3前		1				○							兼1	
	子どもの身体表現	2前		1				○		1						
	子どもの運動あそび	1前		1				○		1						
	子どもと絵本1	1前		2				○	1	3					兼1	
	子どもと絵本2	1後		2				○	2	3					兼1	
	子ども学演習	1後	2					○	2	3						
	基礎演習	2通	4					○	3	4						
	専門演習	3通	4					○	6	8						
	卒業研究・卒業制作	4通	4					○	6	8						
教職実践演習(小)	4後		2				○	1	1							
保育・教職実践演習(幼)	4後		2				○	1	1							
小計(97科目)	—	28	156	0	—	—	—	7	11	0	0	0	0	兼25	—	
資格関連	レクリエーション論	1後			2	○									兼1	
	レクリエーション実技	1後			2			○							兼1	
	レクリエーション現場実習	1後			1			○							兼1	
学芸員に関する科目	生涯学習概論	1前			2	○									兼1	
	博物館概論	1前			2	○									兼1	
	博物館経営論	2後			2	○									兼1	
	博物館資料論	2後			2	○									兼1	
	博物館資料保存論	2後			2	○									兼1	
	博物館展示論	2後			2	○									兼1	
	博物館教育論	3前			2	○									兼1	
	博物館情報・メディア論	3前			2	○									兼1	
	博物館実習Ⅰ	3後			2	○									兼1	
	博物館実習Ⅱ	4後			1			○							兼1	
小計(34科目)	—	0	0	24	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼9	—	
合計(200科目)		—	38	268	24	—	—	—	8	11	0	0	0	0	兼97	—
学位又は称号		学士(教育学)			学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
全学総合共通科目より、必修10単位を含む24単位以上、専門科目より、必修28単位を含む82単位以上を修得し、126単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))							1学年の学期区分		2期							
							1学期の授業期間		15週							
							1時限の授業時間		90分							

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職

別記様式第2号（その2の1）

学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。

（1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。

（2）「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。

（3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

(芸術学部芸術学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学総合 共通科目	大学生になる	1前	1					○		1	2					兼6
	日本語表現	1後	1					○		1	5					兼5
	英語1	1前	1					○			1					兼3
	英語2	1後	1					○			1					兼3
	英語3	1前・後		1				○			1					
	コミュニケーション英語1	1前	1					○		1						兼3
	コミュニケーション英語2	1後	1					○		1						兼3
	コミュニケーション英語3	1前・後		1				○			1					
	フランス語Ⅰ	1前	1					○			1					
	フランス語Ⅱ	1後	1					○			1					
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		1				○		1						
	ドイツ語Ⅱ	1後	1					○		1						
	イタリア語Ⅰ	1前・後		1				○								兼1
	イタリア語Ⅱ	1前	1					○								兼1
	中国語Ⅰ	1前	1					○								兼1
	中国語Ⅱ	1後	1					○								兼1
	情報メディア演習	1前・後	2						○							兼3
	数理学	1前・後		2				○								兼1
	AIと数理	2前	2					○								兼1
	生物学	1前	2					○			1					
	倫理学	1前・後		2				○								兼1
	歴史学	1後	2					○								兼1
	社会学	1前・後		2				○								兼1
	日本国憲法	1前・後		2				○								兼2
	心理学	1前・後		2				○								兼1
	人類学	1前・後		2				○			1					
	健康と体力	1前・後		2				○								兼1
	健康スポーツ	1前・後		2					○							兼2
	スタディ・アブロード	1前	2					○			1					
	ボランティア	1前	2						○							兼1
	経済学	1後	2					○								兼1
	民法	3前	2					○								兼1
	労務論	3後	2					○								兼1
簿記	3前	2					○								兼1	
行政法	2前	2					○								兼1	
組織論	2後	2					○								兼1	
起業論	2前	2					○								兼1	
キャリア1	1前・後	2						○							兼2	
キャリア2	2後	2						○		1					兼2	
キャリア3	3前	2						○							兼1	
キャリア4	3前	2						○		1						
起業演習	3前	2						○							兼1	
横断科目群	音楽の世界	1前		2				○		7	4	1				オムニバス
	西洋音楽史各論	1後		2				○							兼1	
	ポップス・ジャズミュージックシーン	2前		2				○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 領域共通	邦楽（和楽器）	1前・後		1		○									兼1
	和声学Ⅰ-1	1前		2			○		1	1	1				兼5
	和声学Ⅰ-2	1後		2			○		2		1				兼5
	音楽ケアデザインワークショップ1	1通		4			○			1					
	音楽ケアデザインワークショップ2	1通		4			○			1					
	音楽ケアデザインワークショップ3	1通		4			○			1					
	録音デザイン研究1	1前		2			○		1	1					
	録音デザイン研究2	1後		2			○		1	1					
	音響デザイン研究1	1前		2			○								兼1
	音響デザイン研究2	1後		2			○								兼1
	サウンドメディア基礎演習	1通		4			○		1						兼4
	ノートルディングⅠ	1前		2			○			2					
	ノートルディングⅡ	1後		2			○			2					
	ミュージックエンターテインメントⅠ	1通		8			○		2		1				兼3
	ソルフェージュ実習Ⅰ-1	1前		1				○			1				兼7
	ソルフェージュ実習Ⅰ-2	1後		1				○			1				兼7
	ピアノⅠ-1	1前		1				○	2	1		2			兼11
	ピアノⅠ-2	1後		1				○	2	1		2			兼11
	声楽実習Ⅰ-1	1前		1				○	2						兼8
	声楽実習Ⅰ-2	1後		1				○	2						兼8
	合唱1-1	1前		1				○							兼1
	合唱1-2	1後		1				○							兼1
	室内楽Ⅰ-1	1前		1				○	5	1					兼4 共同
	室内楽Ⅰ-2	1後		1				○	5	1					兼4 共同
	マーチング実習1	1前		1				○							兼1
	マーチング実習2	1前		1				○							兼1
	管楽器リペア実習1	1後		1				○							兼1
	合奏Ⅰ-1	1前		1				○	4	1					兼3 共同
	合奏Ⅰ-2	1後		1				○	4	1					兼3 共同
	セッションⅠ-1	1前		1				○	1		1				兼4 共同
	セッションⅠ-2	1後		1				○	1		1				兼4 共同
	演奏実習Ⅰ-1	1前		1				○	10	2	2				兼67 共同
	演奏実習Ⅰ-2	1後		1				○	10	2	2				兼67 共同
	舞踊表現・バレエ1	1前		1				○							兼1
	舞踊表現・バレエ2	1後		1				○							兼1
	ダンス実技Ⅰ-1	1前		1				○							兼3
	ダンス実技Ⅰ-2	1後		1				○							兼3
	舞台パフォーマンスⅠ-1	1前		1				○							兼1
	舞台パフォーマンスⅠ-2	1後		1				○							兼1
	音楽表現実技Ⅰ	1通		8				○	12	4	4				兼74 共同
総合音楽実技1	1通		8				○	10	2	2				兼65	
民族音楽研究	2前・後		2			○								兼1	
日本音楽研究	2前・後		2			○								兼1	
音楽と教育	2前		2			○								兼1	
社会福祉概論	2前		2			○								兼1	
障害児教育	2後		2			○								兼1	
音楽心理学	2後		2			○			1					兼1	
発達心理学	2後		2			○								兼1	
臨床心理1	2前		2			○								兼1	
臨床心理2	2後		2			○								兼1	
ショービジネス研究	2後		2			○				1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	領域共通														
	和声学Ⅱ-1	2前		2				○		1	1	1			兼5
	和声学Ⅱ-2	2後		2				○		1	1	1			兼5
	音楽情報処理入門	2前・後		2				○							兼3
	スコアリーディング	2後		2				○							兼1
	スコアリーディング演習	2前		2				○		1					
	音楽制作基礎演習1	2前		2				○		1		1			兼1
	音楽制作基礎演習2	2後		2				○		1		1			兼1
	ポップス・ロック論1	2前		2				○		1					
	ポップス・ロック論2	2後		2				○		1					
	ライブプロデュース演習1	2後		2				○		1					
	サウンドメディア応用演習Ⅰ	2通		4				○		1		1			兼2
	ミュージックエンターテインメントⅡ	2通		8				○		1	1	1			兼4
	ソルフェージュ実習Ⅱ-1	2前		1					○			1			兼5
	ソルフェージュ実習Ⅱ-2	2後		1					○			1			兼5
	ピアノⅡ-1	2前		1					○	2	1	2			兼11
	ピアノⅡ-2	2後		1					○	2	1	2			兼11
	初見奏法1	2前		1					○			1			
	初見奏法2	2後		1					○			1			
	伴奏法Ⅰ-1	2前		1					○						兼1
	伴奏法Ⅰ-2	2後		1					○						兼1
	ピアノ重奏法1	2前		1					○			1			
	ピアノ重奏法2	2後		1					○			1			
	声楽実習Ⅱ-1	2前		1					○		2				兼8
	声楽実習Ⅱ-2	2後		1					○		2				兼8
	合唱2-1	2前		1					○		1				
	合唱2-2	2後		1					○		1				
	器楽合奏Ⅰ	2前		1					○		1				
	器楽合奏Ⅱ	2後		1					○		1				
	器楽基礎研究1	2前		1					○		1				兼3
	器楽基礎研究2	2後		1					○		1				兼3
	室内楽Ⅱ-1	2前		1					○	4	1	1			兼4 共同
	室内楽Ⅱ-2	2後		1					○	4	1	1			兼4 共同
	管楽器リペア実習2	2後		1					○						兼1
	合奏Ⅱ-1	2前		1					○	4	1				兼3 共同
	合奏Ⅱ-2	2後		1					○	4	1				兼3 共同
	セッションⅡ-1	2前		1					○	1		1			兼4 共同
	セッションⅡ-2	2後		1					○	1		1			兼4 共同
	演奏実習Ⅱ-1	2前		1					○	10	2	2			兼67 共同
	演奏実習Ⅱ-2	2後		1					○	10	2	2			兼67 共同
録音デザイン実習Ⅰ-1	2前		1					○			1				
録音デザイン実習Ⅰ-2	2後		1					○			1				
音響デザイン実習Ⅰ-1	2前		1					○						兼2	
音響デザイン実習Ⅰ-2	2後		1					○						兼2	
デジタルアート1	2前		1					○						兼2 オムニバス	
ステージマネジメントⅠ-1	2前		1					○	1						
ステージマネジメントⅠ-2	2後		1					○	1						
アクティングⅠ-1	2前		1					○						兼2	
アクティングⅠ-2	2後		1					○						兼2	
ダンス実技Ⅱ-1	2前		1					○			1			兼1	
ダンス実技Ⅱ-2	2後		1					○			1			兼1	
舞台パフォーマンスⅡ-1	2前		1					○						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 領域共通	舞台パフォーマンスⅡ-2	2後		1				○							兼1	
	音楽表現実技Ⅱ	2通		8				○	11	4	2			兼71	共同	
	総合音楽実技2	2通		8				○	10	2	2			兼66		
	アートマネジメント概論	1前		2			○		1							
	エンタテインメントコンテンツ論	1後		2			○				1					
	舞台芸術キャリア研究1	1前		2			○		1							
	舞台芸術キャリア研究2	1後		2			○		1							
	舞台芸術演習Ⅰ-1	1前		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅰ-2	1前		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅰ-3	1前		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅰ-4	1前		2				○			1					
	舞台芸術演習Ⅰ-5	1後		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅰ-6	1後		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅰ-7	1後		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅰ-8	1後		2				○		1						
	図面演習Ⅰ	1後		2				○							兼1	
	プロジェクトワーク1	1前		2					○			1				
	プロジェクトワーク2	1後		2					○			1				
	文化と経営	2前		2				○							兼1	
	文化と経済	2後		2				○							兼1	
	広報論	2後		2				○							兼1	
	舞台芸術演習Ⅱ-1	2前		2					○						兼1	
	舞台芸術演習Ⅱ-2	2後		2					○						兼1	
	舞台芸術演習Ⅱ-3	2前		2					○						兼1	
	舞台芸術演習Ⅱ-4	2後		2					○		1					
	図面演習Ⅱ	2前		2					○						兼1	
	図面演習Ⅲ	2後		2					○						兼1	
	プロジェクトワーク3	2前		2					○			1				
	プロジェクトワーク4	2後		2					○			1				
	施設実習1	2前		2					○	1						
	施設実習2	2後		2					○	1						
	視覚文化	1後		2				○		1						
	サウンド文化	1後		2				○							兼1	
	日本語リテラシー1	1後		2					○						兼1	
	異文化体験	1前		2					○		1	1			共同	
	教養と文化1	1前		2					○	1		1			共同	
	芸術教養レビュー1	1後		2					○		1	1			共同	
	ビジュアルリテラシー1	1前		2					○						兼2	共同
	ビジュアルリテラシー2	1後		2					○						兼2	共同
	サウンドリテラシー1	1前		2					○						兼2	共同
サウンドリテラシー2	1後		2					○			1			兼1	共同	
情報文化	2前		2				○		1					兼1	オムニバス	
テキスト文化	2後		2				○		1							
国際文化	2前		2				○							兼1		
日本語リテラシー2	2前		2					○	1							
情報リテラシー1	2前		2					○						兼1		
情報リテラシー2	2後		2					○						兼1		
教養と文化2	2前		2					○	1							
芸術教養レビュー2	2後		2					○		1	1			共同		
プロジェクト1	2前		2					○	2					兼1	オムニバス	
プロジェクト2	2後		2					○	1		1			兼1	オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	領域共通	ムービー制作	2前	2				○		1						
		インターメディア表現	2後	2				○							兼2	オムニバス
		身体と言葉の表現	2後	2				○							兼1	
	領域展開	和声学Ⅲ-1	3前	2			○			1						
		和声学Ⅲ-2	3後	2			○			1						
		20世紀音楽と電子メディア	3後	2			○								兼1	
		ジャズ・ポップス論	3後	2			○					1				
		医学概論	3前	2			○				1					
		介護概論	3後	2			○				1					
		対位法	3前	2				○							兼1	
		編曲法演習	3後	2				○			1				兼1	
		声楽歌唱法	3前・後	2				○			1					
		指揮法演習	3前・後	2				○							兼1	
		オペラ研究Ⅰ-1	3前	2				○			1					
		オペラ研究Ⅰ-2	3後	2				○			1					
		オーケストレーション演習1	3前	2				○							兼1	
		オーケストレーション演習2	3後	2				○							兼1	
		コンポジション1	3前	2				○			1	1				
		コンポジション2	3後	2				○			1	1				
		音楽療法1	3前	2				○				1				
		音楽療法2	3通	4				○				1				
		劇場と舞台	3前	2				○							兼1	
		パフォーマンス論1	3前	2				○					1			
		パフォーマンス論2	3後	2				○					1			
		ライブプロデュース演習2	3後	2				○			1					
		サウンドメディア応用演習Ⅱ	3通	4				○			1				兼2	
		ミュージックエンターテインメントⅢ	3通	8				○			2	1	2		兼3	オムニバス
		ソルフェージュ実習Ⅲ-1	3前	1					○						兼1	
		ソルフェージュ実習Ⅲ-2	3後	1					○						兼1	
		ピアノ応用実習Ⅰ	3後	1					○		1				兼3	
		ピアノ応用実習Ⅱ（伴奏法を含む）	3前	1					○		1				兼3	
		伴奏法Ⅱ-1	3前	1					○				1			
		伴奏法Ⅱ-2	3後	1					○				1			
		ピアノ演奏解釈1	3前	1					○		2					
		ピアノ演奏解釈2	3後	1					○		1					
		作曲法実習Ⅰ	3前	1					○						兼2	
		作曲法実習Ⅱ	3後	1					○						兼2	
		器楽応用研究1	3後	1					○						兼2	
		室内楽Ⅲ-1	3前	1					○		4	1			兼4	共同
		室内楽Ⅲ-2	3後	1					○		4	1			兼4	共同
	マーチング実習3	3前	1					○						兼1		
	合奏Ⅲ-1	3前	1					○		4	1			兼3	共同	
	合奏Ⅲ-2	3後	1					○		4	1			兼3	共同	
	セッションⅢ-1	3前	1					○		1		1		兼4	共同	
	セッションⅢ-2	3後	1					○		1		1		兼4	共同	
	演奏実習Ⅲ-1	3前	1					○						兼2		
	演奏実習Ⅲ-2	3後	1					○						兼2		
	音楽制作実習Ⅰ-1	3前	1					○			1	1		兼2		
	音楽制作実習Ⅰ-2	3後	1					○			1			兼3		
	録音デザイン実習Ⅱ-1	3前	1					○			1					
	録音デザイン実習Ⅱ-2	3後	1					○						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 領域展開	音響デザイン実習Ⅱ-1	3前		1				○	1						
	音響デザイン実習Ⅱ-2	3後		1				○	1						
	デジタルアート2	3前		1				○	1					兼1	オムニバス
	ブラクティス1	3前		2				○		1	1			兼2	
	ブラクティス2	3後		2				○		1	1			兼2	
	ステージマネジメントⅡ-1	3前		1				○	1						
	ステージマネジメントⅡ-2	3後		1				○	1						
	声優技術基礎実習1	3前		1				○						兼2	
	声優技術基礎実習2	3後		1				○						兼2	
	アクティングⅡ-1	3前		1				○						兼2	
	アクティングⅡ-2	3後		1				○						兼2	
	ダンス実技Ⅲ-1	3前		1				○						兼2	
	ダンス実技Ⅲ-2	3後		1				○						兼2	
	舞台パフォーマンスⅢ-1	3前		1				○						兼1	
	舞台パフォーマンスⅢ-2	3後		1				○						兼1	
	声優アクティング表現実技Ⅰ	3通		8				○		1					
	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅰ	3通		8				○		1				兼3	オムニバス
	音楽表現実技Ⅲ	3通		8				○		11	5	3		兼67	共同
	総合音楽実技3	3通		8				○		10	2	2		兼66	
	コンポジション3	4前		2					○	1				兼1	
	コンポジション4	4後		2					○	1				兼1	
	音楽療法3	4通		4					○		2				
	サウンドメディアプロジェクト	4通		4					○	1	1	1		兼1	
	ミュージックエンターテインメントⅣ	4通		4					○	2		2		兼3	
	キーボードハーモニー	4前		1					○	2	1				オムニバス
	オペラ研究Ⅱ-1	4前		2					○						
	オペラ研究Ⅱ-2	4後		2					○		1			兼1	
	器楽応用研究2	4後		1					○					兼1	
	室内楽Ⅳ-1	4前		1					○	4	1			兼4	共同
	室内楽Ⅳ-2	4後		1					○	4	1			兼4	共同
	マーチング実習4	4前		1					○					兼1	
	合奏Ⅳ-1	4前		1					○	4	1			兼3	共同
	合奏Ⅳ-2	4後		1					○	4	1			兼3	共同
	セッションⅣ-1	4前		1					○	1		1		兼4	共同
	セッションⅣ-2	4後		1					○	1		1		兼4	共同
	演奏実習Ⅳ-1	4前		1					○		1			兼2	
	演奏実習Ⅳ-2	4後		1					○		1			兼2	
	音楽制作実習Ⅱ-1	4前		1					○					兼1	
	音楽制作実習Ⅱ-2	4後		1					○					兼1	
	録音デザイン実習Ⅲ-1	4前		1					○					兼2	
録音デザイン実習Ⅲ-2	4後		1					○					兼2		
音響デザイン実習Ⅲ-1	4前		1					○	1						
音響デザイン実習Ⅲ-2	4後		1					○	1						
ブラクティス3	4前		2					○		2					
ブラクティス4	4後		2					○		2					
アクティングⅢ-1	4前		1					○			1		兼2		
アクティングⅢ-2	4後		1					○			1		兼2		
ダンス実技Ⅳ-1	4前		1					○					兼2		
ダンス実技Ⅳ-2	4後		1					○					兼2		
舞台パフォーマンスⅣ-1	4前		1					○							
舞台パフォーマンスⅣ-2	4後		1					○							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	領域展開	声優アクティング表現実技Ⅱ	4通	8				○								兼3
	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅱ	4通	8					○								兼3
	音楽表現実技Ⅳ	4通	8					○	11	5	3					兼67
	総合音楽実技4	4通	8					○	10	2	2					兼66
	劇場運営論	3前	2			○				1						
	プロダクションマネジメント論	3後	2			○				1						
	芸術祭研究	3後	2			○			1							
	舞台芸術演習Ⅲ-1	3前	2				○				3					
	舞台芸術演習Ⅲ-2	3後	2				○				3					
	舞台芸術演習Ⅲ-3	3前	2				○				3					
	舞台芸術演習Ⅲ-4	3後	2				○				3					
	プロジェクトワーク5	3前	2					○				1				
	プロジェクトワーク6	3後	2					○				1				
	施設実習3	3前	2					○		1						
	施設実習4	3後	2					○		1						
	舞台芸術演習Ⅳ-1	4前	2				○				3					
	舞台芸術演習Ⅳ-2	4後	2				○				3					
	芸術教養演習1	3前	2				○				1					
	芸術教養演習2	3後	2				○				1					
	芸術教養レビュー3	3後	2				○				1					
	ビジュアルプログラミング	3前	2				○									兼2
	教養と文化3	3前	2				○				1					
	英語ディスカッション	3前	2						○							兼1
	プロジェクト3	3前	2						○	1		1				兼1
	芸術教養演習3	4前	2				○					1				
	教養と文化4	4前	2				○				1					
卒業研究（音楽）	4通	4				○			5	2	2				兼1	
卒業研究（舞台芸術）	4後	4				○			2	2	1					
卒業研究（芸術教養）	4後	4				○				3	1					
小計（322科目）	—	—	0	625	0	—	—	—	21	16	10	0	0		兼179	—
資格関連	教育原論	1前・後			2	○										兼1
	教職論	1前			2	○										兼1
	教育制度論	1前・後			2	○										兼1
	学習心理学	1前・後			2	○										兼1
	特別支援の理解	3前			2	○										兼3
	教育課程論	1前・後			2	○										兼1
	道徳教育指導論	1後			2	○										兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3後			2		○									兼1
	特別活動論	1前			2	○										兼1
	教育方法論	1後			2	○										兼1
	生徒・進路指導論	1前・後			2	○					1					
	教育相談	1前・後			2	○										兼1
	教育実習Ⅰ	4通			1	○										兼1
	教育実習Ⅱ	4後			2			○								兼1
	教育実習Ⅲ	4後			2			○								兼1
	教職実践演習（中・高）	4後			2		○									兼1
	音楽科指導法1	2前			2	○					1					
	音楽科指導法2	2後			2	○					1					
	音楽科指導法3	2前・後			2	○					1					
	音楽科指導法4	2前・後			2	○					1					
学芸	博物館概論	1前			2	○					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	小計 (21科目)	—	0	0	41	—			0	1	1	0	0	兼9	—
	合計 (400科目)	—	10	713	41	—			23	19	10	0	0	兼225	—
学位又は称号		学士 (芸術)		学位又は学科の分野			音楽関係、美術関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
全学総合共通科目から必修10単位を含む24単位以上、専門科目の選択科目から80単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位 (年間))							1 学年の学期区分			2期					
							1 学期の授業期間			15週					
							1 時限の授業時間			90分					

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教育課程等の概要

(芸術学部芸術学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学総合 共通科目	大学生になる	1前	1					○			2	1				兼3
	日本語表現	1後	1					○				1				兼6
	英語1	1前	1					○				1				兼2
	英語2	1後	1					○				1				兼2
	英語3	1前・後		1				○				1				
	コミュニケーション英語1	1前	1					○			1					兼3
	コミュニケーション英語2	1後	1					○			1					兼3
	コミュニケーション英語3	1前・後		1				○				1				
	フランス語Ⅰ	1前・後		1				○				1				
	フランス語Ⅱ	1前・後		1				○				1				
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		1				○			1					
	ドイツ語Ⅱ	1後		1				○			1					
	イタリア語Ⅰ	1前・後		1				○								兼1
	イタリア語Ⅱ	1後		1				○								兼1
	中国語Ⅰ	1前		1				○								兼1
	中国語Ⅱ	1後		1				○								兼1
	情報メディア演習	1前・後		2					○				1			
	数理科学	1前・後			2			○								兼1
	基礎数学	1後			2			○				1				兼1
	生物学	1前			2			○				1				
	美学	1後			2			○								兼1
	倫理学	1前・後			2			○								兼2
	歴史学	1後			2			○								兼1
	社会学	1前・後			2			○								兼1
	日本国憲法	1前・後			2			○								兼2
	心理学	1後			2			○								兼1
	人類学	1前			2			○				1				
	考古学	2後			2			○								兼1
	考古学演習	2後			2				○							兼1
	健康と体力	1前・後			2			○								兼1
	健康スポーツ	1前・後			2				○							兼2
	スタディ・アブロード	1後			2			○				1				
	ボランティア	1前			2				○							兼1
	インターンシップ	2後			2				○							兼1
	経済学	1前			2			○								兼1
	民法	3後			2			○								兼1
	労務論	3前			2			○								兼1
	簿記	3後			2			○								兼1
	行政法	2後			2			○								兼1
	組織論	2前			2			○								兼1
起業論	2後			2			○								兼1	
キャリア1	1前		2					○							兼2	
キャリア2	2前・後			2				○							兼2	
キャリア3	3前			2				○							兼1	
キャリア4	3前			2				○		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学総合共通科目	一般横断科目群	起業演習	3後		2			○								兼1
	絵画基礎	1前		2				○								兼1
	デッサン	1後		2						1						兼2 共同
	書道アート	1前		2				○								兼1
	認知科学	1前		2			○									兼1
	アニメーション特論	1前		2			○									兼1
	ソーシャルデザイン論	2後		2			○			1						
	現代芸術と文化	1前		2			○			1		1				共同
	アートプロジェクト1	1後		2				○								兼1
	アートプロジェクト2	1前		2				○			1					
	アートプロジェクト3	1前		2				○			2					共同
アートプロジェクト4	1後		2				○		1							
小計 (57科目)	—	—	10	88	0		—		5	8	2	0	0	兼4	—	
専門科目	専門共通	芸術鑑賞	2通		2			○		1						
	芸術学	1後		2			○									兼1
	近現代芸術論	1後		2			○									兼1
	彫刻論	1後		2			○									兼1
	日本美術史	1前・後		2			○									兼1
	東洋美術史	1前・後		2			○									兼1
	西洋美術史	1前・後		2			○									兼1
	近代美術史	1前		2			○									兼1
	アートと宗教	1前		2			○			1						
	美術研修	1後		2				○		1						
	陶芸技法1	1前		2				○								兼1
	陶芸技法2	1後		2				○								兼1
	ガラス技法1	1前		2				○								兼1
	ガラス技法2	1後		2				○								兼1
	絵画	1前・後		2					○							兼1
	彫刻	1前		2					○							兼2
	アートと文化1	2前		2			○				1					
	アートと文化2	2後		2			○				1					
	芸術療法	2後		2			○									兼1
	美術解剖学	2後		2			○									兼1
	近現代彫刻論	2前		2			○									兼1
	版画技法1	2前		2				○								兼1
	版画技法2	2後		2				○								兼1
	彫刻技法1	2前		2				○								兼1
	彫刻技法2	2後		2				○		1						
	鑄造技法	2後		2				○								兼1
	クリエイター演習1 (現代文化)	2後		2				○			1					
	クリエイター演習2 (伝統工芸)	2後		2				○			1					
	工芸教育演習	2前・後		4				○								兼1
	現代美術演習	3前		2				○								兼1
	芸術計画演習	3後		2				○			1					
	デザイン史	1前・後		2			○			1						
デザインと文化1	1後		2			○				2					共同	
図学1	1前		2			○									兼1	
図学2	1後		2			○									兼1	
建築史	1後		2			○									兼1	
工芸史	1前		2			○									兼1	
色彩学	1前・後		2			○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	専門共通	エコロジーとバリアフリー		2		○									兼1	共同	
		立体造形	1前・後	2				○							兼1		
		デザインと文化2	2前	2			○			1	1				兼1		
		現代デザイン論	2前	2			○								兼1		
		写真論	2前	2			○								兼1		
		映像論	2後	2			○				1						
		建築論	2後	2			○				1						
		工芸理論	2後	2			○								兼1		
		マンガ原作	2前	2			○								兼1		
		写真演習	2前・後	2				○		1					兼4		
		映像とメディア (絵画)	2前	1				○									
		映像とメディア (デザイン)	2後	1				○			1						
		人類生存のための教養	1前	2			○				1	1					
		海外研修	1前	2							1						隔年
サブカルチャー論	2後	2			○								兼1				
デジタルアート1	2後	1					○						兼1				
領域共通	領域共通	アート概論	1前	2		○				1					兼1	共同	
		近現代工芸論	1前	2		○									兼1		
		クロッキー	1前	2			○			2							
		美術演習 I-1	1前	2			○			2	3						
		美術演習 I-2	1後	2			○			2	3						
		美術実技 I-1 (アート・ファンデーション)	1前	4					○	2	2				兼2		
		美術実技 I-2 (アート・ファンデーション)	1後	4					○	2	2				兼2		
		美術実技 I-3 (アイデアとドローイング)	1前	2					○		1						
		美術実技 I-4 (オブジェ)	1前	2					○						兼1		
		美術実技 I-5 (彫塑/マケット)	1後	2					○	1							
		美術実技 I-6 (陶芸)	1前・後	2					○		1						
		美術実技 I-7 (ガラス)	1前・後	2					○						兼1		
		美術実技 I-8 (フィギュア)	1後	2					○						兼1		
		日本画実技 I-1	1前	2					○			1					
		日本画実技 I-2	1前	2					○			1					
		日本画実技 I-3	1後	2					○			1					
		日本画実技 I-4	1後	2					○			1					
		洋画実技 I-1	1前	2					○	1					兼1		共同
		洋画実技 I-2	1前	2					○						兼2		共同
		洋画実技 I-3	1後	2					○	1					兼1		共同
		洋画実技 I-4	1後	2					○						兼2		共同
		絵画技法材料論	2前	2				○			1						
		版画史	2前	2				○									兼1
		メディア表現	2前	2					○								兼1
		プロジェクト演習	2後	2					○								兼1
		学外演習1	2後	2					○			1					
		美術演習 II-1	2前	2					○		2	3					
		美術演習 II-2	2後	2					○		2	3					
		美術実技 II-1	2前	2						○							兼2
		美術実技 II-2	2前	2						○							兼2
		美術実技 II-3	2前	2						○	1						兼1
		美術実技 II-4	2前	2						○							兼2
美術実技 II-5	2後	2						○		1				兼1			
美術実技 II-6	2後	2						○						兼2			
美術実技 II-7	2後	2						○						兼2			

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	領域共通														
	美術実技Ⅱ-8	2後		2				○							兼2
	日本画実技Ⅱ-1	2前		4				○							兼1
	日本画実技Ⅱ-2	2前		2				○							兼1
	日本画実技Ⅱ-3	2前		2				○							兼1
	日本画実技Ⅱ-4	2後		4				○							兼1
	日本画実技Ⅱ-5	2後		2				○							兼1
	日本画実技Ⅱ-6	2後		2				○							兼1
	洋画実技Ⅱ-1	2前		4				○							兼4 オムニバス
	洋画実技Ⅱ-2	2前		2				○		1					兼1
	洋画実技Ⅱ-3	2前		2				○			2				
	洋画実技Ⅱ-4	2後		4				○		1	1				兼1
	洋画実技Ⅱ-5	2後		2				○		1					兼1
	洋画実技Ⅱ-6	2後		2				○			2				
	工芸複合素材実習	2後		2					○						兼1
	デザイン概論	1前		2			○				1	1			
	デザイン理論	1前		2			○				1				
	文芸基礎	1前		2			○								兼1
	デジタルサウンド1	1前		2				○							兼1
	編集総合演習	1後		2				○							兼1
	デザイン基礎演習A	1前・後		2				○		1		1			
	デザイン基礎演習B	1前		2				○			1				
	デザイン基礎演習C	1前		2				○		1					
	デザイン基礎演習D	1前		2				○		1					
	デザイン基礎演習E	1後		2				○			1				
	デザイン基礎演習F	1後		2				○			1				
	デザイン基礎演習G	1後		2				○		1					
	レビューⅠ	1後		2				○		7	10	5			
	デザイン実技Ⅰ-1	1前		2					○		3	1			兼5
	デザイン実技Ⅰ-2	1前		2					○		3	4			兼3
	デザイン実技Ⅰ-3	1後		2					○	2	3				兼3
	デザイン実技Ⅰ-4	1後		2					○	1	2	2			兼4
	先端基礎実技1	1前		2					○			1			
	先端基礎実技2	1後		2					○						兼1
	文芸実技Ⅰ-1	1前		2					○		1				
	文芸実技Ⅰ-2	1前		2					○		1				兼1 オムニバス
	文芸実技Ⅰ-3	1前		2					○		1				
	文芸実技Ⅰ-4	1後		2					○						兼1
	文芸実技Ⅰ-5	1後		2					○		1				兼2 オムニバス
	文芸実技Ⅰ-6	1後		2					○						兼1
コンピュータ表現基礎	1前・後		2					○			1			兼3	
工芸制作	1後		2					○						兼2	
情報デザイン論	2後		2			○								兼2 オムニバス	
印刷論	2前		2			○				1					
製品企画論	2後		2			○			3					兼2 オムニバス	
エルゴノミクス論	2前		2			○								兼1	
材料学	2後		2			○								兼1	
建築企画論1-a(法規)	2後		1			○								兼1	
建築企画論1-b(生産)	2後		1			○								兼1	
インテリア設計論	2後		2			○								兼1	
観察学・考現学	2前		2			○								兼1	
映像演習	2前・後		2					○		1				兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	領域共通	デジタルサウンド2		2				○								兼1		
		照明演習	2後	2				○								兼1		
		金属技法材料	2	2					○		1							
		染織技法材料	2前・後	2					○			1						
		デザインワークショップ	2前	2					○		2							
		デザインインターンシップ	2前・後	2					○		1							
		デザイン演習Ⅰ	2後	2					○		3	3	2				兼2	
		文芸演習Ⅰ-1	2前	2					○		1						兼1	
		文芸演習Ⅰ-2	2後	2					○		1						兼1	
		レビューⅡ	2後	2					○		7	10	5					
		デザイン実技Ⅱ-1	2前	2						○	6	4	1				兼3	
		デザイン実技Ⅱ-2	2前	2						○	1	2					兼8	
		デザイン実技Ⅱ-3	2後	2						○	1	3	1				兼7	
		デザイン実技Ⅱ-4	2後	2						○	1	2	2				兼7	
		文芸実技Ⅱ-1	2前	2						○							兼1	
		文芸実技Ⅱ-2	2前	2						○		1						
		文芸実技Ⅱ-3	2後	2						○							兼1	
		文芸実技Ⅱ-4	2後	2						○							兼1	
		版画実技	2前	2						○							兼2	
		デジタルアート2	3前	1						○							兼1	
領域展開		アートプロデュース演習1	3前	2				○			1							
		アートプロデュース演習2	3後	2				○			1							
		ポートフォリオ演習	3後	2					○								兼1	
		学外演習2	3後	2					○			1						
		美術実技Ⅲ-1	3前	2						○							兼2	
		美術実技Ⅲ-2	3前	2						○							兼2	
		美術実技Ⅲ-3	3前	2						○							兼2	
		美術実技Ⅲ-4	3前	2						○							兼4 オムニバス	
		美術実技Ⅲ-5	3後	2						○							兼2	
		美術実技Ⅲ-6	3後	2						○							兼3	
		美術実技Ⅲ-7	3後	2						○							兼2	
		美術実技Ⅲ-8	3後	2						○		1					兼3 オムニバス	
		日本画実技Ⅲ-1	3前	4						○	1							
		日本画実技Ⅲ-2	3前	2						○							兼1	
		日本画実技Ⅲ-3	3前	2						○	1							
		日本画実技Ⅲ-4	3後	4						○	1							
		日本画実技Ⅲ-5	3後	2						○							兼1	
		日本画実技Ⅲ-6	3後	2						○	1							
		洋画実技Ⅲ-1	3前	4						○	1	1					兼1 オムニバス	
		洋画実技Ⅲ-2	3前	2						○		1					兼1	
		洋画実技Ⅲ-3	3前	2						○	1						兼1	
		洋画実技Ⅲ-4	3後	4						○	1	1					兼1 オムニバス	
		洋画実技Ⅲ-5	3後	2						○		1					兼1	
		洋画実技Ⅲ-6	3後	2						○	1						兼1	
		美術実技Ⅳ-1	4前	4						○							兼4 オムニバス	
		美術実技Ⅳ-2	4前	4						○		3					兼1 オムニバス	
		日本画実技Ⅳ-1	4前	4						○	1						兼1 オムニバス	
日本画実技Ⅳ-2	4前	4						○	1									
洋画実技Ⅳ-1	4前	4						○		1					兼3 オムニバス			
洋画実技Ⅳ-2	4前	4						○	1	1					兼1 オムニバス			
視覚デザイン論	3前	2						○		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	領域展開	3後		2		○									兼1		
	建築企画論2	3前		2		○									兼1		
	環境設計論	3前		2		○									兼1		
	建築構造学	3後		2		○									兼1		
	デザイン演習Ⅱ-1	3前		2			○			2	2				兼5		
	デザイン演習Ⅱ-2	3後		2			○		4	3					兼2		
	文芸演習Ⅱ-1	3前		2			○								兼1		
	文芸演習Ⅱ-2	3後		2			○								兼1		
	レビューⅢ	3後		2			○		7	10	5						
	デザイン実技Ⅲ-1	3前		2				○	2	5	2				兼2		
	デザイン実技Ⅲ-2	3前		2					1	1	3				兼9		
	デザイン実技Ⅲ-3	3後		2					2	4	2				兼2		
	デザイン実技Ⅲ-4	3後		2					1	2	1				兼6		
	文芸実技Ⅲ-1	3前		2											兼1		
	文芸実技Ⅲ-2	3前		2						1					兼2	オムニバス	
	文芸実技Ⅲ-3	3後		2											兼1		
	文芸実技Ⅲ-4	3後		2						2					兼2	オムニバス	
	工芸・クラフトプロジェクト	3前		2													
デザイン実技Ⅳ	4前		4						5	8	3			兼8			
文芸実技Ⅳ	4前		4							1				兼1	オムニバス		
卒業制作(美術・デザイン)	4後		8						10	15	5			兼22	オムニバス		
小計(212科目)		—	0	462	0		—		17	19	7	0	0	兼179	—		
資格関連	教育原論	1前			2	○									兼1		
	教職論	1前・後			2	○									兼1		
	教育制度論	1前			2	○									兼1		
	学習心理学	1前・後			2	○									兼1		
	教育課程論	1前			2	○									兼1		
	道徳教育指導論	1後			2	○									兼1		
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2		○								兼1		
	特別活動論	1前・後			2	○									兼1		
	教育方法論	1後			2	○									兼1		
	生徒・進路指導論	1後			2	○					1						
	教育相談	1前・後			2	○									兼1		
	教育実習Ⅰ	4通			1	○									兼1		
	教育実習Ⅱ	4後			2			○							兼1		
	教育実習Ⅲ	4後			2			○							兼1		
	教職実践演習(中・高)	4後			2			○							兼1		
	美術科指導法1	2前			2	○				1							
	美術科指導法2	2後			2	○				1							
	美術科・工芸科指導法1	2前			2	○				1							
	美術科・工芸科指導法2	2後			2	○				1							
	生涯学習概論	1前			2	○									兼1		
	博物館概論	1前			2	○									兼1		
	博物館経営論	2後			2	○									兼1		
	博物館資料論	2後			2	○									兼1		
博物館資料保存論	2後			2	○									兼1			
博物館展示論	2後			2	○									兼1			
博物館教育論	3前			2	○									兼1			
博物館情報・メディア論	3前			2	○									兼1			
博物館実習Ⅰ	3後			2	○									兼1			
博物館実習Ⅱ	4後			1			○		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	小計 (29科目)	—	0	0	56	—			1	1	0	0	0	兼13	—
	合計 (298科目)	—	10	550	56	—			19	22	8	0	0	兼229	—
学位又は称号		学士 (芸術)		学位又は学科の分野			音楽関係、美術関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
全学総合共通科目から必修10単位を含む24単位以上、専門科目の選択科目から80単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位 (年間))							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し等を記載した書類	
(1) 学生の確保の見通し	
①定員充足の見込み.....	1
②定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	1
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	4
2. 人材需要の動向等社会の要請	
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	6
(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	
①社会及び地域における人材需要の需給見通し.....	7
②芸術学部の基礎となる従前学部及び人間発達学部子ども発達学科の就職状況.....	7

1. 学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し

①定員充足の見込み

芸術学部芸術学科の入学定員増については、本学部の教育研究活動を広げ、推進していく必要があるとの考えのもと、養成する人材に係る社会的・地域的な需要を踏まえるとともに、教育研究活動の実施方法に留意しつつ、私立大学として安定的な財務基盤を築くことを前提に入学定員増を行うこととする。

その規模については、学生募集の最大の母集団となる18歳人口の推移を前提に、本学の立地する愛知県の年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学等の状況、芸術系学部の大学進学等の状況、近隣の芸術系学部の定員充足の状況、さらには本学自身の学生募集力など、本学を取り巻く様々な状況とデータを比較分析して、総合的な見地から定員増数を設定する。

②定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

(ア)人口推移並びに大学進学等の状況による中長期的な見通し

1) 年齢別人口の動向による長期的な見通し

令和元年度の全国の18歳人口及び高等学校卒業者は、それぞれ約117万人と105.5万人であり、平成4年度の18歳人口約205万人、高等学校卒業者約181万人をピークに減少している。愛知県においても、平成4年度の18歳人口115,980人、高等学校卒業者99,481人をピークに令和元年度は18歳人口73,454人、高等学校卒業者64,458人となっており、18歳人口については約36.7%減少している(資料1)(資料2)。しかしながら、令和9(2027)年度における18歳人口を令和元(2019)年度のそれと比較してみると、全国においては90.8%であるのに対し、愛知県では94.4%となっており、全国に比較して減少率が緩やかであることが予測される(資料3)。これらのことから、長期的にみても本学は入学定員を確保できるものと見込まれる。

2) 県内の高等学校及び中学校の在籍者数

令和2年度の学校基本調査(速報値)によると、芸術学部定員増の初年度に受験対象となる愛知県内の高等学校に在籍している3年生の生徒数は63,570人、2年目に受験対象となる高校2年生の生徒数は63,044人、3年目に受験対象となる高校1年生は63,828人となっている。

また、4年目に受験対象となる愛知県内の中学校に在籍している3年生の生徒数は67,369人、5年目に受験対象となる中学2年生の生徒数は69,539人で、愛知県の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率を勘案した場合でも、今後、愛知県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な確保の見通しがあるものと見込まれる。

高等学校、中学校在籍者数<愛知県>(令和2年度)

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
在籍者数	70,013	69,539	67,369	63,828	63,044	63,570

※高校生在籍者数は全日制・定時制合計

※中等学校前期課程・後期課程の人数含む

※2020年度学校基本調査(速報値)より

3) 県内の大学進学状況

学校基本調査によると、愛知県内における過去3年間の大学進学率は、平成29年度は52.2%、平成30年度53.2%、平成31年度53.2%となっており、本県の大学進学率は、過去において全国の数値を若干上回って堅調に推移していたが、現在はほぼ同じとなっている。これは、全国的にも大学進学を目指す高等学校卒業者の割合が多くなり、愛知県も引き続き県内の高等学校を卒業した者が、その後の進路選択として大学進学を選択する割合が堅調であると言え、中長期的な入学定員の確保ができるものと見込まれる。

大学進学者数、大学進学率<愛知>

	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)
大学進学者数	35,967	35,925	36,480	37,572	37,069	37,935	38,244	38,905	39,270	39,104
大学進学率	52.4	51.7	52.3	51.8	52.4	52.3	52.4	52.2	53.2	53.2

※過年度卒業者含む

2010～2019年度学校基本調査より

大学進学者数、大学進学率<全国>

	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)
大学進学者数	619,119	612,858	605,390	614,183	608,247	617,507	618,423	629,733	628,821	631,273
大学進学率	50.9	51.0	50.8	49.9	51.5	51.5	52.0	52.6	53.3	53.7

※過年度卒業者含む

2010～2019年度学校基本調査より

(イ)芸術系学部(音楽・美術・デザイン系統)の志願者、定員充足状況

日本私立学校振興・共済事業団「平成31(2019)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、全国の芸術系学部における過去5年間の志願倍率は2.86倍から3.66倍まで志願倍率が伸び、入学定員充足率は平成27年度96.4%から平成31年度の104.37%と7.97%も改善してきている。これは社会における芸術系学部の教育内容が評価されてきたと考えられ、同分野の募集が順調に推移してきていると言えることから、中期的な入学定員確保が可能と見込まれる。

芸術系学部志願状況(全国・平成27～31年度)

	学部数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学定員充足率
平成27年	58	14,209	40,594	39,753	22,072	13,698	2.86	96.40
平成28年	58	14,233	40,046	39,207	23,330	13,879	2.81	97.51
平成29年	56	14,184	43,312	42,287	22,825	14,380	3.05	101.38
平成30年	56	14,310	47,342	45,868	22,998	14,621	3.31	102.17
平成31年	58	14,447	52,851	51,232	22,867	15,079	3.66	104.37

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」平成27～31年度をもとに作成

(ウ) 近隣大学類似学部学科の入学定員充足状況

定員増する芸術学部芸術学科と教育内容の類似する近隣他大学学部学科の過去5年間の入学定員充足状況を見てみると、芸術系学部定員充足率の高まりに比例して、入学定員充足率が100%を超える大学が多くを占める(資料4)。18歳人口が減少するなか、募集環境につき楽観視することはできないが、広報活動を積極的に行い、芸術学部において養成する人材像、教育内容及び教育方法等を社会一般に周知することで、継続的に入学定員を確保することは十分可能と考える。

(エ) 定員増に伴う新設領域について

これまで芸術学部芸術学科に設置していた音楽領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域に加え、東海地区で初めて総合的に舞台芸術を学ぶ「舞台芸術領域」を設定し、芸術分野の中で本学が有していない新たな分野を設置することで定員増に対応する。舞台芸術領域は、芸術学部芸術学科の既存領域を、舞台というキーワードで学びの分野横断を可能とする領域を目指し学修体制を整備する。

芸術学部芸術学科の過去4か年の志願者数は、平成29年度入学者につき540人(志願倍率1.21倍)、30年度605人(志願倍率1.36倍)、31年度811人(志願倍率1.82倍)と順調に推移しており、令和2年度入学者の入学定員充足率は118.7%(志願者数901人、志願倍率2.02倍)となっている(資料4)。

このように、芸術学部芸術学科の募集環境が堅調なことに加え、東海地区初という舞台芸術を学ぶ舞台芸術領域の設定により、十分な入学定員確保が可能と見込まれる。

(オ) 教育系学部志願者、定員充足状況

日本私立学校振興・共済事業団「平成31（2019）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、全国の教育系学部における過去5年間の平均志願倍率は6.66倍からと堅調で、入学定員充足率も平成27年度から平成31年度まで100%を超えている。これは社会における教員志望者が一定以上存在し、同分野の募集が堅調に維持されていると言えることから、分野別の志願状況を鑑みると、中期的な入学定員確保が可能と見込まれる。

教育学部志願状況(全国・平成27~31年度)

	学部数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学定員充足率
平成27年	86	15,378	104,551	100,953	35,076	16,354	6.80	106.35
平成28年	89	15,891	105,310	101,767	35,682	16,276	6.63	102.42
平成29年	91	15,893	104,972	101,373	34,762	16,294	6.60	102.52
平成30年	94	16,678	108,370	104,582	36,470	16,722	6.50	100.26
平成31年	101	17,603	119,094	114,628	40,170	17,735	6.77	100.75

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」平成27~31年度をもとに作成

(カ) 近隣大学類似学部学科の入学定員充足状況

定員減する人間発達学部子ども発達学科と教育内容の類似する近隣他大学学部学科の過去5年間の入学定員充足状況を見てみると、募集が比較的堅調な教育系学部は、入学定員充足率が100%を超える大学の割合が多い（資料6）。そのため、募集戦略を改めて検討し、本学が独自に取り組む教育研究活動を志願者層に十分周知することにより、継続的に入学定員を確保することは十分可能と考える。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学案内や学生募集用パンフレットの配布をはじめ、高校生向けの一般広報紙媒体による広報活動の他、ホームページ等の電子媒体など、多数のメディアを使用したPR活動を行うとともに、特に新設する舞台芸術領域では、同領域の学びを部活動として実施している高等学校を中心とする訪問活動などによる積極的な情報の提供を行うこととしている。

また、オンラインや対面によるオープンキャンパスを適宜開催し、各地域における進学相談会などの開催を通じて、芸術学部及び人間発達学部における学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針をはじめとする様々な教育情報について、愛知県及び隣接県を中心とする高校生や保護者、高等学校教諭に対して広く周知を図ることとしている。具体的には、以下のような取り組みを行う。

① 広報媒体

(ア) 紙媒体

大学案内	4月中旬から届出書類提出中の簡易版パンフレットを作成。資料請求者へ配布。 教育産業社の持つデータベースを活用し、新規層への資料を送送。
手紙	4月下旬に入学者のある高校へ向け、お礼状を送送。

(イ) 電子媒体

ホームページ	3月26日に本学部告知簡易サイトを開設した。5月下旬に受験生サイトを開設し、随時最新情報に更新予定。 新設する舞台芸術領域では6月より特設サイトを公開。
動画配信サイト	5月下旬より、本学教員による領域学科の紹介、新設される舞台芸術領域の教員へのインタビューなど3月まで定期配信。
SNS	5月中旬より、SNSの1つにAIを用いた運用を開始。
接続サイト	7月より高等学校進路指導部の教員へ直接メールや在学生情報等を送ることのできる情報媒体を活用。

(ウ) マスメディア

新聞広告	全国の学習塾、全国の高等学校進路指導部へ配布される学習塾発行の新聞広告に3月、5月、6月、7月に掲載。
------	---

②高等学校内ガイダンスへの参加

教育産業各社及び直接高等学校から、会場ガイダンス、高校内ガイダンスに参加依頼がある場合、積極的に参加している。これらのガイダンスは、本学教育分野に興味がある高校生が在籍する場合、その生徒を対象に行うものであり、本学の教育内容を十分理解してもらえらる絶好の機会となっている。また、教育産業各社の主催する会場ガイダンスに加え、本学が独自で会場を確保し、高校生と面談するガイダンスを設ける（ニーズのあるエリア、会場の特徴・空き状況により豊田市、一宮市、尾鷲市、津市、四日市市で開催）。

近年ではガイダンスのみではなく、本学で開講されている学修内容について興味を持った場合、これまでに大学の学修を体験することがなかった高校生に対し、本学教員を派遣し模擬授業を展開するなど、高校生にとって視野を広げる機会を積極的に展開している。

③オープンキャンパスの開催

- ・高校生を対象として、オンラインにより令和2年12月まで毎月1回開催する。
- ・主な内容としては、大学・学部説明会、実技レッスン・作品制作アドバイス、在学生とのオンライン交流イベント、進路・入試相談その他質疑応答等である。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

(ア) 芸術学部芸術学科

芸術学部芸術学科は、「音楽領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する」ことをその目的とし、学生ひとりひとりが有する潜在能力を最大限に引き出すとともに、音楽、美術及びデザインの各領域における専門的な知識及び技能並びに他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら主体的に社会へ参画することができる能力を有する人材を養成する。具体的には、芸術学部の学生は、次に掲げる知識及び能力又は技能の修得を目指すものとする。

- ①芸術領域にとどまらない広範な学習による、様々な領域に関する横断的な知識及び技能及び問題を発見し、これを解決するための能力
- ②音楽、美術及びデザインの各領域に関する専門的な知識及び技能
- ③主たる専攻領域以外の芸術領域に関する基礎的知識及び技能
- ④音楽、美術及びデザインの各領域を融合的に捉え、新たな価値を創造するとともに、幅広い視野で多様な価値観と共生するための基礎的な能力
- ⑤自己の創造力又は創作物を社会に対して正確にかつ有効な方法により発信するためのプレゼンテーション能力

(イ) 人間発達学部子ども発達学科

人間発達学部子ども発達学科は、将来小学校・幼稚園・保育所などで教育（保育）に携わる人間として、芸術性豊かな環境の中で、「子どもが精神的に安定した成長・発達を遂げるための限らない愛情を注ぐことのできる教育者（保育者）を養成する」ために、教育の目標として、「教養教育・専門教育を通して豊かな人間性の育成」を目指すとともに「教育者としてよりどころとなる教育者論の確立」、「子どもを教育するために必要な知識の修得」及び「知識に基づいた理論と実践の一致した教育技術の修得」を目指し、更に自らの楽しさを発見し、感動できるような感性を持ち、真の心と、「教育する喜びを感じずる教育者」の養成を目指すものとしている。具体的には、人間発達学部の人材の養成に関する目的を次に掲げるとおりである。

- ①子どもや地域の人々と関わる研修の機会を拡充し、子ども自身や保護者、地域社会とともに現行において実施している「子育て支援」をより強化しながら地域社会とともに取組、共感的に人間を形成していく実践的指導力を有する保育者養成。
- ②子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方を鑑み、幼稚園施設と小学校の連携に関しては、人事交流や相互理解を深めるうえで幼稚園教諭と小学校教諭の免許を併有する小学校教員の養成。
- ③保育士資格を取得し、地域での子育て活動を支援する人材の養成、児童養護施設や障がい児関連施設での職務を担当することが可能な人材の養成。

④子どもの成長・発達を支えるための産業は、社会に存在するあらゆる業種が関わる性質のものであることを理解し、教育、育児、音楽、デザイン等の子どもに関わる産業に従事する人材の養成。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①社会及び地域における人材需要の需給見通し

「Society 5.0 に向けた人材育成 ～社会が変わる、学びが変わる～」(平成30年6月5日 Society 5.0 に向けた人材育成に係る大臣懇談会、新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース報告)によると、高等学校時代に思考の基盤となるSTEAM教育を、全ての生徒に学ばせる必要があるとし、社会における芸術教育の必要性が求められてきている。それに影響により、本学に対する求人数も資料7のとおり順調に増加し、令和元年度は平成28年度に比較し1.95倍になっており、年々増加傾向にある。

資料7 求人件数

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
7,732	9,854	13,919	15,122

②芸術学部の基礎となる従前学部及び人間発達学部子ども発達学科の就職状況

従前3学部の平成28年度から令和元年度卒業生の就職状況についても資料8のとおりである。音楽学部卒業生の就職率は平成28年度から令和元年度にかけて90%を超えており、極めて良好である。美術学部及びデザイン学部において平成28年度から令和元年度まで、増減を繰り返しているが、80%以上を維持しており安定的な就職率といえる。

人間発達学部は人材養成の目標が明確であることから、資格を活用した就職を目指す学生が多く、就職率も概ね100%を維持している。

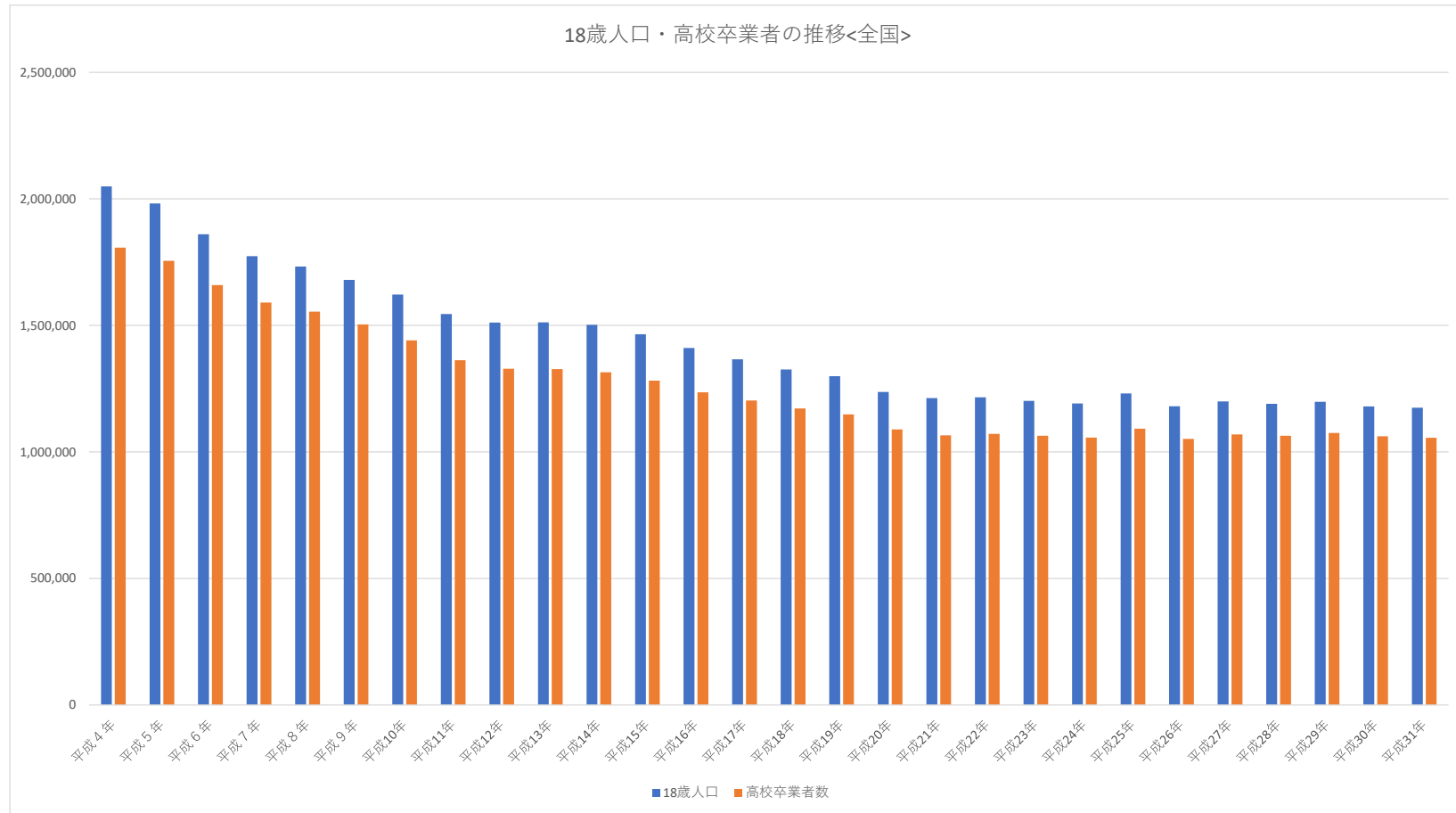
資料8 就職率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
音楽学部	92%	96%	96%	95%
美術学部	88%	91%	87%	84%
デザイン学部	88%	88%	82%	85%
人間発達学部	98%	100%	100%	100%
全学部合計	92%	93%	89%	90%

以上のとおり、本学芸術学部芸術学科及び人間発達学部子ども発達学科は、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであるとともに、これまでの就職実績からも芸術学部芸術学科の定員増加分の就職先の確保は十分見込まれるものといえる。

資料目次

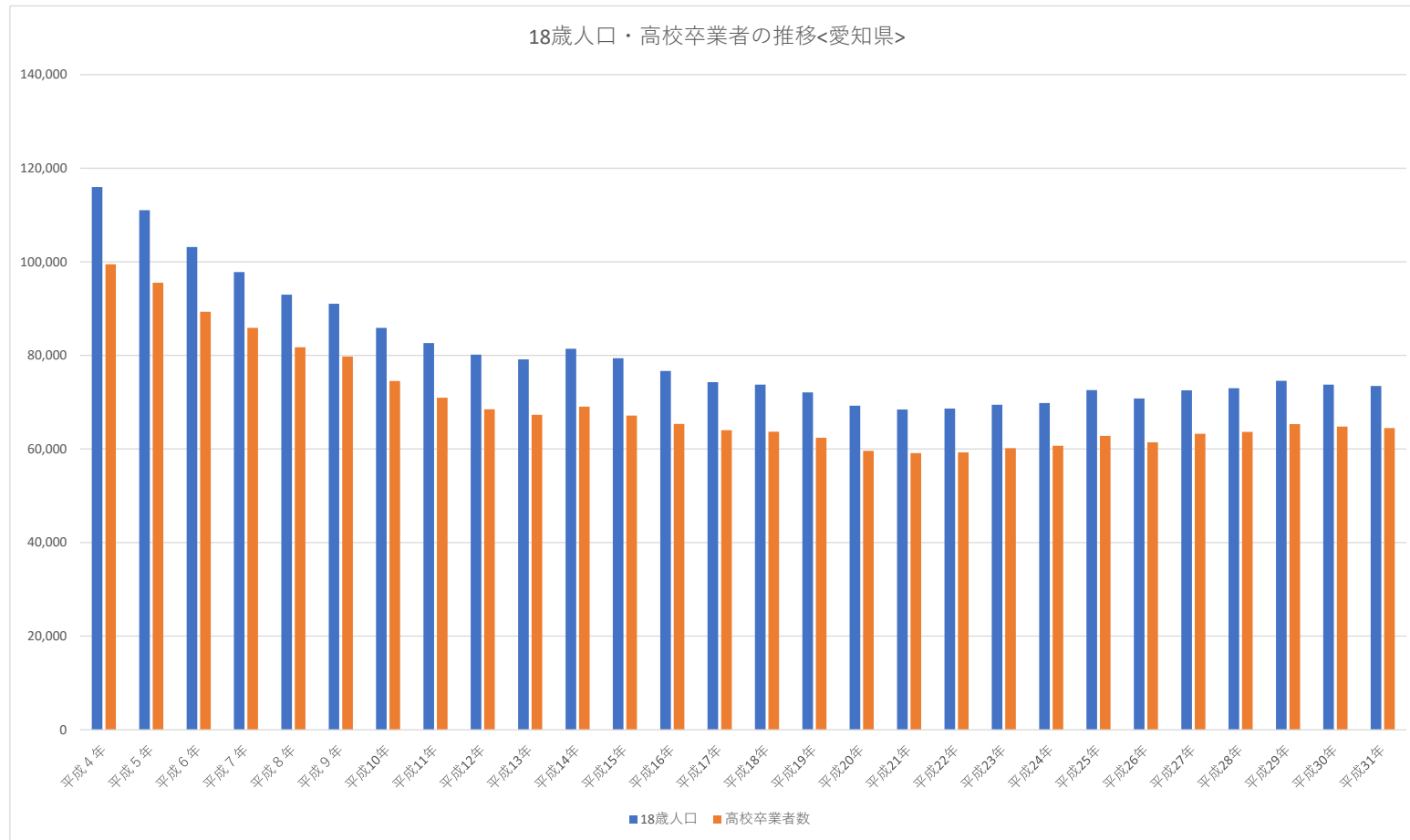
- 資料1 18歳人口・高校卒業者の推移〈全国〉
- 資料2 18歳人口・高校卒業者の推移〈愛知県〉
- 資料3 18歳人口の指数推移
- 資料4 近隣大学類似学部学科（芸術系学部）の入学定員充足状況
(平成28～令和2年度入学生)
- 資料5 名古屋芸術大学の志願状況（平成29～令和2年度入学生）
- 資料6 近隣大学類似学部学科（教育系学部）の入学定員充足状況
(平成28～令和2年度入学生)



	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)
18歳人口	2,049,471	1,981,503	1,860,300	1,773,712	1,732,437	1,680,006	1,622,198	1,545,270	1,510,994	1,511,845	1,502,711	1,464,800	1,410,679	1,365,804	1,325,722	1,299,571	1,237,294	1,212,499	1,215,843	1,201,934	1,191,210	1,231,117	1,180,838	1,199,977	1,190,262	1,198,290	1,179,808	1,174,801
高校卒業者数	1,807,175	1,755,338	1,658,949	1,590,720	1,554,549	1,503,748	1,441,061	1,362,682	1,328,940	1,327,109	1,315,079	1,281,656	1,235,482	1,203,251	1,172,087	1,148,108	1,089,188	1,065,412	1,071,422	1,064,074	1,056,387	1,091,614	1,051,343	1,068,989	1,064,352	1,074,655	1,061,565	1,055,807

※18歳人口は3年前の中学校卒業生数および中等教育学校前期課程の修了者数。当該県に100%在住したものと仮定し各年度を算出。

文部科学省「学校基本調査」



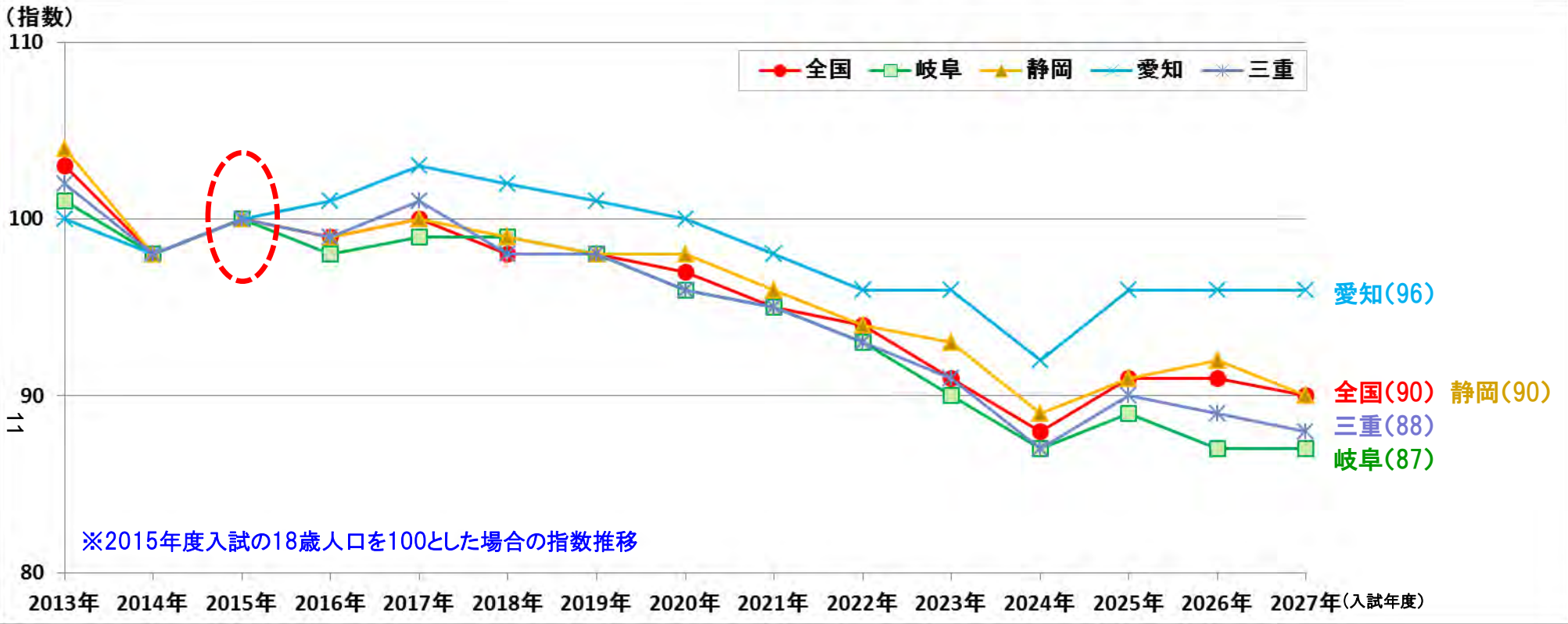
	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)
18歳人口	115,980	111,013	103,159	97,795	92,991	91,045	85,881	82,622	80,181	79,161	81,414	79,378	76,660	74,289	73,775	72,086	69,254	68,460	68,662	69,475	69,802	72,561	70,785	72,529	72,998	74,550	73,750	73,454
高校卒業者数	99,481	95,550	89,319	85,863	81,760	79,740	74,540	70,976	68,472	67,300	69,060	67,154	65,353	64,020	63,715	62,399	59,606	59,097	59,261	60,168	60,685	62,798	61,420	63,268	63,656	65,316	64,789	64,458

※18歳人口は3年前の中学校卒業生数および中等教育学校前期課程の修了者数。当該県に100%在住したものと仮定し各年度を算出。

文部科学省「学校基本調査」

【東海】18歳人口の指数推移

資料3



【18歳人口の予測推移】 ※18歳人口＝3年前の中学校卒業生数＋3年前の中等教育学校前期課程の修了者数

(単位:人)

入試年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
岐阜	21,121	20,651	20,996	20,560	20,795	20,705	20,500	20,053	20,003	19,556	18,816	18,258	18,594	18,290	18,215
静岡	37,199	35,163	35,931	35,404	35,989	35,474	35,246	35,078	34,627	33,878	33,347	32,011	32,758	33,133	32,296
愛知	72,561	70,785	72,529	72,998	74,550	73,625	73,395	72,638	71,301	69,965	69,554	66,999	69,390	69,825	69,449
三重	18,607	17,948	18,224	18,120	18,382	17,797	17,828	17,465	17,374	16,895	16,554	15,841	16,317	16,133	16,036

資料4

近隣大学類似学部学科の入学定員充足状況（芸術系学部）

大学名	学部名	学科名	専攻	入学定員					入学者数					入学定員充足率(%)				
				平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)
常葉大	造形	造形		80	80	100	100	100	93	76	92	112	124	116.3	95.0	92.0	112.0	124.0
愛知工業大	情報科	情報科			190	190	190	190		244	206	210	215		128.4	108.4	110.5	113.2
愛知産業大	造形	デザイン	デザイン/ スマートデザイン		70	70	70	70		58	60	80	88		82.9	85.7	114.3	125.7
愛知淑徳大	創造表現	創造表現			295	295	295	295		332	361	308	318		112.5	122.4	104.4	107.8
金城学院大	文	音楽芸術		45	45	45	45	45	42	46	44	49	47	93.3	102.2	97.8	108.9	104.4
大同大	情報	情報デザイン	メディアデザイン		110	110	110	110		128	121	135	120		116.4	110.0	122.7	109.1
東海学園大	人文	人文			100	100	100	100		134	134	123	113		134.0	134.0	123.0	113.0
名古屋音楽大	音楽	音楽		180	180	120	120	120	114	139	110	94	127	63.3	77.2	91.7	78.3	105.8
名古屋造形大	造形	造形		260	260	240	240	240	223	192	241	277	298	85.8	73.8	100.4	115.4	124.2
名古屋学芸大	メディア造形	映像メディア		100	100	100	120	120	120	121	110	123	129	120.0	121.0	110.0	102.5	107.5
		デザイン		80	80	80	90	90	96	91	81	88	90	120.0	113.8	101.3	97.8	100.0

各大学のHPの情報をもとに作成

令和2(2020)年度 入試結果

学科領域	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員	定員充足	入学者/合格者
芸術学部芸術学科	901	870	720	528	445	118.7%	73.3%
音楽領域	322	315	257	207	140	147.9%	80.5%
美術領域	125	118	114	80	105	76.2%	70.2%
デザイン領域	393	379	307	213	175	121.7%	69.4%
芸術教養領域	61	58	42	28	25	112.0%	66.7%
人間発達学部子ども発達学科	87	86	86	48	140	34.3%	55.8%
合計	988	956	806	576	585	98.5%	71.5%

※3年次編入学除く

平成31(2019)年度 入試結果

学科領域	志願者数	受験者数	合格者数	入学者	入学定員	定員充足	入学者/合格者
芸術学部芸術学科	811	790	697	509	445	114.4%	73.0%
音楽領域	209	205	202	181	140	129.3%	89.6%
美術領域	164	156	145	105	105	100.0%	72.4%
デザイン領域	383	377	301	193	175	110.3%	64.1%
芸術教養領域	55	52	49	30	25	120.0%	61.2%
人間発達学部子ども発達学科	122	120	108	65	140	46.4%	60.2%
合計	933	910	805	574	585	98.1%	71.3%

※3年次編入学除く

平成30(2018)年度 入試結果

学科領域	志願者数	受験者数	合格者数	入学者	入学定員	定員充足	入学者/合格者
芸術学部芸術学科	605	579	575	446	445	100.2%	77.6%
音楽領域	146	146	146	133	140	95.0%	91.1%
美術領域	117	108	108	77	105	73.3%	71.3%
デザイン領域	317	301	297	220	175	125.7%	74.1%
芸術教養領域	25	24	24	16	25	64.0%	66.7%
人間発達学部子ども発達学科	105	102	91	61	140	43.6%	67.0%
合計	710	681	666	507	585	86.7%	76.1%

※3年次編入学除く

平成29(2017)年度 入試結果

学科領域	志願者数	受験者数	合格者数	入学者	入学定員	定員充足	入学者/合格者
芸術学部芸術学科	540	532	498	361	445	81.1%	72.5%
音楽領域	129	127	127	106	140	75.7%	83.5%
美術領域	122	120	102	75	105	71.4%	73.5%
デザイン領域	281	277	262	176	175	100.6%	67.2%
芸術教養領域	8	8	7	4	25	16.0%	57.1%
人間発達学部子ども発達学科	124	124	116	77	140	55.0%	66.4%
合計	664	656	614	438	585	74.9%	71.3%

※3年次編入学除く

資料4 近隣大学類似学部学科の入学定員充足状況（教育系学部）

大学名	学部名	学科名	専攻	入学定員					入学者数					入学定員充足率(%)				
				平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)
愛知東邦大	教育	子ども発達		80	80	80	80	80	74	73	80	85	75	92.5	91.3	100.0	106.3	93.8
桜花学園大	保育	保育		175	175	175	175	174	199	197	198	182	175	113.7	112.6	113.1	104.0	100.6
椙山女学園大	教育	子ども発達		160	170	170	170	170	165	191	180	176	175	103.1	112.4	105.9	103.5	102.9
中部大	現代教育	幼児教育 児童教育		160	160	160	160	160	168	159	172	166	161	105.0	99.4	107.5	103.8	100.6
東海学園大	教育	教育		/	150	180	180	180	/	199	181	203	200	/	132.7	100.6	112.8	111.1
名古屋学芸大	ヒューマンケア	子どもケア	子どもケア 幼児保育	220	220	220	220	220	239	236	225	236	236	108.6	107.3	102.3	107.3	107.3
名古屋経済大	人間生活科学	教育保育		100	100	100	100	100	65	58	54	61	60	65.0	58.0	54.0	61.0	60.0
日本福祉大	教育・心理	子ども発達		180	180	180	215	215	186	181	131	192	173	103.3	100.6	72.8	89.3	80.5

各大学のHPの情報をもとに作成

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	タケモト ヨシアキ 竹本 義明 <平成28年4月>		芸術学士		名古屋芸術大学 学長 (令和2.4~令和6.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。